SONY

2-021-841-**03** (1)

VHSビデオ一体型 DVDレコーダー

RDR-VD60

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

操作の前に別冊の「接続と準備」をご覧ください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「接続と準備」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW（VRモード）は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、VHSテープまたはDVD-RW（VRモード）でかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やVHSテープ、ディスクの不都合、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに附随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

VHSビデオ一体型DVDレコーダーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じたときはコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

目次

ディスクの再生

VHSの再生

録画・予約

次のページにつづく

目次（つづき）

DVD編集

ダビング

設定と調整

その他

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-VIDEO	DVDビデオや、DVD+RW/DVD+Rで使える機能
DVD-RW	DVD-RWで使える機能
DVD-RW(VR)	DVD-RWのVRモードで使える機能
DVD-RW(VIDEO)	DVD-RWのビデオモードで使える機能
DVD-R	DVD-Rで使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能
CD	音楽用CDで使える機能
VHS	VHSで使える機能
DATA CD	CD-RW/CD-RのJPEG画像で使える機能

主な特長

本機は、VHSテープの再生や録画はもちろん、DVDの再生、DVD-RW、DVD-Rディスクを使った録画ができます。また、録画した番組などを編集して楽しむことができます。

DVDの再生

映画館の臨場感・迫力のサラウンド

DVD-VIDEO

ドルビーデジタルやDTS対応のオーディオ機器につなぐと、マルチチャンネルサラウンド音声を楽しむことができます。

かんたん再生（☞11ページ）

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

DVDはVHSテープのように巻戻しの必要がないため、見たい場面をすぐに頭出しできます。見たい場面の検索機能も充実しています。

画像付DVDタイトルリスト（☞15ページ）

DVD-RW DVD-R

画像付DVDタイトルリストを使えば、録画した映像（タイトル）もすぐに探し出せます。タイトルの映像の一部が一覧表示されるので、再生したいタイトルも一目で見つけて、再生できます。

録画

DVD・VHS同時録画（☞44ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

本機では、放送時間の重なる地上波放送の2番組を、DVDとVHSにそれぞれ同時に録画できます。また、地上波とBS（DVDのみ）、地上波と別売りの番組予約機能の付いたチューナー*からの同時録画も可能です。

タイマー予約録画（☞49、57ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

予約画面で日時やチャンネルを設定する予約の他に、新聞などのテレビ番組欄に記載されている番号を入力するGコード予約もできます。1年先までの8番組まで予約できます。
DVDとVHSのそれぞれで独立して予約することができます。

クイックタイマー（☞45ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

録画中に録画終了時刻を設定して録画できます。
予約録画中でも、予約録画を止めて、そのままクイックタイマーを使えます。
急用で出かけるときや眠くなったとき、スポーツ中継の延長で開始が遅れた番組の予約録画を延長するときに便利です。

DVD快速予約（☞46ページ）

DVD-RW DVD-R

画面に表示されるチャンネルと時刻の表を見ながら、録画開始時刻と終了時刻を設定するだけで、簡単に予約できます。

ジャスト録画（☞97、99ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

ディスクやVHSテープの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りないときに、自動的に調整して番組を最後まで録画できるようにします。
お買い上げ時の設定は「しない」になっています。

シンクロ録画（☞54、62ページ）

DVD-RW DVD-R VHS

番組予約機能がある機器*と連動して、予約録画できます。チューナーの予約設定にしたがって、自動的に録画を開始・終了します。

* 地上デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなど

次のページにつづく

DVDの編集

大切な映像はそのままで（☞69ページ）DVD-RW(VR)

実際に録画したオリジナルの映像（タイトル）には手を加えずに編集することができます。
オリジナルから編集用のタイトル（プレイリスト）を作成し、編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク（☞75ページ）DVD-RW(VR)

録画中、再生中にお気に入りの場面でチャプターを区切れば、チャプターサーチ機能で見たい場面をすぐに探せます。

シーン消去・追加・移動（☞74、78、81ページ）DVD-RW(VR)

範囲を指定して場面を消去したり、オリジナルの場面をプレイリストに追加などして好みのプレイリストを作成できます。

ダビング

VHSテープをディスクに簡単にダビング（☞86ページ）DVD-RW DVD-R VHS

本機一台でVHSテープからディスクに、ディスクからVHSテープに、お好みに合わせてダビングができます。
＊コピー防止信号が含まれているディスクやVHSテープを再生、録画した場合、コピー防止機能の働きにより正常な録画ができません。

互換性

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生可能（☞9ページ）DVD-RW(VIDEO) DVD-R

ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズを行うと他のDVDプレーヤーでも再生できます。
＊一部には再生できないプレーヤーもあります。

再生・録画できるディスクについて

再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクや再生できないディスクがあります。お手持ちのディスクを使用する前に必ずお読みください。
本機では以下のディスクを再生できます。

ディスクの種類*1		
DVDビデオ*2		
DVD-RW*2	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1/2× CPRM*3対応	
DVD-R*2	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	
DVD+RW/+R*4		
ビデオCD		
音楽用CD		
CD-R/CD-RW		

*1 8cmディスクも再生できます。ただし、アダプターは使わないでください。
*2 DVD-VIDEO、DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。
*3 CPRM (Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。
*4 ファイナライズ済みのディスクを再生できます。

地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号（☞117ページ）が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（フォトCDを含む）
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD＋R DL（2層ディスク）
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ（☞117ページ）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

ご注意

- CD-R/CD-RWドライブまたは他のDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWレコーダーで記録されたディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機の特性等が原因で再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できないことがあります。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DVDビデオ、ビデオCD再生操作について

DVDビデオ、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書もかならずご覧ください。

録画できるディスクについて

本機では、録画用としてDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。DVD-RW、DVD-Rディスクはホコリや指紋、特に傷などがつかないように、取り扱いには充分に注意し、大切に保管してください。傷などがつくと録画できなくなる場合があります。
本機では以下のディスクで録画できます。

ディスクの種類		
DVD-RW*[1]	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1/2× CPRM*[2]対応	DVD RW
DVD-R*[1]	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	DVD R R4.7

*[1] DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。
*[2] CPRM (Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。

ご注意

- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証するものではありません。再生できないプレーヤーもあります。
  一部のプレーヤーでは、DVD-RまたはDVD-RW（ビデオモード）を再生しようとしたとき以下のような動作を起こすことがあります。
  – ディスクを受けつけない
  – 再生画面にマクロブロック（モザイク状の画像）が多く発生する
  – 音声・映像がとぎれる
  – 再生が途中で停止する

本機で再生できる静止画（JPEG画像）について

「静止画（JPEG画像）を再生する」（☞22ページ）をご覧ください。

再生・録画できるVHSテープについて

本機はVHS方式です。

再生について

録画済みテープの記録方式と録画モード、SP（標準）またはEP（3倍）を自動判別して再生します。

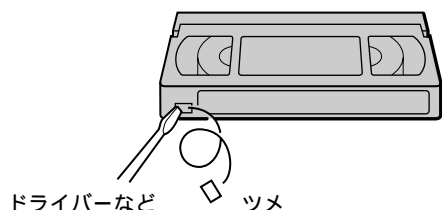
ご注意

- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL, SECAM）の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープを再生すると画像が乱れることがあります。

録画について

本機はVHS方式で録画します。

ちょっと一言

- 録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。

ご注意

- 本機では、S-VHS方式で録画することはできません。
- 本機のEP（3倍）モードで録画したテープは、標準モード専用のVHSデッキでは再生できません。
- 3倍モード付きのVHSデッキでも、他機では再生時にノイズが出ることがあります。

ディスクの記録フォーマットについて（VRモードとビデオモード）

本機で録画するときに使うディスクの記録フォーマットには、以下の2種類があります。
録画モードなどについて詳しくは、☞40ページをご覧ください。

VRモード

DVD-RWディスクの基本フォーマットで、VRはVideo Recording（ビデオレコーディング）の略です。録画や編集を繰り返し行うことができます。
VRモードで録画したディスクは、他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できます（☞9ページ）。また、CPRM対応のDVD-RWディスクを使うと、「1回だけ録画可能」の映像を録画することができます（☞41ページ）。

ビデオモード

市販のDVDビデオディスクと互換性があり、録画後にディスクをファイナライズ処理することにより、本機で録画した映像を他のDVDプレーヤー、DVDレコーダー*で再生することができます。

* ファイナライズ前の追加録画や編集、ファイナライズ処理は本機でのみ行うことができます。他機で録画したディスクには、追加録画や編集、ファイナライズ処理ができないことがあります。

本機では、DVD-RW（Ver.1.1）**の記録フォーマットを変更できます。ただし、記録フォーマットを変えるにはディスクの初期化を行うため**（☞93ページ）、**変更時にそれまで録画した内容はすべて消去されます。**

ディスクの種類ごとに可能な記録フォーマットは以下のとおりです。

ディスク	記録フォーマット	可能な機能
DVD-RW（Ver 1.0）	VRモード	再生、録画、編集（オリジナル/プレイリスト）
DVD-RW（Ver 1.1）	VRモード	再生、録画、編集（オリジナル/プレイリスト）
	ビデオモード	再生、録画、編集（制限あり）
DVD-R（Ver 2.0）	ビデオモード	再生、録画、編集（制限あり）

タイトルとチャプター

DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにそれをチャプターという単位に分けています。タイトルは通常映画1作品やアルバム1枚分にあたり、チャプターはタイトル中の映像や曲の区切りになります。

- ビデオモードで録画したとき
  お好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマークを入れる）ことはできません。
- VRモードで録画したDVD-RWのとき
  録画の途中で一時停止したり、編集操作でシーンを消去したりすると、自動的にチャプターが区切られます。また、お好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマークを入れる）こともできます。

ご注意

- ビデオモードでは、タイトル消去、タイトル名変更以外の編集はできません。
- Ver 1.0のDVD-RWはビデオモードでの録画ができません。

他機でのディスク再生について（ファイナライズ）

本機で録画したDVD-RWやDVD-Rには、ファイナライズ処理を行います。ファイナライズを行うと、本機以外のDVDプレーヤーで再生できるようになります。

ファイナライズの方法について詳しくは、「ディスクに関する設定（DVD初期化/ファイナライズ）」の「ファイナライズ実行」および「ファイナライズ解除」をご覧ください（☛95ページ）。

ビデオモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。ビデオモードのディスクをファイナライズすると、以降の録画や編集ができなくなります。

ファイナライズを行うと、DVDプレーヤーのトップメニューボタンで働くメニューが自動的に作成されます。

一般的なDVDプレーヤーで再生できます。

VRモードで録画したディスクのとき

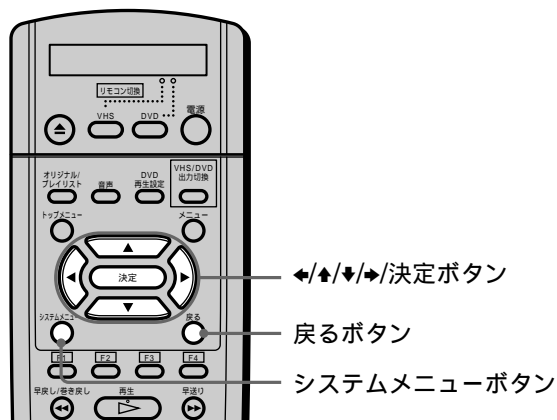
本機以外のDVDレコーダーやDVD-RW（VRモード）対応プレーヤーで再生できない場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画や編集ができます。

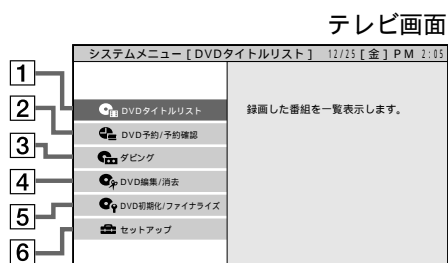
DVD-RWのVRモード対応のDVDプレーヤーで再生できます。

ご注意

- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVDプレーヤーでのピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。

システムメニューの使いかた

本機では、録画や編集、各種設定などの機能をシステムメニューから行います。

システムメニューボタンを押すと、システムメニュー画面が出ます。予約録画や再生、編集、設定など、本機で行うさまざまな操作の入り口となる画面です。
リモコンの↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押すと、以下のような操作ができます。

テレビ画面

1 **「DVDタイトルリスト」**⇨録画済みの番組が一覧表示されます。見たい番組を選んで再生できます（☞15ページ）。サムネイルリスト（画像付DVDタイトルリスト）、タイトル名リスト、チャプター単位でリストは切り換えられます。

2 **「DVD予約/予約確認」**⇨DVDの予約録画と、予約の確認ができます。予約録画は「快速予約」（☞46ページ）と「DVD日時指定予約」が選べます（☞49ページ）。

3 **「ダビング」**⇨VHSからDVD-RW/-Rへ、またはDVD-RW/-RからVHSへ、画面の指示に従いながらダビングの操作ができます（☞86、89ページ）。

4 **「DVD編集/消去」**⇨DVD-RW/-Rに録画した映像（タイトル）を選んで編集や消去ができます（☞67ページ）。

5 **「DVD初期化/ファイナラズ」**⇨DVDの初期化や、ファイナライズ処理を行います（☞93ページ）。

6 **「セットアップ」**⇨本機をより活用していただくための、いろいろな設定ができます（☞95ページ）。目的に合わせた録画のしかたや、本機に接続した外部機器に合わせて映像や音声の設定ができます。放送を受信するためのチャンネル設定も、この「セットアップ」で行います。

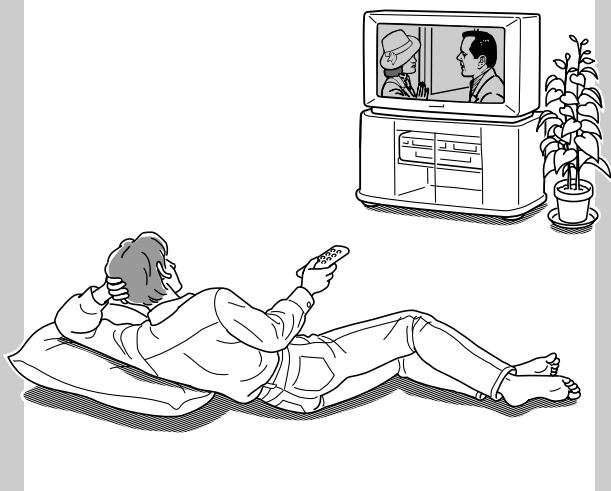
1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

ちょっと一言

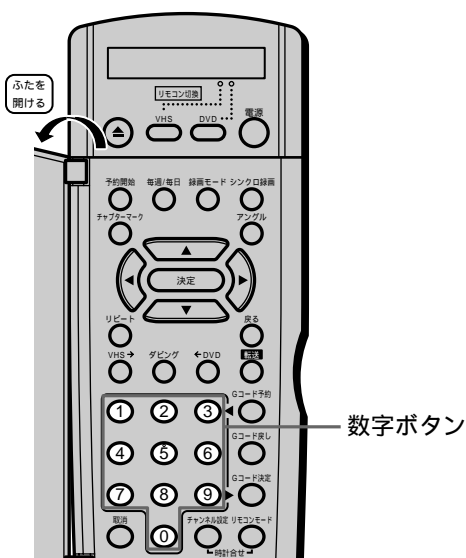
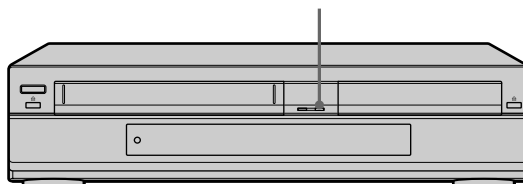
- 何も操作をしないと、約1分後にシステムメニュー画面は消えます。
- 再生中やタイトルリスト表示中などは、システムメニュー画面が表示できません。
- 再生やチャンネル切り換えなどの操作は、システムメニューを閉じてから行ってください。

ディスクの再生

ここでは、ディスクを再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組を頭出ししたり、録画した番組のとばしたい部分を早送りしたりできます。
また、繰り返し再生したりできます。音声やアングルを切り換えたり、画質を調整するなどの役立つ機能もあります。

ディスクを再生する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。ディスクによっては、禁止されている操作もあります。

次のページにつづく

ディスクを再生する（つづき）

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**

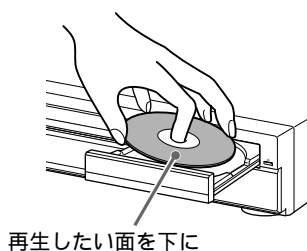
本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。
DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

4 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**

リモコン表示窓のDVDボタン線上にdマークが表示されます。

5 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

6 **ディスクを置く。**

再生したい面を下にして置きます。

7 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

8 **再生▷ボタンを押す。**

再生が始まります。
テレビまたはアンプの音量を調整します。

手順8の後に

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが出ることがあります。そのときはメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

⏏（開/閉）ボタンを押します。

DVDとVHSの映像・音声出力について

本機は、再生や録画の操作に応じて自動的にDVDとVHSの出力を切り換えます。ただし、操作や本機の状態により、再生・録画したい出力にならない場合は、VHS/DVD出力切換ボタンを押して、手動で出力を切り換えることができます。本体のDVD出力/VHS出力ランプが点灯しますので、どちらの映像と音声が出力されるか確認できます。
ただし、DVDメニュー画面やシステムメニュー画面は、VHS出力ランプがついているときでも表示されます。また、本機には「DVD/VHS共有」出力端子（アナログ端子）と「DVD専用」出力端子（S映像、D映像、デジタル音声端子など）があります。両方の端子をテレビとつないでいるときは、本機の出力を切り換えるときに、テレビの入力も切り換える必要があります。
接続について詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「準備5：テレビに映像コードをつなぐ」と「準備6：テレビやアンプに音声コードをつなぐ」をご覧ください。

ちょっと一言
電源が入っていなくても、⏏（開/閉）ボタンを押すとディスクトレイは開きます。ただし、開くまでに数10秒かかることがあります。

DVDのディスクのメニューを使うには DVD-VIDEO DVD-RW(VIDEO) DVD-R

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
テレビ画面に出るディスクのメニューにしたがって再生できます。

1 トップメニューまたはメニューボタンを押す。
ディスクのメニューが出ます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→または数字ボタンで項目を選ぶ。
数字ボタンで選ぶときは、必ず「01」、「02」のように頭に「0」をつけてください。

3 手順**2**で←/↑/↓/→ボタンを使ったときは、決定ボタンを押す。

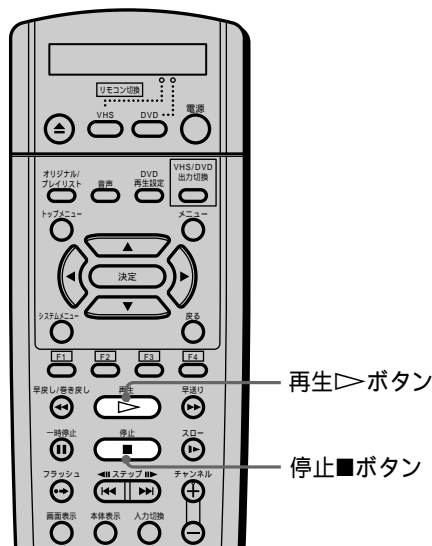
DTS音声が記録されたCDを再生するときのご注意 CD

- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器でないときは、CDのDTS音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーが破損したりするおそれがあります。
- CDのDTS音声を再生するときに、アナログ音声出力端子から異音が出ます。耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりすることがないようご注意ください。
- デジタル出力端子からDTS音声を出力していても「DTS」の表示は出ません。

DVDのDTS、ドルビーデジタル音声を再生するときのご注意 DVD-VIDEO

- デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのDTS音声を再生しないでください。
ドルビーデジタル音声についても接続したオーディオ機器がドルビーデジタルデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのドルビーデジタル音声を再生しないでください。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
- DTS音声を再生するときはアナログ音声出力端子からは音が出ません。
- ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を再生するときはアナログ音声出力端子からは2チャンネルに変換した音声が出ます。

再生を止めたところから再生する
(つづき再生) DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、本機の電源を切ってもつづき再生することができます。

1 **再生中、停止■ボタンを押して、再生を止める。**

2 **再生▷ボタンを押す。**
手順**1**で再生を止めたところから、再生が始まります。
テレビ画面に「つづき再生」が表示されます。

ちょっと一言
- ディスクを最初から再生したいときは、停止■ボタンを押して再生を止めてから、もう一度停止■ボタンを押したあと、再生▷ボタンを押します。

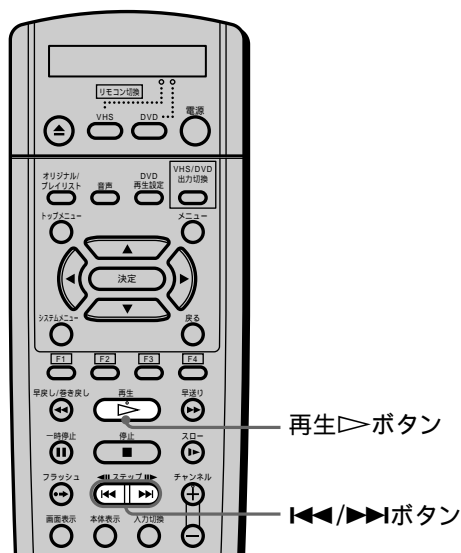
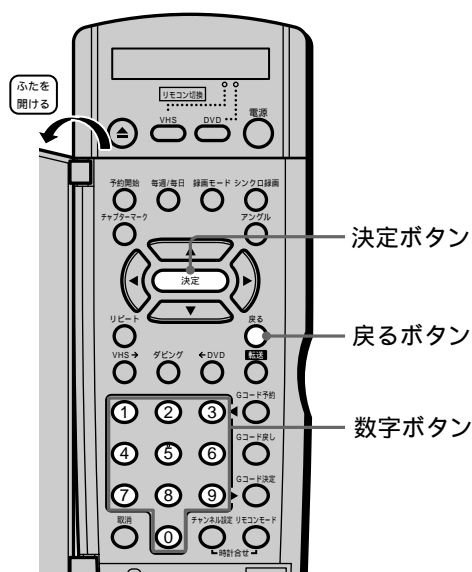
ご注意
- ディスクによっては、停止したところから再生しないものがあります。
- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、つづき再生できません。
  ー ディスクを取り出したとき
  ー オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
  ー ファイナライズなどの編集操作をしたとき
  ー DVDタイトルリスト画面を表示させたとき

次のページにつづく

ディスクを再生する（つづき）

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC再生） VIDEO CD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control - PBC機能）。

1 **PBC対応ビデオCDを入れ、再生▷ボタンを押して再生する。**

選択用のメニュー画面が出ます。

2 **メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタン（「01」、「02」…）で選ぶ。**

操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

「NEXT（次へ）」と「PREVIOUS（前へ）」の操作をするには

「NEXT（次へ）」の操作は▶▶Iボタンを押し、「PREVIOUS（前へ）」の操作はI◀◀ボタンを押します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

ちょっと一言

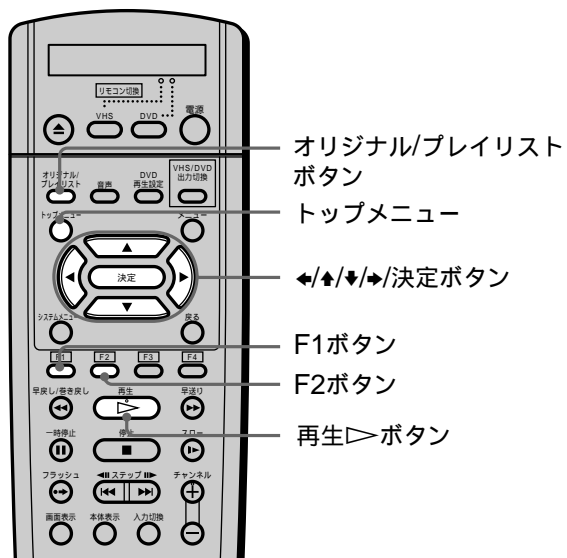
- PBC機能を使わないで再生するときは、停止■ボタンを2回押して再生を止めたあと、早送り▶▶ボタンを押します。
  PBC再生に戻すには、停止■ボタンを2回押して再生を止めたあと、再生▷ボタンを押します。

ご注意

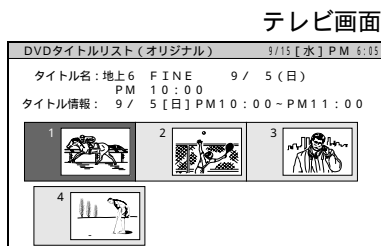
- ディスクによっては手順**2**で決定することを「選択ボタンを押す」と表示されるものがあります。そのときは、決定ボタンまたは再生▷ボタンを押してください。

録画したDVDを再生する

画像から選んで再生する（DVDタイトルリスト） DVD-RW DVD-R

録画または編集したディスクを再生するとき、画面（DVDタイトルリスト）に一覧表示された画像（サムネイル）から選んで再生することができます。通常、タイトルの最初の画像が出ます。
サムネイルリスト（画像付DVDタイトルリスト）に出る画像は好みの場面に変更することができます（☞77ページ）。
ファイナライズしたビデオモードのディスクを再生するときは、「画像から選んで再生する（タイトルメニュー）」（☞16ページ）をご覧ください。

1 **トップメニューボタンを押す。**
サムネイルリスト（画像付DVDタイトルリスト）画面が出ます。

例） DVD-RW（VR**モード）オリジナルタイトルリスト**

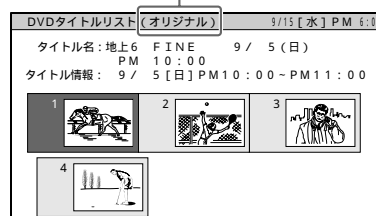
テレビ画面

2 **再生したいタイトルの画像を←/↑/↓/→で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

DVDタイトルリストを切り換えるには

- サムネイルリスト
  タイトル名リスト画面表示中に、F1ボタンを押すと出ます。またはチャプター単位画面表示中にF2ボタンを押すと出ます。
- タイトル名リスト
  サムネイルリスト画面表示中に、F1ボタンを押すと出ます。
- チャプター単位
  サムネイルリスト画面表示中に、F2ボタンを押すと出ます。
- タイトル名リストの順番を並べ替える
  タイトル名リスト画面表示中に、F2ボタンを押すと並べ替え画面が出ます。
  ←/→で並べ替えする項目（「新しい順」または「古い順」、「タイトル名順」）を選び、決定ボタンを押します。
  並べ替えされたタイトル名リスト画面に戻ります。
  並べ替えた順、および並び替えの設定は記憶されません。

オリジナルとプレイリストを切り換えるには DVD-RW(VR)

VRモードで録画したディスクは、手順**2**の前で、オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナルとプレイリストを切り換えることができます。オリジナル、プレイリストについて詳しくは、☞68ページをご覧ください。

オリジナルまたはプレイリスト

ちょっと一言
- 画像付DVDタイトルリストは、システムメニューから「DVDタイトルリスト」を選んでも表示できます（☞10ページ）。
- 画像付DVDタイトルリストに出る各タイトルの画像を好みの場面に変更することができます。詳しくは、「画像付DVDタイトルリストの画像を変更する」（☞77ページ）をご覧ください。
- 録画が終わってすぐに再生▷ボタンを押すと、今録画したタイトルが再生されます。

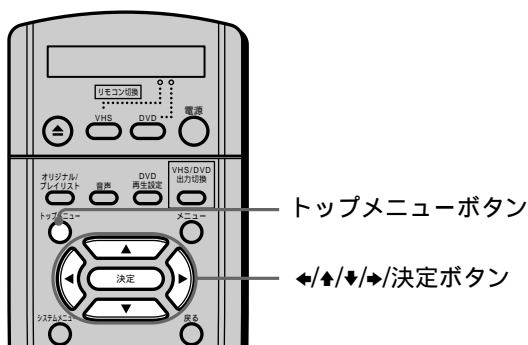
ご注意
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストを再生したとき、1タイトルが12時間以上ある場合は、そのタイトルは12時間までしか再生できません。

次のページにつづく

録画したDVDを再生する（つづき）

画像から選んで再生する

（タイトルメニュー） DVD-RW(VIDEO) DVD-R

録画したディスクをファイナライズした後に再生すると、タイトルメニューから好きなタイトルを選んで再生できます。

1 **トップメニューボタンを押す。**
タイトルメニュー画面が出ます。

テレビ画面

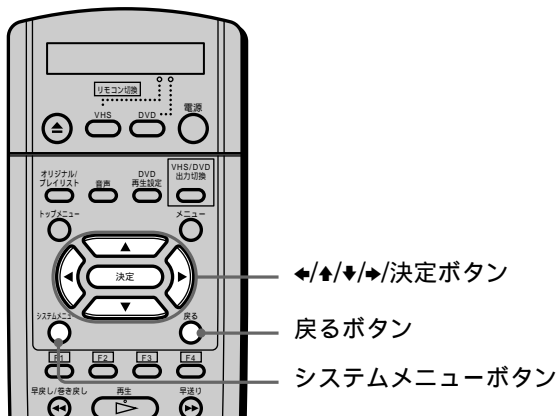
2 **再生したいタイトルを↑/↓で選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

ご注意

- ファイナライズ（☞93ページ）をするまでは、トップメニューボタンを押すと、画像付DVDタイトルリストが出ます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルに、本機で表示できない文字が含まれているときは、「＊＊＊・・・」（32文字まで）が出ます。

編集した映像のつなぎ目をなめらかに再生する（シームレス再生）

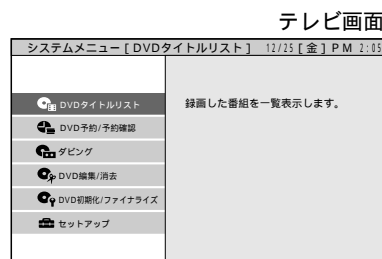
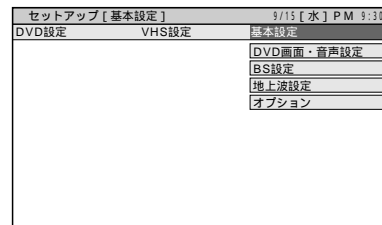
DVD-RW(VR)

編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生されます（ただし、つなぎ目に1秒程のズレが生じ、シーンの一部が表示されない場合があります）（☞102ページ）。

1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニュー画面が出ます

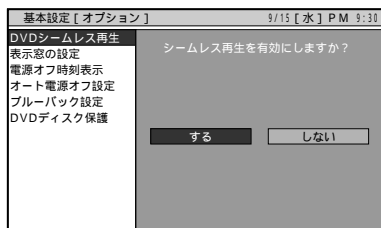
テレビ画面

2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **←/→で「基本設定」を選び、決定ボタンを押す。**

■セットアップ［基本設定］ 9/15［水］PM 9:30
DVD設定 VHS設定 基本設定
DVD画面・音声設定
BS設定
地上波設定
オプション

4 **↑/↓で「オプション」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「DVDシームレス再生」を選び、決定ボタンを押す。**

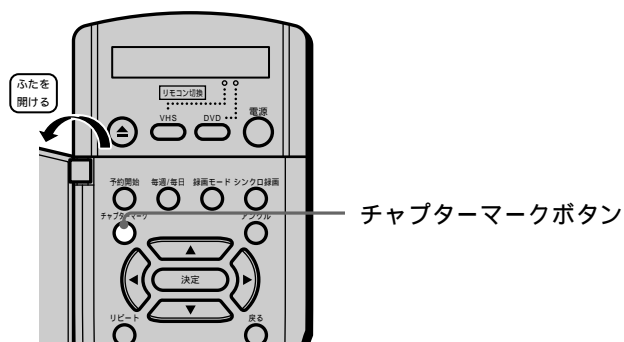
■基本設定［オプション］ 9/15［水］PM 9:30
DVDシームレス再生
表示窓の設定
電源オフ時刻表示
オート電源オフ設定
ブルーバック設定
DVDディスク保護
シームレス再生を有効にしますか？
する しない

6 **←/→で「する」を選んで、決定ボタンを押す。**

7 **システムメニューボタンを押して、設定画面を消す。**

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

再生中にチャプターマークを入れる

DVD-RW（VR）

再生中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面でチャプターマークボタンを押す。

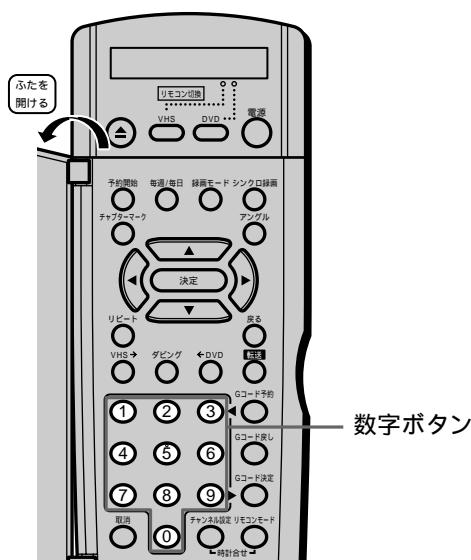
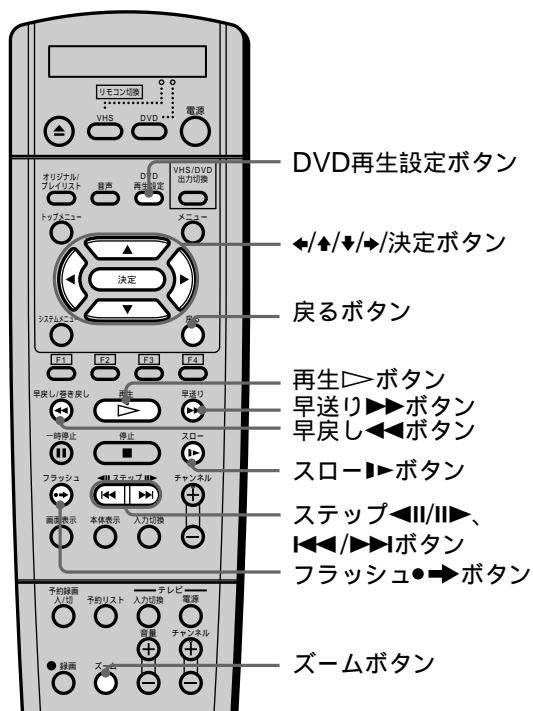
ボタンを押すたびに、チャプターマークが付けられます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。

ご注意

- チャプターマークを追加できないときはメッセージが表示されます。

見たい・聞きたいところを探す

いろいろな速さで画像をみたり、1コマずつ送って再生することができます。
ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。

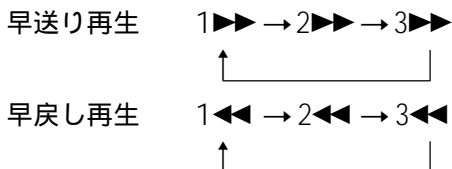
次のページにつづく

見たい・聞きたいところを探す（つづき）

早送り/早戻し再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

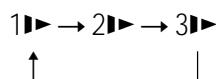
再生中に早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
早送り▶▶または早戻し◀◀ボタンを繰り返し押すと、早送り/早戻し再生の速さが変わります。
次の順で速くなり、表示が切り換わります。

早送り再生　1▶▶→2▶▶→3▶▶

早戻し再生　1◀◀→2◀◀→3◀◀

ちょっと一言
- DVDではタイトルをまたぐ早送り/早戻し再生ができません。タイトルの最初や最後になると通常の再生に戻ります。
- ビデオCDとCDでは、1◀◀/▶▶と2◀◀/▶▶の順に速くなり、表示が切り換わります。

スロー再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

再生中にスロー▮▶ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
スロー▮▶ボタンを繰り返し押すと、スロー再生の速さが変わります。
次の順で遅くなり、表示が切り換わります。

コマ送り再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD

一時停止中に再生方向はステップ⏸▶ボタン、逆方向（DVD-RWのVRモードのみ）はステップ◀⏸ボタンを押します。繰り返し押すと連続してコマ送りします。

ちょっと一言
- DVD-RW（VRモード）では、逆方向にコマ送りすると、0.5秒単位で戻ります。
- DVD-RW（ビデオモード）およびDVD-R、DVDビデオ、ビデオCDでは、逆方向のコマ送りができません。
- 再生方向と逆方向のコマ送りを組み合わせたり、コマ送りから再生したときに、次の停止や再生場面がずれることがあります。

場面をとばして再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

再生中にフラッシュ●➡ボタンを押します。
押すたびに約30秒単位で場面を先にすすめることができます。連続して4回までフラッシュ●➡ボタンを押して、約2分間の場面をとばせます。
再生中に自分の見たい場面をすばやく探すのに便利です。

ちょっと一言
- 同じタイトル内で働く機能です。

チャプターやトラックを頭出しする

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生中に、⏮/⏭ボタンを押します。
⏮ボタンを押すと、再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。約5秒以内に続けて⏮ボタンを押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。⏭ボタンを押すと、次のチャプター（トラック）の先頭に進みます。
ボタンを押した回数だけチャプター（トラック）が前後に進みます。

ちょっと一言
- VRモードで録画したDVD-RWでは、チャプターを手動で区切ることができます（☞43、75ページ）。
- 録画したDVD-RWまたはDVD-Rは、10分ごとなどに設定した間隔で録画中にチャプターを自動的に区切ります（☞97ページ）。

タイトルやチャプター番号、経過時間で頭出しする（サーチモード）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

DVDのタイトルまたはチャプター、タイトルの経過時間、ビデオCDやCDのトラックまたはシーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられています。その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間を入力して場面や曲を探すこともできます。

1 再生中にDVD再生設定ボタンを押す。
再生設定画面が出ます。

テレビ画面

2 ▲/▼で検索項目を選び、決定ボタンを押す。

- **DVDのとき**
  タイトル、チャプター、経過時間
- **ビデオCD、CDのとき**
  トラック、経過時間
- **ビデオCDをPBC再生しているとき**
  経過時間

3 ▲/▼または数字ボタンでタイトルやチャプター、トラックなどの番号や、経過時間を選ぶ。

- **経過時間を入力するとき**
  「00：00：00」を時、分、秒で設定します。◀/▶で時、分、秒を選び、▲/▼で数字を入力します。

4 決定ボタンを押す。
選んだ場面から再生します。

設定画面を消すには

DVD再生設定ボタンまたは戻るボタンを押します。

ちょっと一言

- 経過時間を入力して頭出しするときは、同じトラック内で設定できます。
- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように出ます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中には、サーチモードは使えません。

タイトルを選んで再生する

DVD-VIDEO **DVD-RW（VR）** **DVD-R**

DVDのタイトルを選んで再生することができます。
停止中にズームボタンを押した後、再生したいタイトルの番号を数字ボタンで選び、決定ボタンを押します。
選んだタイトルから再生が始まります。

繰り返し再生する

（リピート再生）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生中のタイトルやチャプター、トラックを繰り返して再生できます。

1 **リピート再生したいチャプターやタイトル、トラックを再生する。**

2 **リピートボタンを押す。**

3 **←/→でリピートの種類を選ぶ。**

- **再生中のタイトル**
  再生中のタイトルまたはトラックが再生し終わると、そのタイトルまたはトラックの先頭からリピート再生します。
- **再生中のチャプター**（DVD**のみ**）
  再生中のチャプターが再生し終わると、そのチャプターの先頭からリピート再生します。
- **部分を指定**（A-B**リピート再生**）
  ☛21ページをご覧ください。
- **リピート再生をしないとき**
  戻るボタンを繰り返し押します。

4 **決定ボタンを押す。**

通常の再生に戻すには

リピートボタンを押して、リピート再生を解除します。

ちょっと一言

再生設定画面の（リピートアイコン）で「入」を選び、決定ボタンを押すと、手順**2**の画面が出ます。

ご注意

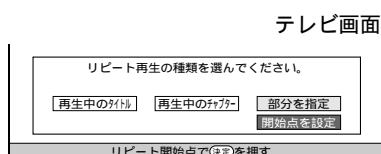
- ビデオCDのPBC再生中には、リピート再生できません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、リピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。

再生したい部分だけを繰り返す（A-Bリピート再生）

再生したい部分（シーンや曲など）を指定して、リピート再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 **リピート再生したいチャプターやタイトル、トラックを再生する。**

2 **リピートボタンを押す。**

3 **←/→で「部分を指定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **繰り返す部分の始点（A点）で決定ボタンを押す。**

5 **繰り返す部分の終点（B点）でもう1度決定ボタンを押す。**
終点が設定され、指定した部分を繰り返して再生します。

通常の再生に戻すには

リピートボタンを押して、A-Bリピート再生を解除します。

ちょっと一言

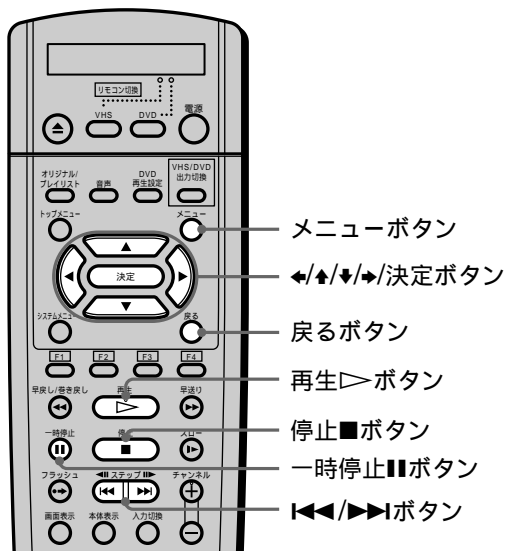
- DVDでは、タイトルをまたいだA-Bリピート再生はできません。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中は、A-Bリピート再生できません。
- アングルが複数記録されている部分（☞27ページ）では、A-Bリピート再生はできません。
- 停止■ボタン、ステップボタン、メニューボタンなど他のボタンを押すと、A-Bリピート再生は解除されます。
- ディスクによっては、A-Bリピート再生が禁止されているものがあります。

静止画（JPEG画像）を再生する

DATA CD

本機は、CDに記録した静止画（JPEGファイル）を再生することができます。

静止画の記録されたディスクを入れて、再生▷ボタンを押す。

1枚目の静止画が画面に表示されます。

I◀◀/▶▶Iボタンを押すと、静止画が順番に切り換わります。

静止画再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生できる静止画について

本機では、JPEG形式の静止画を最大2MB（解像度300万画素相当）まで再生できます。

JPEGとは、静止画（写真やイラストなど）を保存するファイル形式のひとつです。

ご注意

- JPEG形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
- パソコンで作成、編集などを行なった静止画は一部再生できない場合があります。
- フォルダ数やファイル数、データ容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- Exif情報は表示されません。
- 画像によっては、画像のまわりに黒いふちが見えることがあります。
- 解像度が300万画素を越えたファイルでも、容量が2MB以下であれば再生できます。

CD-RW/CD-Rに記録されている静止画を再生するときのご注意

- 音楽や映画などと静止画が混在しているディスクでは、再生できるのは静止画のみです。
- ディスクによっては再生できない場合があります。
- 本機が認識できるのは、フォルダ数で最大8段階・256個まで、ファイル数で最大4096枚までです。
- マルチセッションディスクは再生できません。
- 画像加工ソフトなどで加工（回転や上書き保存）した静止画、およびインターネットやメールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- 拡張子を除いたファイル名が8文字以内でも、半角英数字以外のファイル名のときは、ファイル名が「＊」やスペース表示となったり、再生できない場合があります。

再生できない静止画について

本機では、次の静止画ファイルは再生できません。

- JPEG形式以外の静止画ファイル（TIFFなど）
- プログレッシグJPEG形式のファイル
- MOTION JPEG形式のファイル
- 容量が2MB､300万画素を超えているファイル
- 拡張子を除いたファイル名が8文字を超えているファイル

フォルダを選んで再生する

静止画のリストから選んで再生します。

1 **静止画の記録されたディスクを入れ、メニューボタンを押す。**

フォルダ選択画面が表示されます。

テレビ画面

■JPEGリスト　9/15［水］PM 6:05

フォルダ選択してください。

3／全　20フォルダ

1 ALBUM	2 ALBUMOLD
3 ALBUMNEW	4 UNNAMED
5 TEMP	6 E. T. C.
7 SUMMER	8 PARTY
9 RESORT	10 RESORT2

2 **←/↑/↓/→ボタンで再生したいフォルダを選び、決定ボタンを押す。**

選んだフォルダ内の静止画が一覧表示されます。

3 **←/↑/↓/→ボタンで再生したい静止画（JPEGファイル）を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ静止画が画面に表示されます。
- 別の静止画を再生したいときは、手順**2**～**3**を行います。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

スライドショー再生をする

静止画が自動で順に切り変わります

1 **静止画の記録されたディスクを入れ、メニューボタンを押す。**

フォルダ選択画面が表示されます。

2 **←/↑/↓/→ボタンで再生したいフォルダを選び、F4ボタンを押す。**

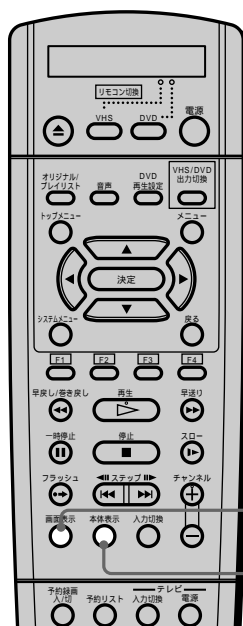
選んだフォルダー内の静止画がスライドショー再生されます。
- 一時停止するには、一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと、再生に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

ディスクの情報や残り時間を見る

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

タイトルやチャプター、トラックの経過時間や残り時間、録画モードやディスクの空き時間などのディスク情報を見ることができます。

画面表示ボタンを押す。

テレビ画面にディスクの情報などが出ます。ボタンを押すたびに、次のように画面表示が変わります。

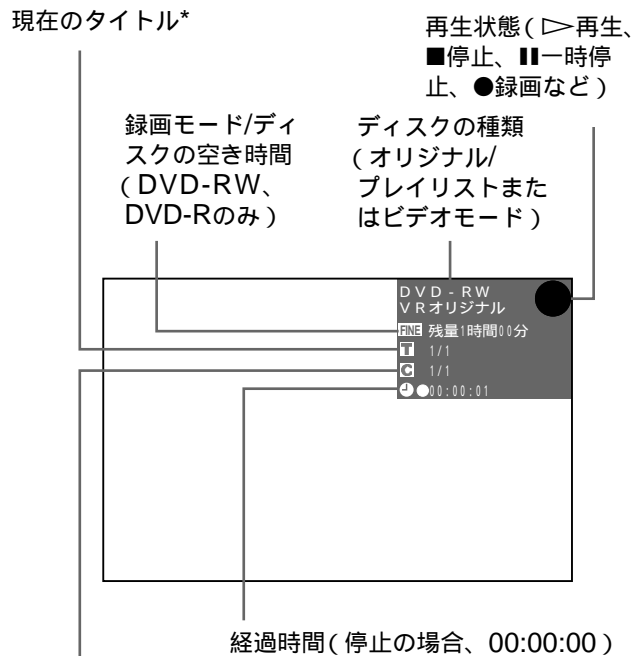
①**情報表示**
画面表示を約60秒間表示します。

②**カウンター表示**
常に画面表示を表示します。

③**表示「切」**
画面表示されません。

次のページにつづく

ディスクの情報や残り時間を見る（つづき）

例）DVD-RW（VRモード）のとき
①情報表示

③表示「切」
画面表示なし

* CDのときはトラックと経過時間、ビデオCD（PBC再生時）のときは再生しているトラックの経過時間が出ます。
**ビデオCD/CDのときは再生しているトラックの経過時間が出ます。

画面表示を消すには

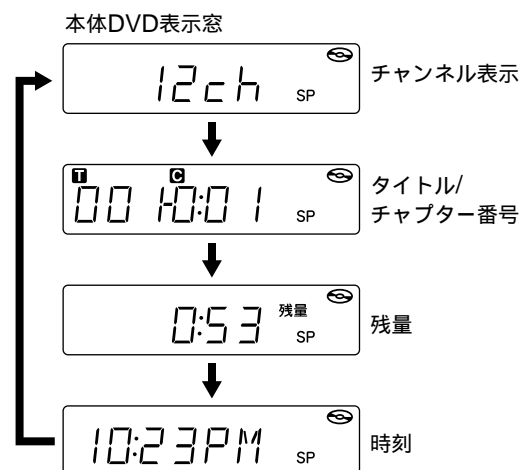
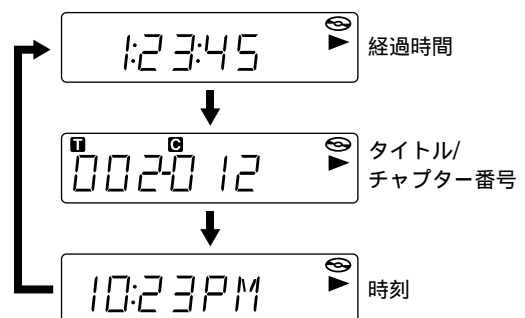
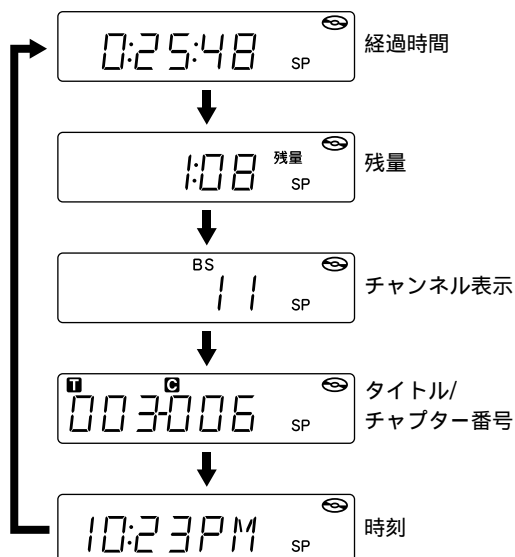
画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言
- ファイナライズ済みのディスクを入れると、ディスクの残量に「ファイナライズ済」と出ます。
- ディスクによって、表示される内容が異なります。

ご注意
- 使用中のディスクや動作状態によっては、出ない情報があります。
- 録画中は、ディスクの残量表示が実際の残量と異なることがあります。正しい残量時間は、停止時に再度表示するディスク残量で確認してください。
- DVDの専用出力端子でご覧になるときも、画面表示するときは、DVDの出力に切り換えてください。

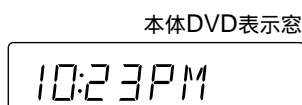
本体DVD表示を見る

本体表示ボタンを押すと本体DVD表示窓の表示を切り換えることができます。リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

例）DVD-RW停止時

例）DVD-RW再生時

例）DVD-RW録画時

電源が切れているとき

システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「電源オフ時刻表示」－「しない」を選ぶと（☛102ページ）、本体表示ボタンを押したときに時刻が出ます。表示は、約1分後に自動的に消えます。

本体DVD表示窓

10:23PM

「電源オフ時刻表示」を「する」に設定していると、常に時刻が出て、本体表示ボタンは働きません。

音声を切り換える

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。また、CDやビデオCDの再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。
カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけ聞くこともできます。

1　リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。

2　再生中に音声ボタンを押す。

現在再生中の音声番号が表示されます。
ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

- **DVDビデオのとき**
  選べる言語はディスクによって異なります。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。
- **ビデオCD/CDのとき**
  L+R：通常のチャンネル
  L：左チャンネルの音（モノラル）
  R：右チャンネルの音（モノラル）
- **二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）のとき**
  主：主音声
  副：副音声
  主＋副：主音声（左）＋副音声（右）

次のページにつづく

音声を切り換える（つづき）

- **ステレオ放送、モノラル放送を記録したDVD-RW（VRモード）のとき**
  「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

放送受信時の音声について

二カ国語放送など二重音声の番組を受信中に音声ボタンを押すと、主音声、副音声などの音声を切り換えることができます。
デジタル接続したときは、音声を切り換えることはできません。

- 二重音声（二カ国語）放送を受信しているとき
  以下の表示を切り換えることができます。
  主：主音声
  副：副音声
  主　副：主音声（左）＋副音声（右）
- ステレオ放送を受信しているとき
  ステレオが表示されます。
- モノラル放送を受信しているとき
  は「モノラル」と表示されます。

※DVD出力（オレンジ色ランプ点灯）時、ステレオ放送受信中やモノラル放送受信中は、音声は切り換わりません。

ちょっと一言

- DVDビデオでいつも使いたい音声の種類を設定することができます。システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「再生初期設定」－「言語設定」－「音声言語」を設定してください（☞96ページ）。
- 複数の音声が記録されているDVDビデオで、音声の切り換えが音声ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVD再生設定ボタンで再生初期設定画面から を選んで音声を切り換えることができます。
- DTS音声を聞くためには、DTSデジタルサラウンド対応アンプなどが必要です。このときは、音声ボタンを押して「DTS音声」を選んでください。

ご注意

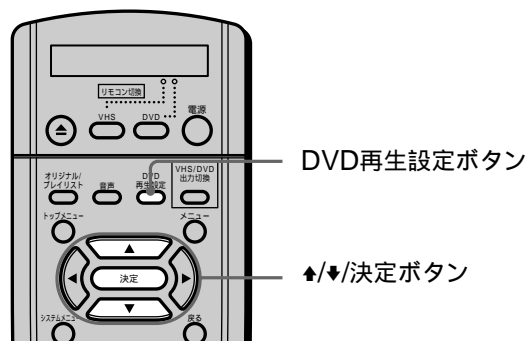
- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDビデオを再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- ドルビーデジタル出力をしている場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。
- 二カ国語放送など二重音声の番組をDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに録画しているときは、システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「二重音声記録」（☞98ページ）で設定されている音声が選択されます。音声切換はできません。

バーチャルサラウンドを楽しむ

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R**

バーチャルサラウンド（スペシャライザー方式）機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）のみの音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。
デジタルサラウンド（スペシャライザー方式）機能は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer*®とN-2-2™、四角に丸のマークは、デスパー・プロダクツ社の商標です。

1 **再生中に、DVD再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

例）DVD再生時　　テレビ画面

2 **↑/↓で（バーチャルサラウンド）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **DVD再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。**

通常の音声に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

- 次のデジタル接続をしたときにも、バーチャルサラウンド機能が楽しめます。
  - DVDのリニアPCM音声を再生したとき
  - システムメニューの「セットアップ」−「基本設定」−「DVD画面・音声設定」−「デジタル音声出力」−「PCM」を選び、ドルビーデジタル音声を再生したとき
- オーディオDRC機能のあるDVDビデオを再生してバーチャルサラウンドを楽しむには、システムメニューの「セットアップ」−「基本設定」−「DVD画面・音声設定」−「オーディオDRC」−「スタンダード」を選びます（☛101ページ）。

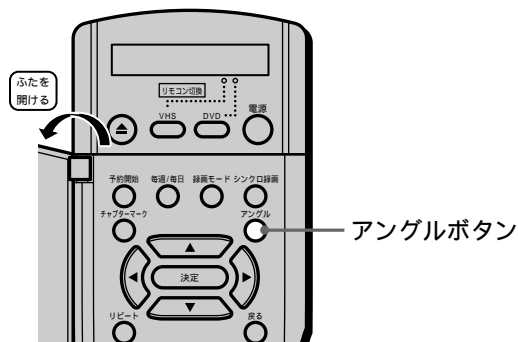
ご注意

- テレビ放送や外部入力からの音声は効果がありません。
- モノラルで記録した音声には効果がありません。
- 二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）には効果がありません。
- カラオケ用ディスクのマルチカラオケ音声や、96kHzリニアPCM音声、DTS音声には効果がありません。

アングルを切り換える

（マルチアングル）

DVD-VIDEO

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。
たとえば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。

再生中にアングルボタンを押す。
現在再生しているアングル番号が出ます。
ボタンを押すたびに、アングルが切り換わります。

ちょっと一言

- DVD再生設定ボタンで再生設定画面から 🎥 を選んでアングルを切り換えることができます。
- アングルが1つしかないディスクのときは、画面に「🎥 ××」と出ます。

ご注意

- ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによって操作が異なるので、ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- アングルが記録されている場面については、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

字幕を表示する

DVD-VIDEO

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりすることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて、語学の学習に役立てたりできます。

1 **再生中にDVD再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

テレビ画面

2 **↑/↓で（字幕）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で見たい言語の字幕を選び、決定ボタンを押す。**

4 **DVD再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。**

字幕を消すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

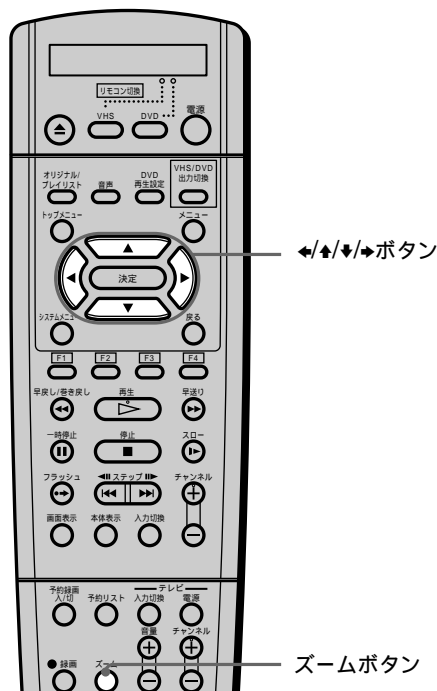
- 複数の字幕が記録されているディスクで字幕の切り換えができない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVDビデオでいつも使いたい字幕の種類を設定することができます。システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「再生初期設定」－「言語設定」－「字幕言語」を設定してください（☞96ページ）。

ご注意

- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによって操作が異なるので、ディスクの取扱説明書もご覧ください。

映像を拡大する
（ズーム）

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD

再生中にお好みの映像を拡大して表示することができます。

1　再生中にズームボタンを押す。
映像が拡大され、「ズーム：１」が出ます。

ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。
ズーム：1（約1.2倍）→ ズーム：2（約1.5倍）→ ズーム：3（約2.0倍）→ 解除（表示なし）

2　←/↑/↓/→で拡大した部分を移動させる。

通常の画面に戻すには

手順**1**でズームボタンを繰り返し押して「解除」を選びます。

ご注意

- ズームに切り換えるとき、画像が乱れることがあります。
- 字幕表示はズームされません。
- 再生▷ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタンなどを押すと、ディスクによってはズームが解除されます。
- DVDが停止中にズームボタンを押すと、一時的に音声が途切れたり、画面表示が消えることがあります。

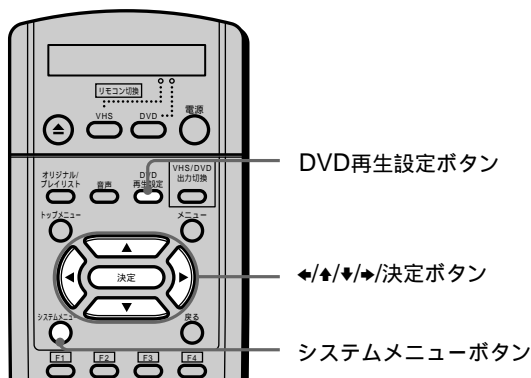
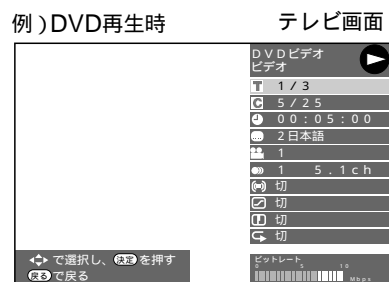
画質を調整する

お好みに合わせて、映像の画質を調整することができます。

暗い部分を見やすくする（デジタルガンマ） DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD

暗い映像を再生しているとき、暗い部分を明るくして見やすくすることができます。明るい部屋で再生しているときなど、映像の暗い部分が見やすくなり、奥行きのある映像が楽しめます。

1　再生中に、DVD再生設定ボタンを押す。
再生設定画面が出ます。

例）DVD再生時　　テレビ画面

2　↑/↓で（デジタルガンマ）を選び、決定ボタンを押す。

3　↑/↓で「入」を選びます。

次のページにつづく

画質を調整する（つづき）

4 **←/→でレベルを調整し、決定ボタンを押す。**
→を押すと明るくなります。
←を押すと戻ります。

5 DVD**再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。**

通常の画面に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ご注意

• プログレッシブ再生中にガンマレベルの調整はできません。

シャープネスを設定する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとした映像を再現したり、ノイズを少なくして見やすい映像にすることができます。

1 **再生中に、**DVD**再生設定ボタンを押す。**
再生設定画面が出ます。

2 **↑/↓で［シャープネスアイコン］（シャープネス）を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「入」を選ぶ。**

4 **←/→でレベルを調整し、決定ボタンを押す。**
→を押すと映像がくっきりします。
←を押すと戻ります。

5 DVD**再生設定ボタンを押して、再生設定画面を消す。**

通常の画面に戻すには

手順**3**で「切」を選びます。

ちょっと一言

• 昔の映画などノイズの目立つ映像などで、ノイズを少なくして見やすい映像を楽しみたいときは、「入」表示中に←を押します。

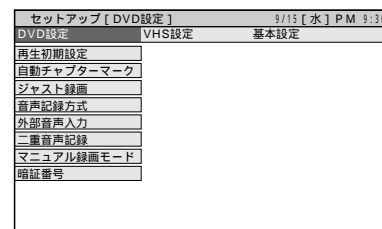
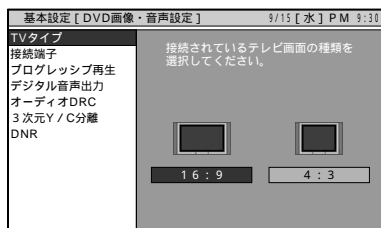
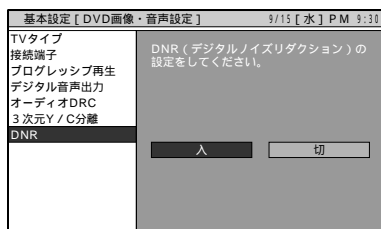
映像のノイズを減らす（DNR）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

DNR（デジタルノイズリダクション）機能を使うと、画面上にモザイクのようにあらわれるブロックノイズを低減することができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニュー画面が出ます。

2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **←/→で「基本設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「DVD画面・音声設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「DNR」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

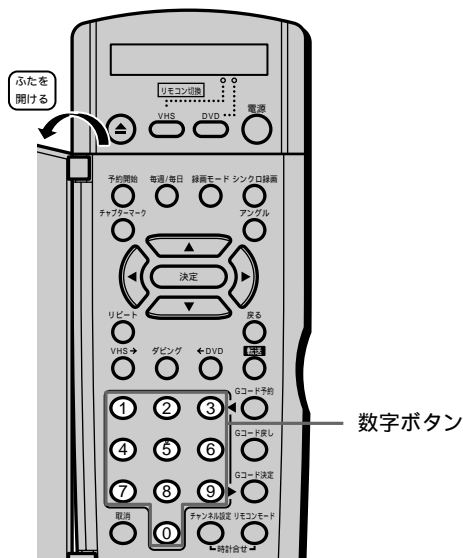
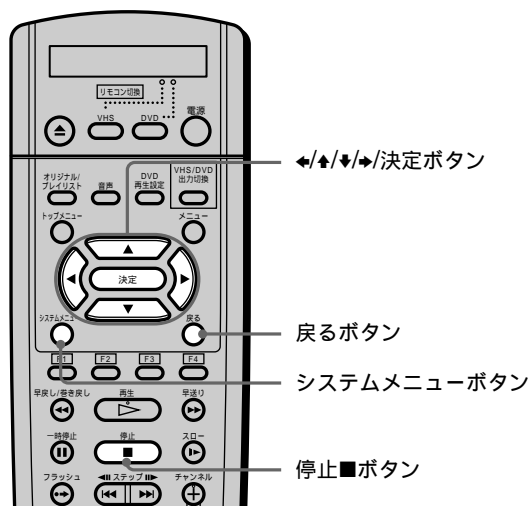
7 **システムメニューボタンを押して、設定画面を消す。**

ちょっと一言

- LPモードやEPモードなど長時間記録した映像を再生するときは「入」に、DVDビデオなどのノイズの少ないディスクを再生するときは「切」にすることをおすすめします。

ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）

DVD-VIDEO

本機のレベルをディスクのレベルよりあらかじめ小さく設定しておくと、視聴年齢制限つきDVDで再生できるシーンの視聴を制限することができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニュー画面が出ます。

2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

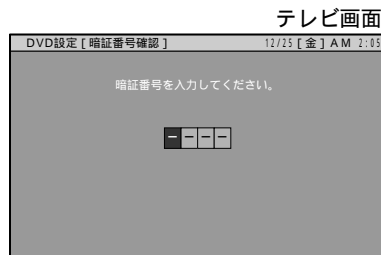
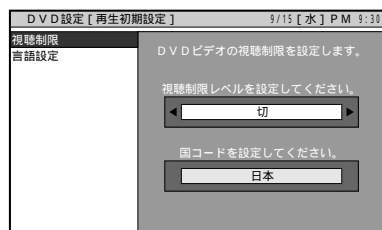
3 **←/→で「DVD設定」を選び、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

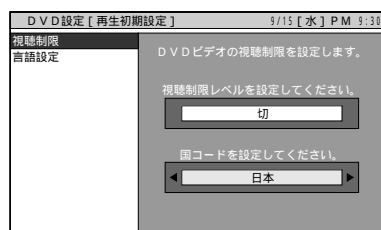
ディスクの再生を制限する（つづき）

4 **↑/↓で「再生初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「視聴制限」を選び、決定ボタンを押す。**
暗証番号入力画面が表示されます。

テレビ画面

6 **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。**

- **暗証番号をはじめて入力するとき**

1. ←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。
2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
3. 確認のため、もう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
4. 「確認」で決定ボタンを押す。

7 **←/→で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。**
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

8 **←/→で国名を選び、決定ボタンを押す。**
視聴年齢制限の設定が終了します。

9 **システムメニューボタンを押して、設定画面を消す。**

国コードについて

本機では、次の国コードを設定することができます。国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。
以下の国コードを選ぶことができます。
アメリカ、カナダ、日本、ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、スウェーデン、オランダ、ノルウェー、デンマーク、フィンランド、ベルギー、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、台湾、フィリピン、オーストラリア、ロシア、中国

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

暗証番号を変更するには

システムメニューの「セットアップ」−「DVD設定」−「暗証番号」で停止■ボタンを4回押します。パスワードが解除され、暗証番号を設定し直すことができます。

視聴年齢制限できるディスクを再生するとき

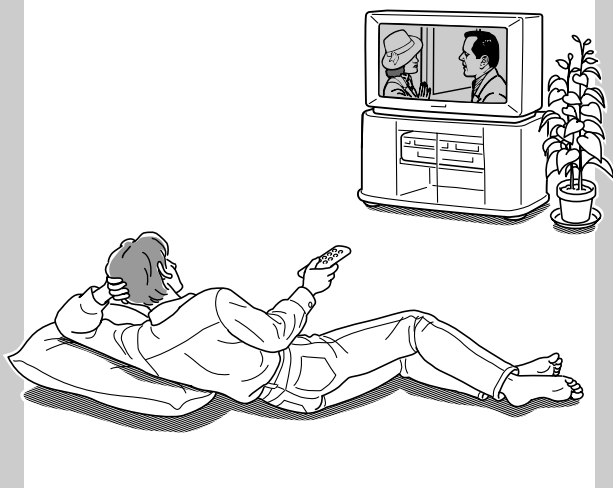
再生中に視聴制限の画面が出たら、以下の操作を行います。

1. 「レベルの一時変更を行いますか」と表示されます。
   - ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限の暗証番号入力画面が出ます。
   - ←/→で「いいえ」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限画面が終了します。
2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
   再生が始まります。

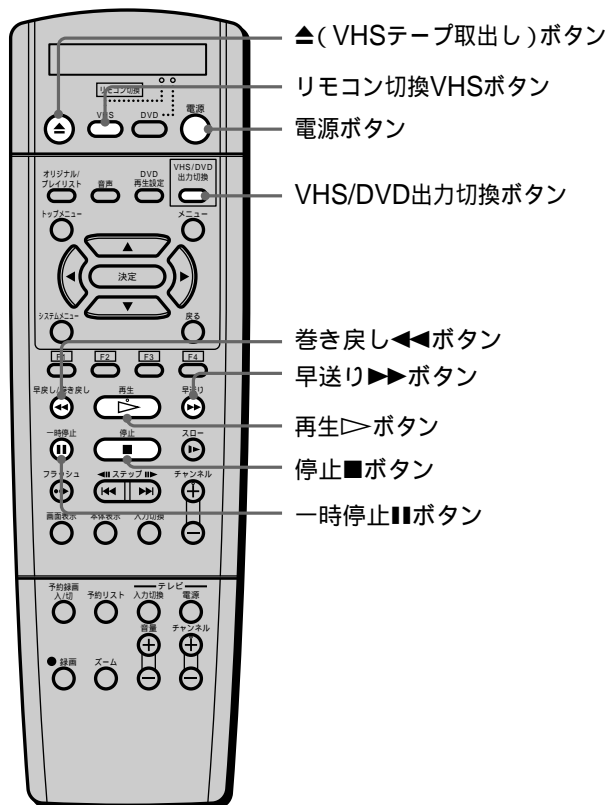
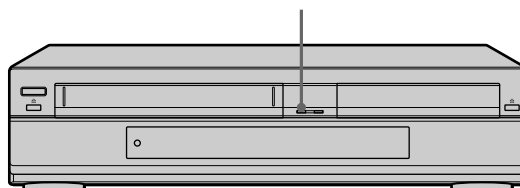
ご注意

- 視聴年齢制限情報がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限されません。

VHSの再生

ここでは、VHSテープを再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・早送り再生などの変速再生ができるほか、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたり、1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。
また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整、画質の補正など、再生に役立つ機能もあります。

VHSを再生する

VHS

VHSテープを再生して見ることができます。

⚠注意

小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがをすることがあります。

VHSを再生する（つづき）

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

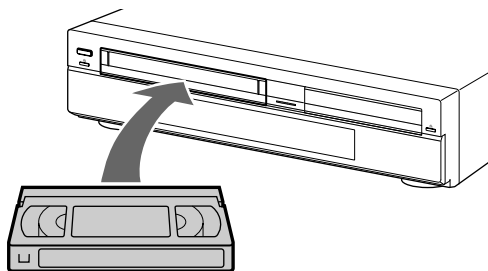
2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 VHS/DVD**出力切換ボタンを押して、**VHS**の出力にする。**

本体のVHS出力ランプが点灯（緑色）します。
ボタンを押すたびに、VHSとDVDの出力が切り換わります。

4 **リモコン切換**VHS**ボタンを押し、リモコンの操作モードを「**VHS**」にする。**

リモコン表示窓のVHSボタン線上に**⊔**マークが表示されます。

5 VHS**テープを入れる。**

6 **再生▷ボタンを押す。**

再生が始まります。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。
再生▷ボタンを押すか、約5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻き戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。
早送り・巻き戻し中にもう一度押すと、高速の早送り・巻き戻しに切り換わります。通常の早送り・巻き戻しのスピードに戻すには、停止■ボタンを押してから再度早送り▶▶ボタンまたは巻き戻し◀◀ボタンを押します。

カセットを取り出すには

⏏（VHSテープ取出し）ボタンを押します。

DVDとVHSの映像・音声出力について

本機は、再生や録画の操作に応じて自動的にDVDとVHSの出力を切り換えます。ただし、操作や本機の状態により、再生・録画したい出力にならない場合は、VHS/DVD出力切換ボタンを押して、手動で出力を切り換えることができます。本体のDVD出力/VHS出力ランプが点灯しますので、どちらの映像と音声が出力されるか確認できます。
ただし、DVDメニュー画面や設定画面は、VHS出力ランプがついているときでも表示されます。
また、本機には「DVD/VHS共有」出力端子（アナログ端子）と「DVD専用」出力端子（S映像、D映像、デジタル音声端子など）があります。両方の端子をテレビとつないでいるときは、本機の出力を切り換えるときに、テレビの入力も切り換える必要があります。
接続について詳しくは、☛別冊「接続と準備」の「準備**5**：テレビに映像コードをつなぐ」と「準備**6**：テレビやアンプに音声コードをつなぐ」をご覧ください。

ちょっと一言

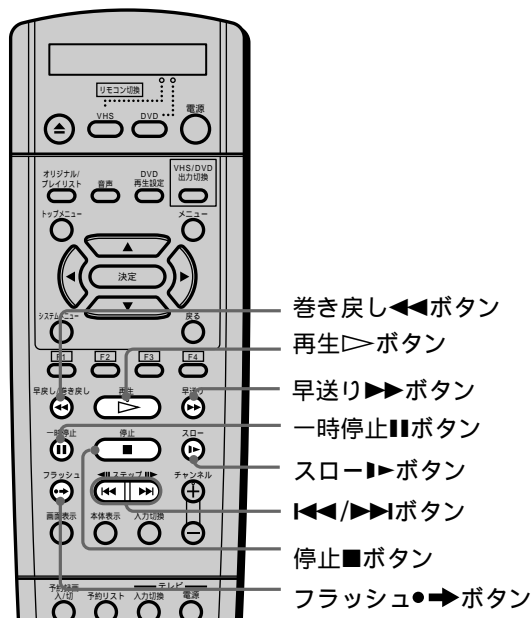
- ツメの折れたカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- 二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声ボタンを押します（☞38ページ）。
- 電源が切れているときにVHSテープを入れると、自動的に電源が入ります。
- VHSテープの最後まで再生すると、自動的にテープの最初まで巻き戻しされて、テープが出てきます。
- VHSテープの片側を押したり、無理に早く入れたりするとテープが正しく入らず詰まることがありますが、しばらくするとテープが自動的に出てきます。
- テープの巻き量や種類によっては、高速の早送り・巻き戻しができない場合があります。
- テープによっては一旦停止し、再度、早送り・巻き戻しに入る場合があります。これはテープ保護のためで故障ではありません。
- DVDへ書き込み中に、VHS/DVD出力切換ボタンを押してVHSに切り換えると、DVD出力ランプ（オレンジ色）が点滅します。

ご注意

- カセット挿入口にVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- S-VHS方式で録画したテープを再生すると画像が乱れることがあります。

見たいところを探す

VHS

いろいろな速さで画像をみたり、1コマずつ送って再生することができます。

チャンネル＋/－（トラッキング）ボタン

VHSの再生

次のページにつづく

見たいところを探す（つづき）

速さを変える

再生中に変えたい画像の速さのボタンを押す。

画像の速さ	操作
スロー	スロー▮►ボタンを押す。
早送り再生	早送り▶▶ボタンを押す。 もう一度押すと、早送りのスピードが速くなります。
巻き戻し再生	巻き戻し◀◀ボタンを押す。 もう一度押すと、巻き戻しのスピードが速くなります。
コマ送り再生	一時停止❚❚ボタンを押して再生一時停止にしたあと、もう一度一時停止❚❚ボタンを押す。 押しつづけると連続してコマ送りします。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

- スローで見ているときに、約5分以上たつと自動的にふつうの再生になります。
- 画像が縦ゆれするときは、本体のVHS側のチャンネル（トラッキング）+/−ボタンを押して調整できます（☛右記）。このとき、画像がチラつくことがあります。

ご注意

- 再生の速さを変えると、画像が乱れます。

場面をとばして再生する

再生中にフラッシュ●➡ボタンを押します。押すたびに約30秒単位で場面を先にすすめることができます。
連続して4回までフラッシュ●➡ボタンを押して、約2分間の場面をとばせます。
再生中に自分の見たい場面をすばやく探すのに便利です。

頭出しをする

複数の番組を録画したVHSテープから、見たい番組をすばやく探すことができます。
本機で番組を録画すると、録画の始まり位置に頭出し信号を自動書込みします。この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。停止または再生中に操作してください。

I◀◀ またはI▶▶Iボタンを押し、見たい番組を頭出しして再生します。I◀◀ で前の番組の頭出しが、▶▶I で次の番組の頭出しができます。ボタンを押すたびに、それぞれ最大19まで頭出しができます。
途中で止めたいときは停止■ボタンを押してください。

ご注意

- 頭出し表示の数字は、信号をとび越すごとに1つずつ減ります。
- VHSテープの一番最初に記録されている番組は、頭出しできないこともあります。
- 頭出し位置は多少ズレる場合があります。
- 頭出し信号どうしの間隔が短い（約5分以内）ときは、正しく頭出しできないことがあります。

トラッキングを調整する

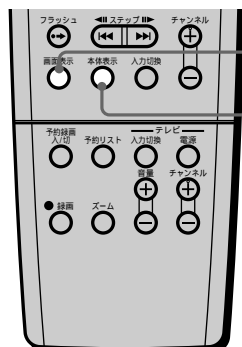
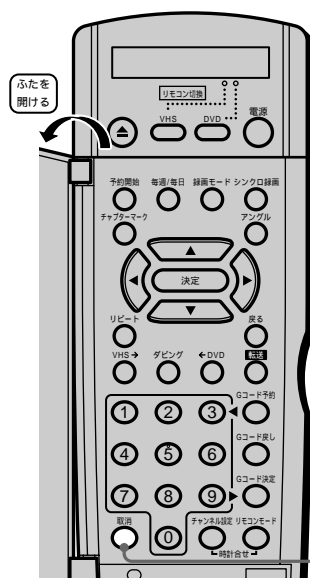
通常、再生中はトラッキングが自動調整されますが、別のビデオで録画されたVHSテープなどを再生してノイズが出る場合は、手動でトラッキングを調整することができます。
再生中やスロー再生中に、本体のVHS側のチャンネル＋または−ボタンを押し、ノイズが少なくなるように調整します。
自動調整にもどすときは、チャンネル+/−（トラッキング）ボタンを2つ同時に押してください。

ちょっと一言

- 本機以外のビデオで録画したVHSテープや、市販のビデオソフトなどを再生したときに、Hi-Fi音声が正常に聞こえない場合があります。そのようなときは、リモコンの音声ボタンを押してノーマル音声を選んでください。
- EP（3倍）モードで録画したVHSテープを再生したとき、映像が上下に乱れることがあります。手動でトラッキング調整をしてください。それでも映像が上下に乱れるときは、本体の再生▷ボタンを2秒間押してください。その際画面表示が上下に乱れる場合がありますが、異常ではありません。電源を切ったり、VHSテープを取り出したりすると、もとの状態に戻ります。

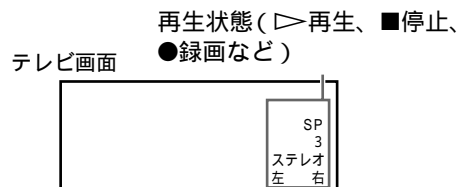
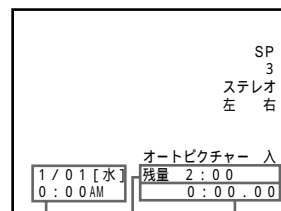
画面表示やテープ残量を見る

VHS

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

画面表示ボタンを押す。

テレビ画面にVHSの情報が出ます。ボタンを押すたびに、次のように画面表示が変わります。

①オート

チャンネル・録画モード・再生状態・音声を約3秒間表示します。

②表示「入」　常に画面表示を表示します。

③表示「切」　画面表示されません。

①に戻ります。

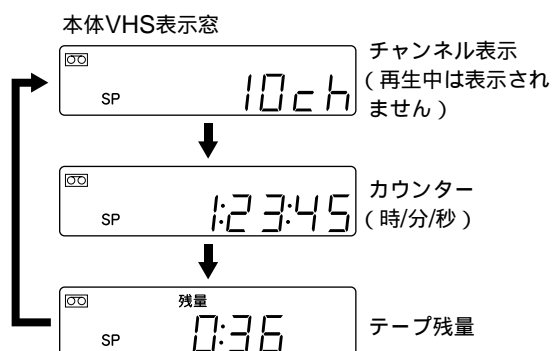
画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

リモコン操作モードを「VHS」にして、取消ボタンを押します。テープを入れ換えたときも「0:00:00」になります。

本体VHS表示を見る

本体表示ボタンを押すと本体VHS表示窓の表示を切り換えることができます。リモコンの操作モードを「VHS」にしてください。
本体表示ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

ちょっと一言

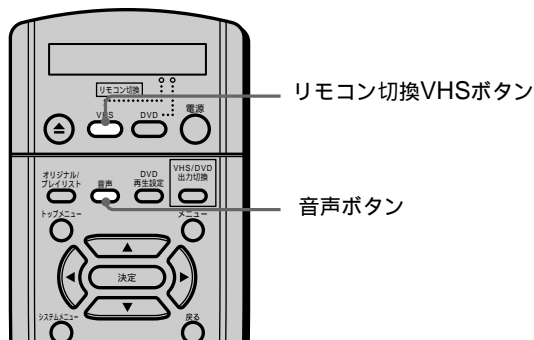
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」－「切」に設定している場合、画面表示は映像信号が入っていないと表示されません。
- 録画中にテープ残り時間が約5分になると点滅表示に変わります。
- テープ残量は、表示している録画モード、SP（標準）またはEP（3倍）、に合わせてテープ残量を計算し、表示します。

ご注意

- VHS-C、S-VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
- テープの種類によっては、残量が正しく表示されないことがあります。
- テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

音声を切り換える

VHS

ステレオや二か国語放送などを録音したテープを再生するとき、音声を切り換えることができます。

1 **リモコン切換VHSボタンを押し、リモコンの操作モードを「VHS」にする。**

2 **再生中に音声ボタンを押す。**
ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

画面に出る表示	聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
左　右	主音声と副音声の混合	ステレオ
左	主音声	左チャンネル
右	副音声	右チャンネル
表示なし	主音声	モノラル

放送受信時の音声について

本機で受信しているステレオや二か国語放送の音声も、音声ボタンで切り換えることができます。

ご注意

- 音声ボタンは、次のとき働きません。
  - モノラルまたは主音声だけで録画したテープを再生したとき（常にモノラルまたは主音声のみ）
  - 本機の入力端子につないだ機器の音声を切り換えるとき（つないだ機器で切り換えてください）

録画・予約

DVDとVHSに別の番組を同時に録画できます。また、同じ時間帯の録画予約も可能です。
ここでは、次のような録画と予約について説明します。

- テレビ番組などの録画
- 録画終了時刻を設定するクイックタイマー
- 快速予約（DVD）
- 日時などを指定する予約録画
- Gコードシステムを使う予約録画
- 別売りのチューナーとのシンクロ録画

DVDへの録画・予約録画　☞42～55ページ
VHSへの録画・予約録画　☞56～66ページ

ディスクに録画・予約する前に必ずお読みください

ディスクの種類によって、録画の操作やディスクを入れたときの動作が異なります。DVD-RWディスクのVRモードとビデオモード、DVD-Rディスクについては下記をご覧ください。
地上デジタルやBSデジタル、デジタルCSチューナーとはS映像/映像・音声端子で接続します。その際、チューナーから525i（480i）の標準テレビ放送信号で出力された映像を本機で録画します。

ちょっと一言

- ディスクがいっぱいになって録画が自動的に停止したあと、電源を切るかディスクを一度取り出すとディスク残量が再計算されます。そのため、ディスクに再度録画できることがあります。

録画するディスクの種類について

録画に使うディスクには、DVD-RWとDVD-Rがあります。DVD-RWでは、VRモードまたはビデオモードで録画できます。
DVD-Rでは、ビデオモードのみで録画できます。
それぞれ99タイトルまで作成できます。
VRモードまたはビデオモードの記録方式などについては詳しくは、☞8ページをご覧ください。

DVD-RW/DVD-Rをビデオモードで録画するときのご注意

- DVD-RWをビデオモードで録画するときは、Ver 1.1以降のディスクを使用してください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズを行うまでは、残りの時間で追加録画することができますが、上書きすることはできません。
- DVD-RWをビデオモードで録画するときは、ディスクをあらかじめビデオモードで初期化するように設定してください（☞93ページ）。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、あらかじめ音声の種類を設定してください（☞98ページ）。主音声または副音声のどちらかでしか記録できません。
- 録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最長30秒（LPモードのときは最長60秒）録画が続くことがあります。
- 地上デジタルやBSデジタル放送などのワイド（16：9）映像をビデオモードのLP、EPで録画して、4：3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。

次のページにつづく

ディスクに録画・予約する前に必ずお読みください（つづき）

録画モードについて

本機での録画には、以下の録画モードがあります。録画できる時間や画質は以下のとおりです。
録画可能時間は、4.7GBのディスク（片面1層）を使用したときの録画時間の目安です。

録画モード（録画可能時間）	詳細
FINE（約60分）	高画質な映像で録画できます
SP（約120分）	標準的な映像が楽しめます
LP（約240分）	多少画質は劣りますが、より長い時間録画できます
EP（約360分）	長時間の録画ができます
MN（マニュアルモード）	あらかじめ設定した録画モードで録画します。録画時間や画質を32段階設定できます。

録画モードを設定する（マニュアル録画モード）

MN（マニュアルモード）では、録画レートレベルで録画時間や画質を、32段階に分けて設定できます。

1 システムメニューボタンを押す。
システムメニュー画面が出ます。

2 ↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。

3 ←/→で「DVD設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「マニュアル録画モード」を選び、決定ボタンを押す。

5 ←/→で録画レートを選び、決定ボタンを押す。
録画レートと録画できる時間については、右上の表をご覧ください。

DVD-RW/DVD-Rの録画モードと録画時間

数値が大きい程、高画質で録画されます。
数値が小さい程、長時間録画ができます。
レベル6～7、18～19の間で画質が大きく変わります。

録画レート	録画時間
レベル1（EP）	360分
レベル2	345分
レベル3	330分
レベル4	315分
レベル5	300分
レベル6	285分
レベル7	270分
レベル8	255分
レベル9（LP）	240分
レベル10	230分
レベル11	220分
レベル12	210分
レベル13	200分
レベル14	190分
レベル15	180分
レベル16	170分

録画レート	録画時間
レベル17	160分
レベル18	150分
レベル19	140分
レベル20	130分
レベル21（SP）	120分
レベル22	110分
レベル23	105分
レベル24	100分
レベル25	95分
レベル26	90分
レベル27	85分
レベル28	80分
レベル29	75分
レベル30	70分
レベル31	65分
レベル32（FINE）	61分

ご注意

- 1枚のディスクにVRモードとビデオモードを混在して使用することはできません。DVD-RWでは、初期化することによって記録フォーマットを変えることができますが、初期化するとそれまでに録画された内容はすべて消去されます。
- 一部の録画モードを除き、VBR（可変ビットレート）を使用するため、以下のようなときには画像によって録画時間が異なることがあります。ディスク1枚の録画時間は目安としてご覧ください。
正確な録画時間は、録画終了後にディスク情報をご覧ください（☛23ページ）。
  – 受信状態の悪いテレビ放送など、録画する画質が悪い場合
  – 編集したディスクで録画する場合
  – 静止画などの画像や、音声のみなどを録画し続けた場合
- ビデオモードでは二重音声を記録できないため、「セットアップ」－「DVD設定」－「二重音声記録」（☛98ページ）で録画する音声を設定します。この音声設定は、ディスクが本体に入っていると記録時のみでなくテレビ映像の受信時の音声にも影響します。

ディスクの空き時間について

VR**モード**
- ディスクに空き容量がある限り、追加録画ができます。（ファイナライズを行った後も追加録画ができます。）
- 不要なオリジナルの映像を消去すると、ディスクの空き時間を増やすことができます。（ファイナライズを行った後も消去できます。）

ビデオモード
- ファイナライズを行うまでは、ディスクに空き容量がある限り本機での追加録画ができます。（ファイナライズを行うと追加録画/消去ができません。）
- 空き時間を録画前の状態に戻したり、上書き録画をしたりすることはできません。
- 編集機能の「タイトル消去」は、不要なタイトルを表示させないようにするためのものです。空き容量は増えません。（DVD-RWでは、ファイナライズ前であれば最後のタイトルを消去した場合に限り、空き容量が増えます。）

録画できない映像について

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することができません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど）。
録画中の映像の途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画が一時停止されます。「録画禁止」信号がなくなると再び録画を開始します（「録画禁止」信号が入っている部分の映像は録画されません）。
この様な場合は画面上に「録画禁止の映像です」または「放送は録画禁止になりました」と出ます。

ちょっと一言
- コピー制御信号には「録画自由」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類が含まれています。本機では著作権保護を目的として、これらのコピー制御信号に対して右記の「本機での録画の可否」のように動作します。
- 本機で「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる映像を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。

本機での録画の可否

	「録画自由」	**「1回だけ録画可能」**	**「録画禁止」**
DVD-RW Ver.1.0			
VRモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1			
VRモード	○	×	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応			
VRモード	○	○*	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-R Ver.2.0			
ビデオモード	○	×	×

*「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を含むタイトルを録画したことのあるディスクは、CPRM対応のDVDレコーダーでのみ再生が可能です。

他のDVDプレーヤーで再生したいときは

DVD-RW**のとき**
DVD-RWに対応していないDVDプレーヤーで再生するときは、ビデオモードで録画します（☞8ページ）。すべての録画が終わったあと、ファイナライズします(☞95ページ)。

DVD-R**のとき**
すべての録画が終わったあと、ファイナライズします(☞95ページ)。

録画・予約

DVDに録画する

DVD-RW　DVD-R

テレビで見ている番組を録画することができます。また、DVDとVHSで別々のチャンネルの番組を同時に録画することもできます（☞44ページ）。

録画を始める前に…

- リモコンと本体のチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞23ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞83ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞93ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞98ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

アンプを使うときはアンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

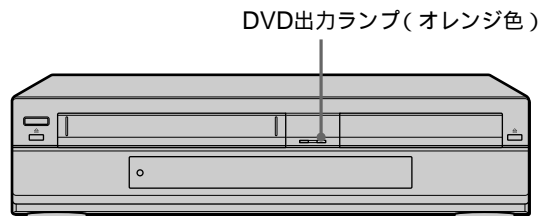
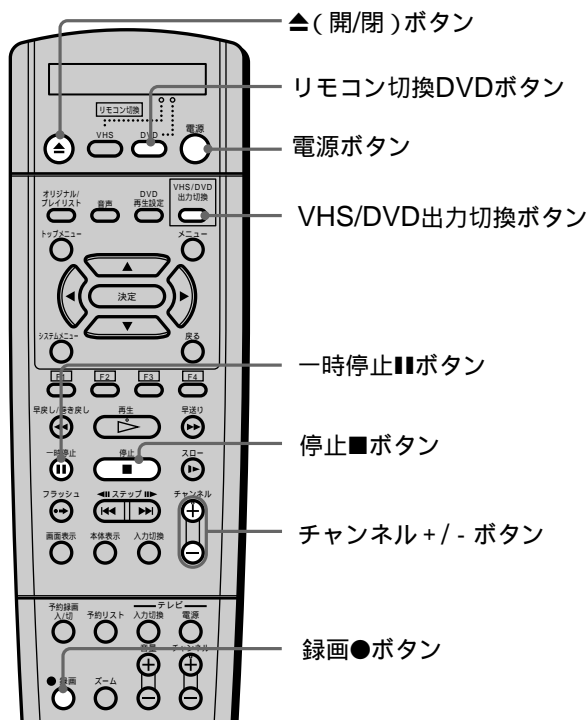
3 VHS/DVD**出力切換ボタンを押して、**DVD**の出力にする。**

本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。

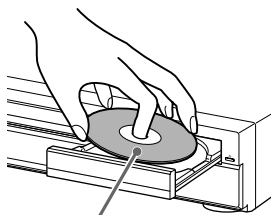
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。

DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

4 **リモコン切換**DVD**ボタンを押し、リモコンの操作モードを「**DVD**」にする。**

リモコン表示窓のDVDボタン線上にd̍マークが表示されます。

5 **≜（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

6 **ディスクを置く。**

録画したい面を下にして置きます。

7 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☛94ページ）。

8 **チャンネル＋/－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

9 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP/MN）を選ぶ。**

本体DVD表示窓に選んだ録画モードが出ます。

10 **録画●ボタンを押す。**

テレビ画面に「●」（録画マーク）が表示され、録画が始まります。

録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

DVDとVHSで同時に2つの番組を録画するには

「DVDとVHSに同時に録画する」（☛44ページ）をご覧ください。

DVDで録画中にVHSを見るには

VHSテープを入れ、テレビの入力と本機の出力、リモコンの操作モードをVHS側に切り換えてください。

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

録画の開始後5秒以上経ってから、停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

録画中にチャプターマークを入れるには

DVD-RWのVRモードのみ録画中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面でチャプターマークボタンを押します。

ボタンを押すたびに、チャプターマークが付けられます。

マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**8**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「ビデオ機器をつないで見る・ダビングする」（☛90ページ）をご覧ください。
- 録画が終わってすぐに再生▷ボタンを押すと、今録画したタイトルが再生されます。

ご注意

- チャプターマークを追加できないときはメッセージが表示されます。この場合、DVDの録画や編集ができなくなることがあります。
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストを再生したとき、1タイトルが12時間以上ある場合は、そのタイトルは12時間までしか再生できません。

DVDとVHSに同時に録画する

DVD-RW DVD-R VHS

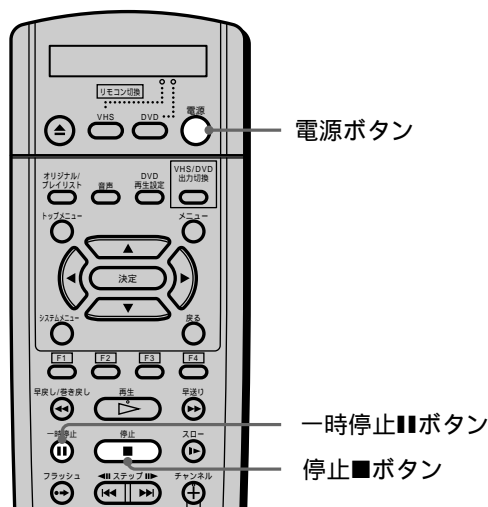
本機では、放送時間の重なる地上波放送の2番組を、DVDとVHSにそれぞれ同時に録画・録画予約できます。また、地上波とBS（DVDのみ）、地上波と別売りの番組予約機能の付いたチューナー*の同時録画も可能です。

* 地上デジタルチューナーやBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、CATVチューナーなどを指します。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**
アンプを使うときはアンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **「DVDに録画する」（☞42ページ）の手順3～10を行う。**

4 **「VHSに録画する」（☞56ページ）の手順1～6を行う。**

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

DVDの録画を止めるには

リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。
録画の開始後5秒以上経ってから、停止■ボタンを押します。

VHSの録画を止めるには

リモコン切換VHSボタンを押し、リモコンの操作モードを「VHS」にしてから停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

リモコン切換ボタンで、操作モードをDVDまたはVHSの一時停止したいほうに切り換え、一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

決めた時刻まで録画する（クイックタイマー）

DVD-RW　DVD-R　VHS

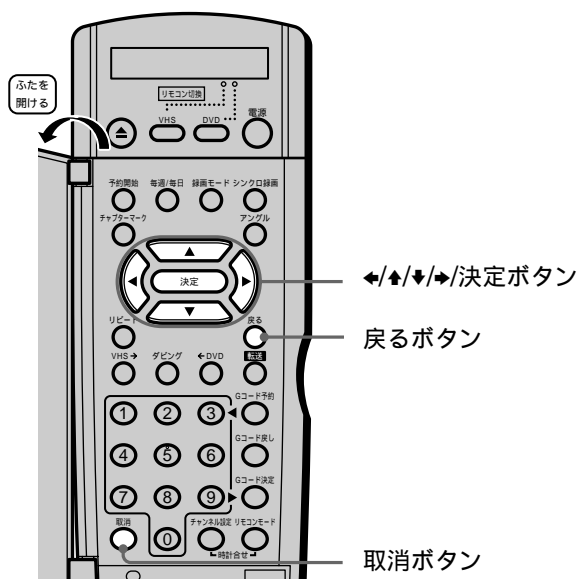
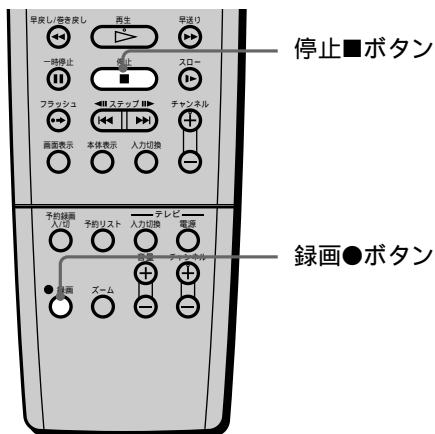
DVDまたはVHSの録画中に、15分単位で録画を止める時刻を決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

DVDのとき

録画中に録画●ボタンを押し、↑/↓で録画を止める時刻を選び、決定ボタンを押す。

DVDの連続録画時間は6時間までです。

ご注意

DVDのときは、リモコンで操作してください。本体では操作できません。

VHSのとき

録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止める時刻を選ぶ。

15分ずつ12時間先まで時間が増えます。

例）10:00PM → 10:15PM → 10:30PM → ……

終了時刻が設定されると、本体DVD表示窓またはVHS表示窓に□が出ます。

指定した時刻になると、自動的に録画が止まり電源が切れます。

クイックタイマーを解除するには

録画している出力、リモコンの操作モード（DVDまたはVHS）を切り換えます。

録画●ボタンを押してから、取消ボタンを押します。本体DVD表示窓またはVHS表示窓から□が消えます。

録画を止める時刻を変えるには

録画している出力、リモコンの操作モード（DVDまたはVHS）を切り換えます。

もう一度録画●ボタンを押して、設定し直します。

途中で録画を止めるには

録画の開始後5秒以上経ってから、停止■ボタンを押します（DVDのときは2回押します）。

クイックタイマーで録画中に録画終了時刻を確認するには（DVDのみ）

録画●ボタンを押します。録画終了時刻を消すには戻るボタンを押します。

DVDに快速予約する

DVD-RW DVD-R

画面に表示されるチャンネルと時刻の表を見ながら、録画開始時刻と終了時刻を設定するだけで、簡単に予約できます。

- 今すぐの時間から、15分単位（15分、30分、45分、00分）で録画開始時刻と終了時刻を設定できます。
- 番組の予約は最大で8番組まで、1週間先の番組まで予約できます。
- 個別チャンネル設定した放送局は、チャンネル番号表示（例：NHK総合の欄が「1ch」など）となる場合があります。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞23ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞83ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞93ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞98ページ）。

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**

本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。

ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。

DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

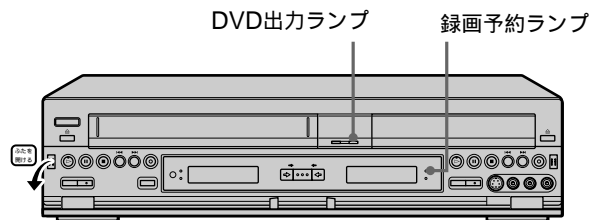
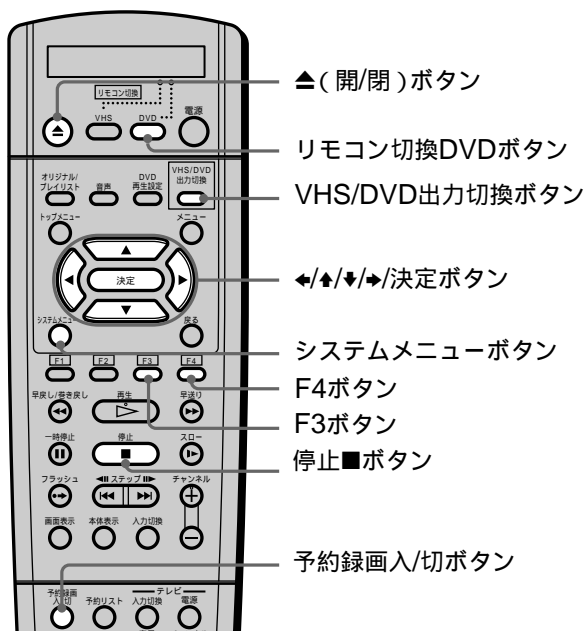
2 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**

リモコン表示窓のDVDボタン線上にdマークが表示されます。

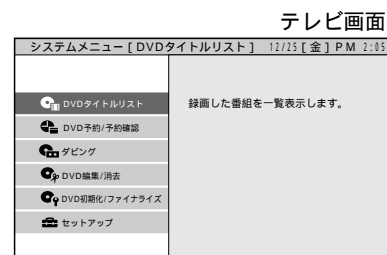
3 **≜（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **≜（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

5 **システムメニューボタンを押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

6 ↑/↓で「DVD予約/予約確認」を選び、決定ボタンを押す。

7 ↑/↓で「快速予約」を選び、決定ボタンを押す。

時刻表が表示されます。
F4ボタンを押すと、すでに登録されている予約の確認、変更ができます（☞64ページ）。

当日以外の予約をするときは
（1週間以内の番組が予約できます）

1. **F3ボタンを押す。**
2. **←/→で日付を選ぶ。**
   日付を選んで決定ボタンを押すと、日付だけが設定され、一つ前の画面に戻ります
3. **F4を押し、←/→で時刻を選び、決定を押す。**

手順**8**に進みます。

8 ↑/↓でチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

本機の入力端子につないだ機器を予約するには
「外部入力1」または「外部入力2」を選びます。

■快速予約 9/15 [水] PM 6:05

今日	16 [木]	17 [金]	18 [土]	19 [日]	20 [月]	21 [火]	22 [水]

放送局		◀ PM9	10	11 ▶
NHH総合	1			
NHH教育	3			
○○テレビ	4			
TV○○○	5	00		
△△テレビ	6			
□□テレビ	7			
テレビAA	8			
BBBテレビ	9			
BSテレビ				
TV○○				

9 ←/→で開始時刻を選び、決定ボタンを押す。

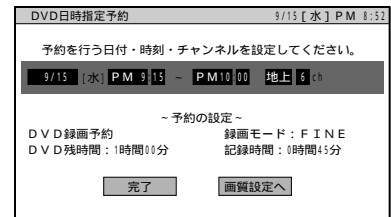
開始時刻は、15分単位で選べます。ただし、3分前を過ぎた時刻は選べません。
例）9時13分に設定したとき、開始時刻は9：30からとなります。

■快速予約 9/15 [水] PM 6:05

今日	16 [木]	17 [金]	18 [土]	19 [日]	20 [月]	21 [火]	22 [水]

放送局		◀ PM9	10	11 ▶
NHH総合	1			
NHH教育	3			
○○テレビ	4			
TV○○○	5	15		
△△テレビ	6			
□□テレビ	7			
テレビAA	8			
BBBテレビ	9			
BSテレビ				
TV○○				

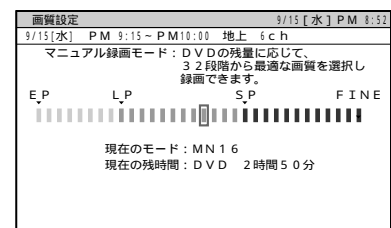
10 ←/→で終了時刻を選び、決定ボタンを押す。

終了時刻は、15分単位で（最長6時間先まで）選べます。

予約内容を変更するには
←/→で変更したい項目を選び↑/↓で変更します（☞64ページ）。
録画開始時刻の3分前を切って予約設定が完了したときは、予約開始時刻の欄が選択された状態になります。予約開始時刻を、現在時刻より3分以上時間をあけて設定し直してください。

11 ←/→で「画質設定へ」を選び、決定ボタンを押す。↑/↓で録画モードを選び、決定ボタンを押す。

空き時間が不足しているときはメッセージが表示されます。録画モードを選び直してください。

「マニュアルモード（MN）」を選んだときは
←/→で画質を設定し、決定ボタンを押します（32段階で設定できます☞40ページ）。

次のページにつづく

DVDに快速予約する（つづき）

12 **予約内容を確認し←/→で「完了」を選び、決定ボタンを押す。**
予約リスト画面が表示されます。

13 **予約リスト画面で決定ボタンを押した後、システムメニューボタンを押して快速予約を終了する。**

14 **予約録画入/切ボタンを押す。**
本体の録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

DVDとVHSで同時に2つの番組を録画予約するには

DVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞57ページ）。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンの操作モードを「DVD」にして、停止■ボタンを2回押します。
予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体の録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のDVD出力ランプを点灯させます。次に予約録画入/切ボタンを押して本体DVDの録画予約ランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、本体のDVD出力ランプが点灯している状態で予約録画入/切ボタンを押してDVDの録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。
VHSを操作するときは、リモコンの操作モードを「VHS」にしてください。使い終わったら電源を切ってください。（DVDの予約録画実行中に使用するときは、VHSの出力に切り換えてください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞64ページをご覧ください。

ちょっと一言
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（ジャスト録画）（☞97ページ）。

ご注意
- DVDの予約録画の入/切をするのには、VHS/DVD出力切換ボタンを押して本体のDVD出力ランプを点灯させておく必要があります。
- 予約録画時間は、2分以上の設定にしてください。
- 予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるのを待ってから、予約録画入/切ボタンを押して予約録画ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 約10分以上の停電の場合でも、予約は保持されます。時計は設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。

DVDに日時指定して予約する

DVD-RW DVD-R

1年先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。Gコード予約（☞51ページ）と合わせ、8番組まで予約できます。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞23ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞83ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞93ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞98ページ）。

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**

本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。

ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。

DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

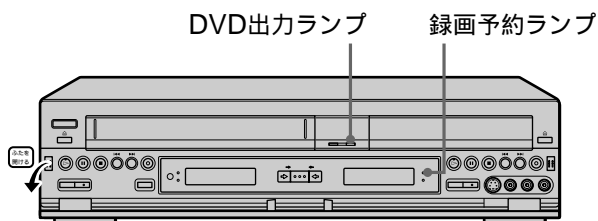
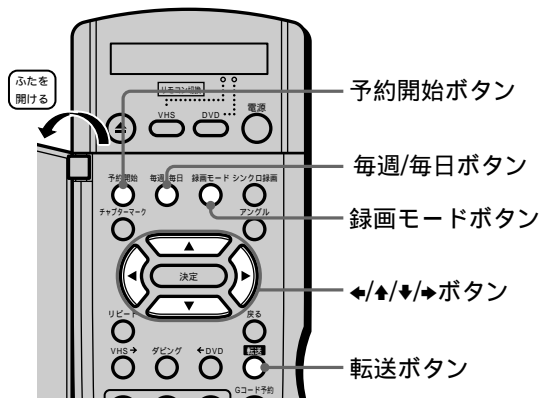
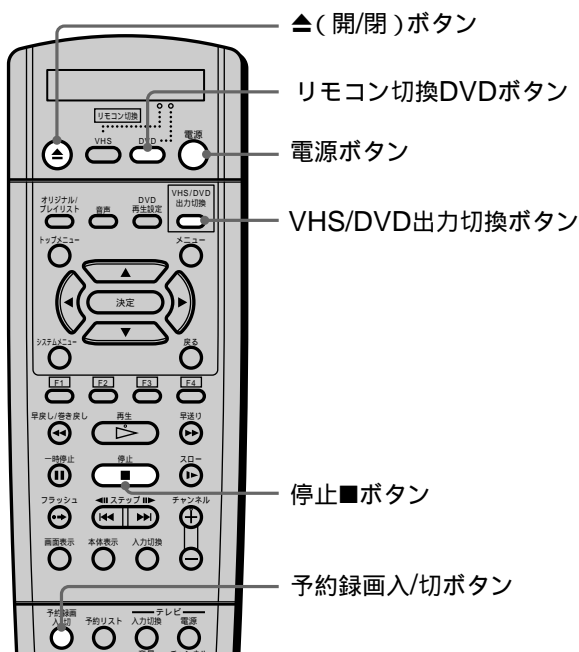
2 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**

リモコン表示窓のDVDボタン線上にd マークが表示されます。

3 **≜（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **≜（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☞94ページ）。

次のページにつづく

DVDに日時指定して予約する（つづき）

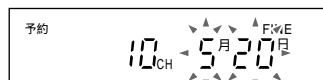
5 **予約開始ボタンを押す。**

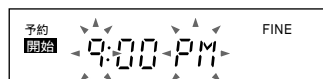
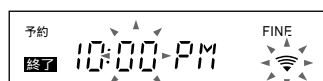
リモコン表示窓

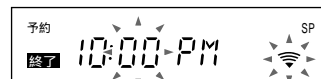
6 **←/↑/↓/→でチャンネルと日時を選ぶ。**

1 **↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。**
↑を押すたびに以下のように切り換わります。

例）VHF/UHFチャンネル→ CATVチャンネル →BSチャンネル→ L1 → L2

本機の入力端子につないだ機器を予約するには
「L1」または「L2」を選びます。

2 **↑/↓で日付を選び、→を押す。**
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、毎週/毎日ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

例）1/18（今日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月～日（毎日）→ 月～土 → 月～金 → 1/18（今日）

3 **↑/↓で開始時刻の「時」を選び、→を押す。**
4 **↑/↓で開始時刻の「分」を選び、→を押す。**
5 **↑/↓で終了時刻の「時」を選び、→を押す。**
6 **↑/↓で終了時刻の「分」を選び、→を押す。**

- **間違えたときは**
  ←を押して前の項目に戻ります。
- **途中で止めるときは**
  予約開始ボタンを押します。

7 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP）を選ぶ。**

8 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**
本体DVD表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。
- **予約操作を終了するときは**
  予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**6**から繰り返します。

9 **予約録画入/切ボタンを押す。**
本体の録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

DVDとVHSで同時に2つの番組を録画予約するには

DVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞57ページ）。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンの操作モードを「DVD」にして、停止■ボタンを2回押します。
予約録画中に録画を止めると、本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体DVDの録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のDVD出力ランプを点灯させます。次に予約録画入/切ボタンを押して本体DVDの録画予約ランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、本体のDVD出力ランプが点灯している状態で予約録画入/切ボタンを押してDVDの録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。
VHSを操作するときは、リモコンの操作モードを「VHS」にしてください。使い終わったら電源を切ってください。（DVDの予約録画実行中に使用するときは、VHSの出力に切り換えてください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞64ページをご覧ください。

ちょっと一言

- システムメニューの「DVD予約/予約確認」－「DVD日時指定予約」でも設定できます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（ジャスト録画）（☞97ページ）。

ご注意

- 予約録画時間は、2分以上の設定にしてください。
- 予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- 次のような場合、手順**8**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、DVDの録画予約ランプが点滅します。
  －本体の電源が切れている
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体のDVD表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるのを待ってから、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 約10分以上の停電の場合でも、予約は保持されます。時計は設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。
- 現在時刻から3分以内では、録画予約できません。

DVDにGコード®で予約する

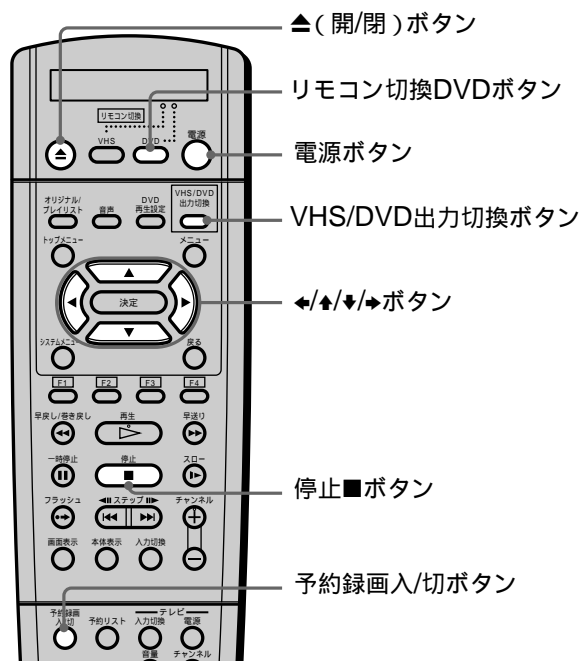
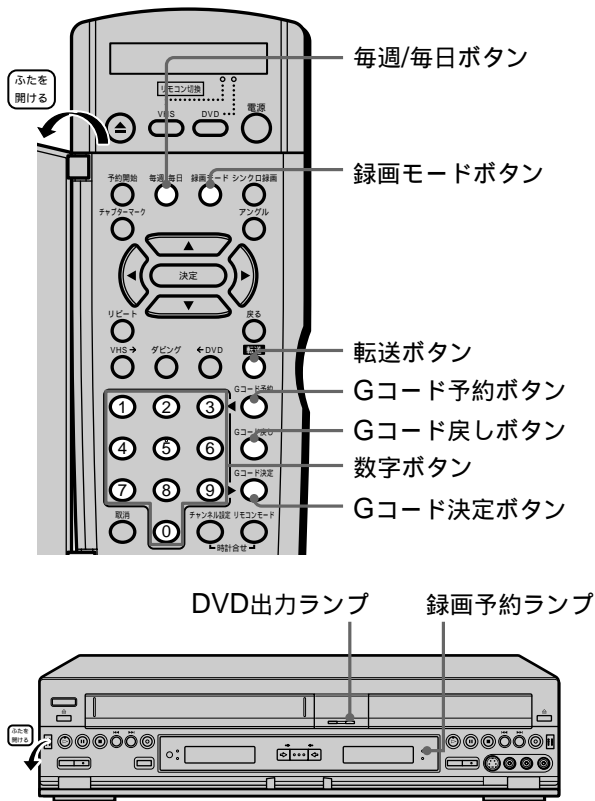
DVD-RW　DVD-R

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードシステムを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。
日時などを指定する予約と合わせて、8番組まで予約できます。

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☞23ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞83ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☞93ページ）。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞98ページ）。

録画・予約

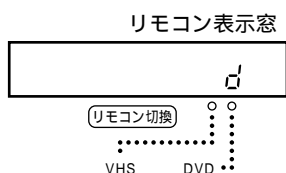
次のページにつづく

DVDにGコード®で予約する（つづき）

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**

本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。

ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。

DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

2 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコン操作モードを「DVD」にする。**

リモコン表示窓のDVDボタン線上にd̄マークが表示されます。

3 **⏏（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

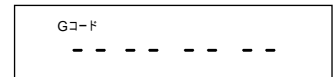
録画したい面を下にして置きます。

4 **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☛94ページ）。

5 **Gコード予約ボタンを押す。**

リモコン表示窓にGコード入力画面が出ます。

6 **数字ボタンを押して、Gコード番号を入れる。**

- **間違えたときは**
  Gコード戻しボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。時刻表示に戻ります。

7 **Gコード決定ボタンを押す。**

予約内容が出ます。

←/→で項目を確認し、↑/↓で修正することができます。

- **チャンネルに「– –」が表示されたときは**
  リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコード予約をするためのチャンネル設定をしてください（☛別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。
- **毎週・毎日予約したいときは**
  毎週/毎日ボタンを繰り返し押して選びます。
  例）1/18（録画日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月～日（毎日）→ 月～土 → 月～金 → 1/18（録画日）
- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  チャンネルに↑/↓で本機につないだ機器の入力（「L1」または「L2」）を選びます。

8 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP）を選ぶ。**

9 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**

本体DVD表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。

- **予約操作を終了するときは**
  リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**5**から繰り返します。

10 **予約録画入/切ボタンを押す。**

本体の録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

DVDとVHSで同時に2つの番組を録画予約するには

DVDの録画予約にかかわらず、VHSで同じ時間帯の録画予約ができます。VHS側で録画予約の操作をしてください（☞57ページ）。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンの操作モードを「DVD」にして、停止■ボタンを2回押します。予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して本体DVDの録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のDVD出力ランプを点灯させます。次に予約録画入/切ボタンを押して本体DVDの録画予約ランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、本体のDVD出力ランプが点灯している状態で予約録画入/切ボタンを押してDVDの録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。
VHSを操作するときは、リモコンの操作モードを「VHS」にしてください。使い終わったら電源を切ってください。（DVDの予約録画実行中に使用するときは、VHSの出力に切り換えてください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

9桁のGコード番号を入力したときは

リモコン表示窓は8桁表示のため、9桁のGコード番号を入力したとき、9桁目の数字は出ますが、1桁目の0の数字が表示窓より消えます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞64ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ディスクの空き時間不足で予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換え、できるだけ多く録画するように設定できます（ジャスト録画）（☞97ページ）。

ご注意

- 予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- Gコード入力画面の表示中、ボタン操作が1分以上ない場合、自動的にGコード入力画面は消え、時刻表示に戻ります。
- 次のような場合、手順**9**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、DVD録画予約ランプが点滅します。
  －本体の電源が切れている
  －空き容量がないディスクを入れている
  －保護されているディスクを入れている
  －ディスクが入っていない
  －本体のDVD表示窓に「LOAD」が出ている
- 予約待機状態にするときは、必ず ⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 約10分以上の停電の場合でも、予約は保持されます。時計は設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 予約録画が実行されなかったときは、本機に予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☞64ページ）。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。

DVDに別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）

DVD-RW DVD-R

別売りの番組予約機能の付いたチューナー*をつなぐと、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください（☛別冊「接続と準備」の「別売りのデコーダーやチューナーをつなぐ」）。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。

* 地上デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなど

予約を始める前に…

- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☛別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」と「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- ディスク情報（☛23ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☛83ページ）。
- VRモードとビデオモードは同じディスクに混在できないため、記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化してください（☛93ページ）。

1 VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。

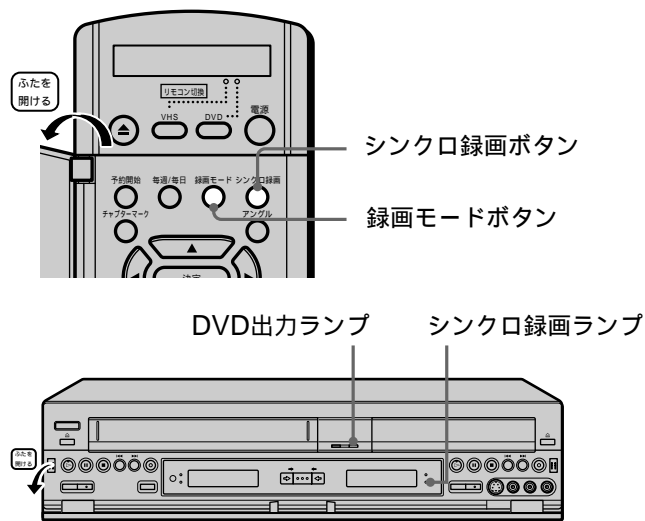
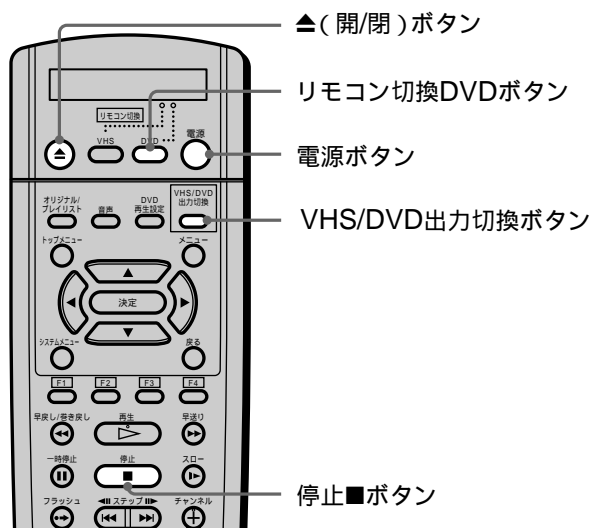
本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。
DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

2 リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。

リモコン表示窓のDVDボタン線上にd マークが表示されます。

3 ⏏（開/閉）ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。

録画したい面を下にして置きます。

4 ⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☛94ページ）。

5 **外部入力の音声を選ぶ。**

- **ステレオ放送を録画するときは**
  システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「外部音声入力」－「ステレオ」を選びます（97ページ）。
- **二カ国語放送を録画するときは**
  DVD-RW（VRモード）では、システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「外部音声入力」－「二重音声」を選びます（97ページ）。

  DVD-RW（ビデオモード）/DVD-Rでは、システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」－「二重音声記録」で「主音声」または「副音声」を選びます（98ページ）。

6 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP/MN）を選ぶ。**
本体DVD表示窓に選んだ録画モードが出ます。

7 **つないだチューナーで番組予約をする。**

8 **チューナーの電源を切る。**

9 **シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。**
本体DVD側のシンクロ録画ランプが点灯し、本機はシンクロ録画予約待機になります。
チューナーの電源が入ると、録画が自動的にはじまり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

シンクロ録画中に録画を止めるには

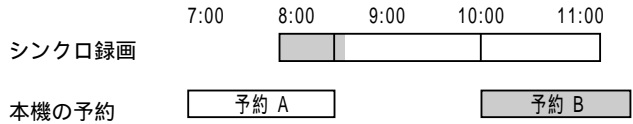
停止■ボタンを押し録画を停止します。シンクロ録画中にシンクロ録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

シンクロ録画予約待機を解除するには

録画がはじまる前に、VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のDVD出力ランプを点灯させます。次にシンクロ録画ボタンを2秒以上押して、本体のシンクロ録画ランプを消します。
再び設定するときは、本体のDVD出力ランプを点灯させてからシンクロ録画ボタンを2秒以上押して、本体のシンクロ録画ランプを点灯させます。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

本機の予約が先に始まったときは、本機の予約が終わってからシンクロ録画が始まります。
シンクロ録画が先に始まったときは、本機の予約は解除されます。
（灰色で示した）部分は録画しません。

ご注意

- シンクロ録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- シンクロ録画中は、通常の録画など、他の操作はできません。
- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入り、ディスク情報確認後に録画が開始されるため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 予約待機状態にするときは、必ず⏏（開/閉）ボタンを使ってディスクトレイを閉めます。本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ってから、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態にします。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている番組を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。
  詳しくは、「録画できない映像について」（41ページ）をご覧ください。
- AVマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、AVマウスを使わないでください。
- シンクロ録画中は、ジャスト録画は働きません。
- 本機のシンクロ録画ランプが点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まります。
  シンクロ録画予約待機中にチューナーを使う場合は、シンクロ録画の設定を解除してください。
- 予約録画が実行されたあとでシンクロ録画が始まる場合、予約録画で設定された録画モードで録画されます。

VHSに録画する

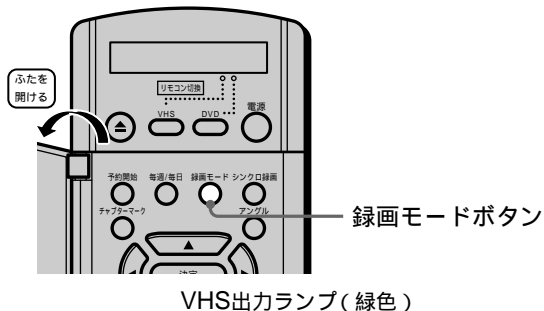
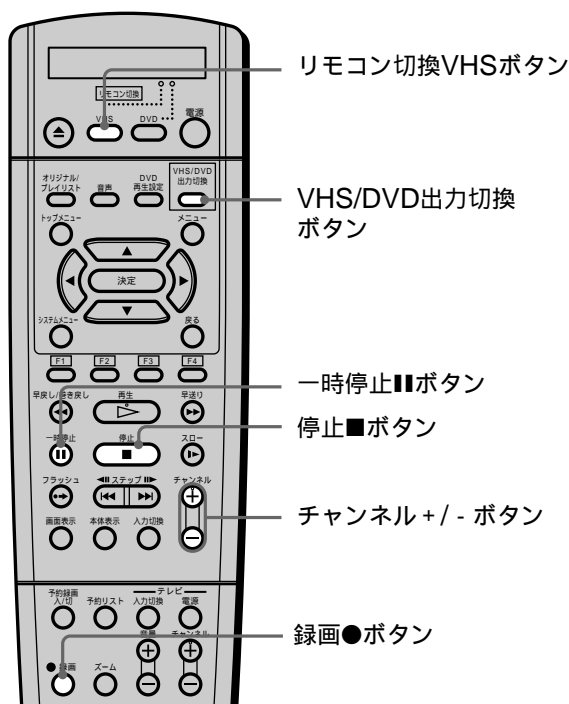
VHS

テレビで見ている番組をVHSに録画することができます。
DVDとVHSで別々のチャンネルの番組を同時に録画することができます（☞44ページ）。

録画を始める前に…

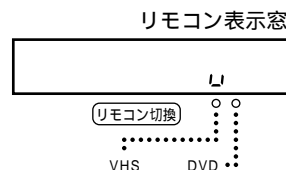
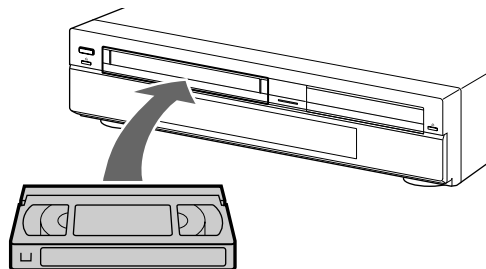
- リモコンと本体のチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備9：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞37ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

ご注意

- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、VHSの出力にする。**

本体のVHS出力ランプが点灯（緑色）します。
ボタンを押すたびに、VHSとDVDの出力が切り換わります。

2 **リモコン切換VHSボタンを押し、操作モードを「VHS」にする。**

リモコン表示窓のVHSボタン線上に▁マークが表示されます。

3 **VHSテープを入れる。**

4 **チャンネル＋/－ボタンを押してチャンネルを選ぶ。**

5 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。**

本体VHS表示窓に選んだ録画モードが出ます。

6 **録画●ボタンを押す。**

テレビ画面に「●」（録画マーク）が表示され、録画が始まります。

録画を停止するまで、またはテープの残量が無くなるまで録画が続きます。
このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

DVDとVHSで同時に2つの番組を録画するには

「DVDとVHSに同時に録画する」（☞44ページ）をご覧ください。

VHSで録画中にDVDを見るには

再生するディスクを入れ、本機の出力とリモコンの操作モードをDVD側に切り換えてください。DVD専用出力端子でテレビをつないでいるときは、テレビの入力を切り換えます。

録画中に他の番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

録画中に終了時刻を設定するには

「決めた時刻まで録画する」（クィックタイマー）をご覧ください（☞45ページ）。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**4**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「ビデオ機器をつないで見る・ダビングする」（☞90ページ）をご覧ください。
- VHSテープが最後まで録画されると、自動的に巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとテープが出てきます。

VHSに日時指定して予約する

VHS

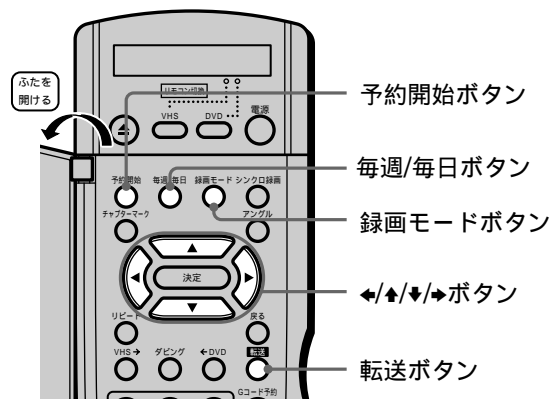
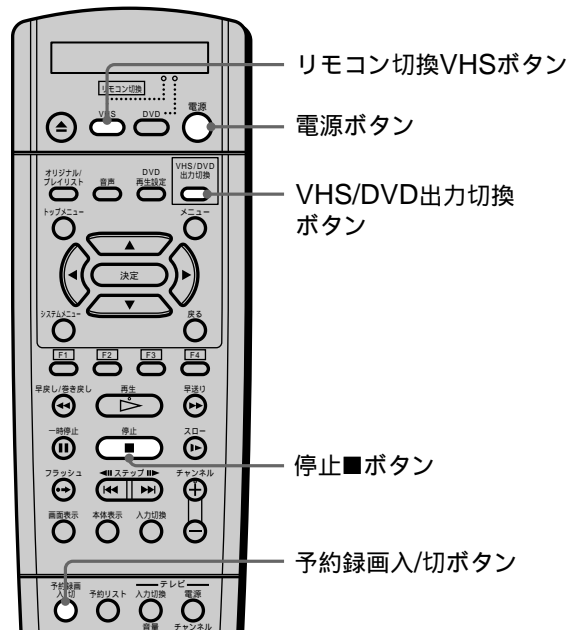
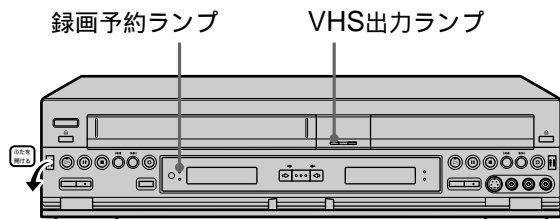
1年先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。Gコード予約（☞60ページ）と合わせ、8番組まで予約できます。
同じ時間帯にDVDでも録画予約することができます
DVD側で予約の操作をしてください。

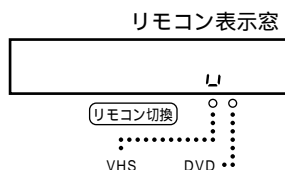
予約を始める前に…
- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞37ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

ご注意

- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

録画・予約

次のページにつづく

VHSに日時指定して予約する（つづき）

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、VHSの出力にする。**
本体のVHS出力ランプが点灯（緑色）します。
ボタンを押すたびに、VHSとDVDの出力が切り換わります。

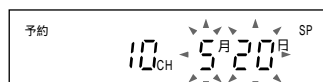
2 **リモコン切換VHSボタンを押し、リモコンの操作モードを「VHS」にする。**
リモコン表示窓のVHSボタン線上に▁マークが表示されます。

3 **VHSテープを入れる。**

4 **予約開始ボタンを押す。**

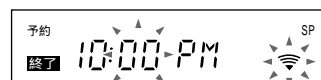
5 **←/↑/↓/→でチャンネルと日時を選ぶ。**

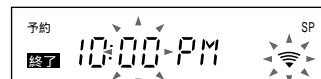
1 **↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。**
↑を押すたびに以下のように切り換わります。

例）VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ CATVチャンネル（C1、C3、…）→ L1 → L2

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
「L1」または「L2」を選びます。

2 **↑/↓で月日を選び、→を押す。**
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、毎週/毎日ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

例）1/18（今日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 → 月～日（毎日）→ 月～土 → 月～金 → 1/18（今日）

3 **↑/↓で開始時刻の「時」を選び、→を押す。**
4 **↑/↓で開始時刻の「分」を選び、→を押す。**
5 **↑/↓で終了時刻の「時」を選び、→を押す。**
6 **↑/↓で終了時刻の「分」を選び、→を押す。**

- **間違えたときは**
←を押して前の項目に戻ります。
- **途中で止めるときは**
予約開始ボタンを押します。

6 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。**

7 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**
本体VHS表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。
- **予約操作を終了するときは**
予約開始ボタンを押すか、リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
手順**4**から繰り返します。

8 **予約録画入/切ボタンを押す。**
本体の録画予約ランプが点灯します。
この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンの操作モードを「VHS」にして、停止■ボタンを押します。
予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のVHS出力ランプを点灯させます。次に予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、本体のVHS出力ランプが点灯している状態で予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。
DVDを操作するときは、リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。使い終わったら電源を切ってください。（VHSの予約録画実行中に使用するときは、DVDの出力に切り換えてください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

予約録画を確認・変更・取り消すには

☛64ページをご覧ください。

VHSの予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☛65ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- 「SP」モード予約時、テープ残量不足で予約した番組を録画しきれない時、本機が自動的に録画モードを切り換えるように設定できます（ジャスト録画）（☛99ページ）。

ご注意

- 予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- テープが入っていない状態で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、録画予約ランプが点滅します。
- 約10分以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 予約録画が実行されなかったときは、本機に予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☛64ページ）。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。

VHSにGコード®で予約する

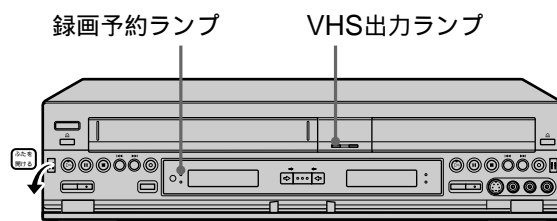
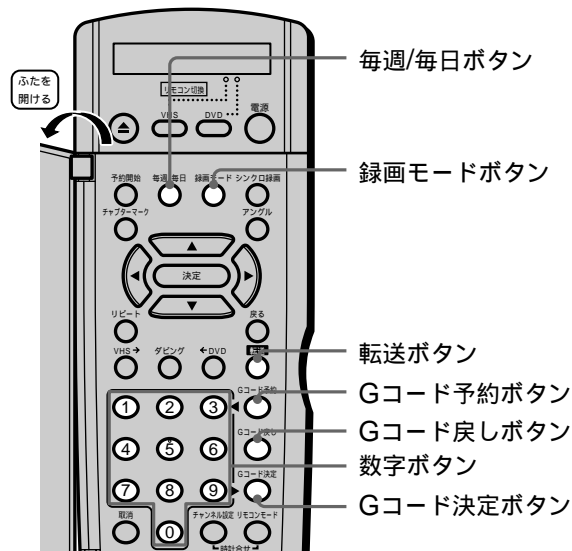
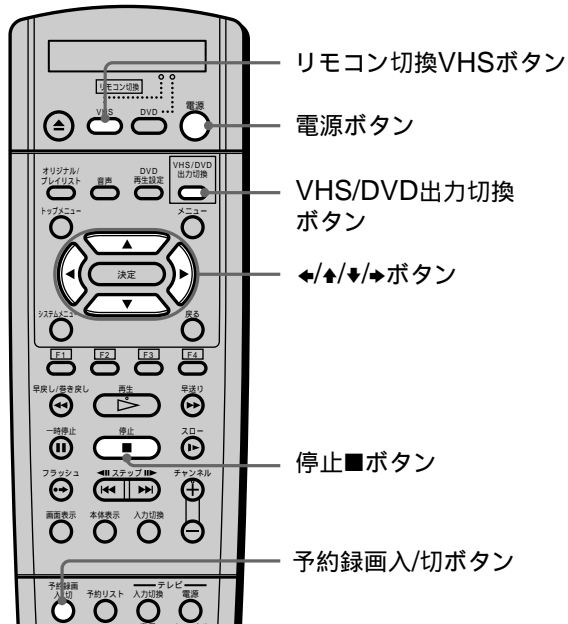
VHS

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードシステムを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。
日時などを指定する予約と合わせて、8番組まで予約できます。
同じ時間帯にDVDでも録画予約することができます
DVD側で予約の操作をしてください。

予約を始める前に…

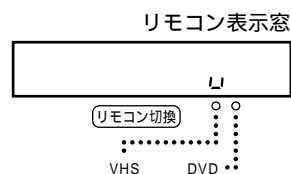
- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」、「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞37ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

ご注意

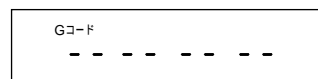
- VHS側では、本機内蔵チューナーでBSチャンネルの録画はできません。

1 VHS/DVD出力切換ボタンを押して、VHSの出力にする。

本体のVHS出力ランプが点灯（緑色）します。
ボタンを押すたびに、VHSとDVDの出力が切り換わります。

2 リモコン切換VHSボタンを押し、リモコン操作モードを「VHS」にする。

リモコン表示窓のVHSボタン線上に⌴マークが表示されます。

3 VHSテープを入れる。

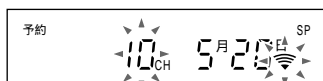
4 Gコード予約ボタンを押す。

リモコン表示窓にGコード入力画面が出ます。

Gコード
-- -- -- --

5 **数字ボタンを押して、Gコード番号を入れる。**

- **間違えたときは**
  Gコード戻しボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。
- **途中で止めるときは**
  Gコード予約ボタンを押します。時刻表示に戻ります。

6 **Gコード決定ボタンを押す。**

予約内容が出ます。

←/→で項目を確認し、↑/↓で修正することができます。

- **チャンネルに「– –」が表示されたときは**
  リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコード予約をするためのチャンネル設定をしてください（☛別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。
- **毎週・毎日予約したいときは**
  毎週/毎日ボタンを繰り返し押して選びます。
  例）1/18（録画日）→ 毎週月 →………→ 毎週日 →
  月〜日（毎日）→ 月〜土 → 月〜金 → 1/18（録画日）
- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  チャンネルに↑/↓で本機につないだ機器の入力（「L1」または「L2」）を選びます。

7 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。**

8 **リモコンを本体に向け、転送ボタンを押す。**

本体VHS表示窓に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順に出ます。

- **予約操作を終了するときは**
  リモコンのふたを閉じます。
- **続けて予約設定するときは**
  手順**4**から繰り返します。

9 **予約録画入/切ボタンを押す。**

本体の録画予約ランプが点灯します。

この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンの操作モードを「VHS」にして、停止■ボタンを押します。予約録画中に録画を止めると本機の予約待機は解除されます。他にも予約がある場合、予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機にしてください。

予約待機中に本機を使うには

VHS/DVD出力切換ボタンを押して、本体のVHS出力ランプを点灯させます。次に予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを消し、その後本機の操作をしてください。本機の操作が終わったら、本体のVHS出力ランプが点灯している状態で予約録画入/切ボタンを押して録画予約ランプを点灯させ、予約待機状態に戻します。
DVDを操作するときは、リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。使い終わったら電源を切ってください。（VHSの予約録画実行中に使用するときは、DVDの出力に切り換えてください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

9桁のGコード番号を入力したときは

リモコン表示窓は8桁表示のため、9桁のGコード番号を入力したとき、9桁目の数字は出ますが、1桁目の0の数字が表示窓より消えます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☛64ページをご覧ください。

VHSの予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☛65ページをご覧ください。

録画・予約

次のページにつづく

VHSにGコード®で予約する（つづき）

ちょっと一言
- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 「SP」モード予約時、テープ残量不足で予約した番組を録画しきれない時、本機が自動的に録画モードを切り換えるように設定できます（ジャスト録画）（☞99ページ）。

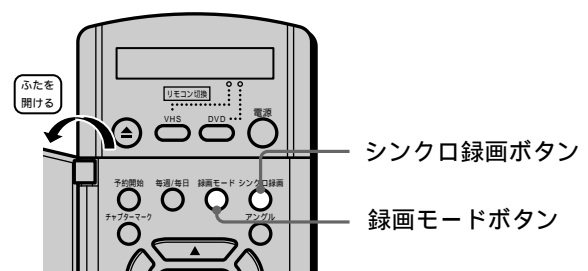
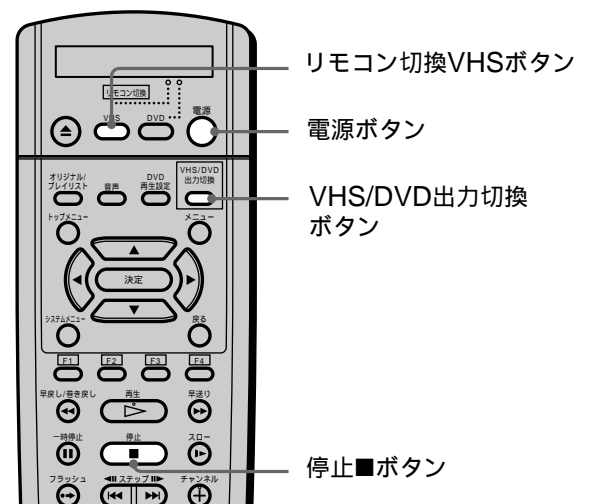
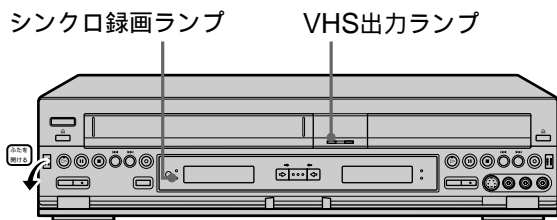
ご注意
- 予約録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- Gコード入力画面の表示中、ボタン操作が1分以上ない場合、自動的にGコード入力画面は消え、時刻表示に戻ります。
- テープが入っていない状態で、手順**8**で転送ボタンを押すとエラーが表示されたり、録画予約ランプが点滅します。
- 約10分以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定し直してください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 予約録画が実行されなかったときは、本機に予約情報が残ります。予約確認画面で取り消してください（☞64ページ）。
- 本機の入力端子につないだ機器からの番組を予約したときは、番組が終わるまでつないだ機器の電源を切らないでください。

VHSに別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）

VHS

別売りの番組予約機能の付いたチューナー*をつなぐと、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください（☞別冊「接続と準備」の「別売りのデコーダーやチューナーをつなぐ」）。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。

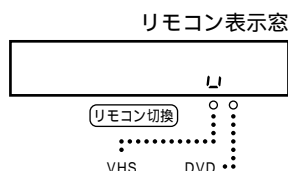
* 地上波デジタルやBSデジタル、デジタルCS、CATVチューナーなど

予約を始める前に…
- リモコンと本体の時計とチャンネルを合わせてください（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」と「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。
- テープの残量（☞37ページ）とツメが折れていないことを確認してください。

1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、VHSの出力にする。**

本体のVHS出力ランプが点灯（緑色）します。

ボタンを押すたびに、VHSとDVDの出力が切り換わります。

2 **リモコン切換VHSボタンを押し、操作モードを「VHS」にする。**

リモコン表示窓のVHSボタン線上に▁マークが表示されます。

3 **VHSテープを入れる。**

4 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、「SP（標準）」または「EP（3倍）」を選ぶ。**

本体VHS表示窓に選んだ録画モードが出ます。

5 **つないだチューナーで番組予約をする。**

6 **チューナーの電源を切る。**

7 **シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。**

VHS側のシンクロ録画ランプが点灯し、本機はシンクロ録画予約待機になります。

チューナーの電源が入ると、録画が自動的にはじまり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。

この後、本機を使用しないときは電源ボタンを押して本機の電源を切ってください。

シンクロ録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押し録画を停止します。シンクロ録画中にシンクロ録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

シンクロ録画予約待機を解除するには

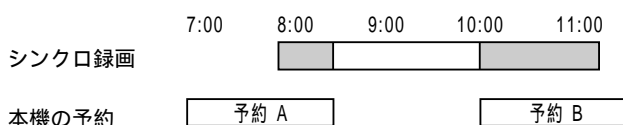
録画がはじまる前に、シンクロ録画ボタンを2秒以上押して、本体のシンクロ録画ランプを消します。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

本機の予約が先に始まったときは、本機の予約が終わってからシンクロ録画が始まります。

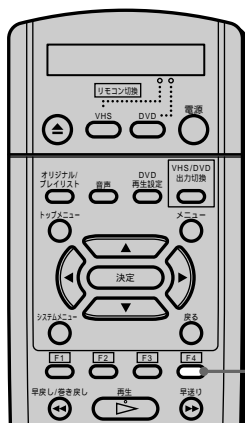
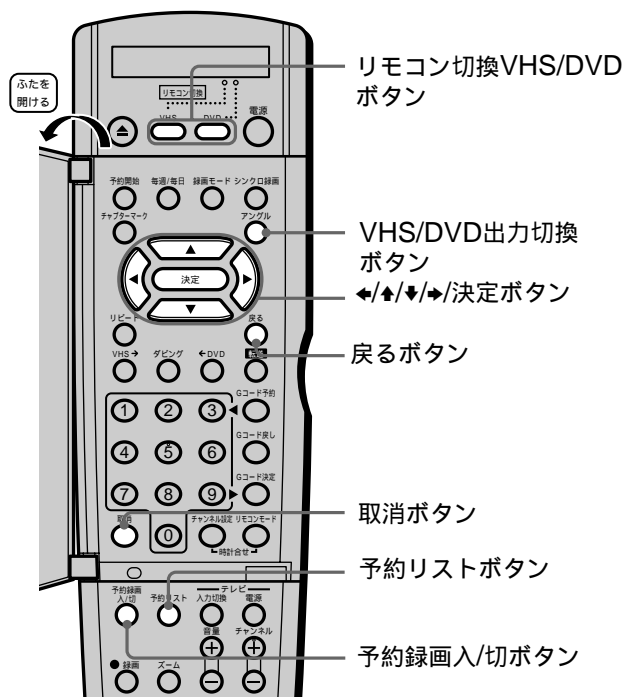
シンクロ録画が先に始まったときは、本機の予約が優先されます。

　で示した部分は録画しません。

ご注意

- シンクロ録画中は一時停止❚❚ボタンが働きません。
- シンクロ録画中は、通常の録画など、他の操作はできません。
- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入るため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。詳しくは、チューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- AVマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、AVマウスを使わないでください。
- シンクロ録画中は、ジャスト録画は働きません。
- 本機のシンクロ録画ランプが点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まります。
  シンクロ録画予約待機中にチューナーを使う場合は、シンクロ録画の設定を解除してください。
- 予約録画が実行されたあとでシンクロ録画が始まる場合、予約録画で設定された録画モードで録画されます。

予約を確認・変更する・取り消す

DVD-RW **DVD-R** **VHS**

テレビ画面を使って、設定した予約の確認、変更、取り消しができます。

1 **予約録画入/切ボタンを押し、予約録画ランプを消灯する（予約待機解除）。**

2 VHS/DVD**切換出力ボタンを押して、**DVD**または**VHS**の出力を選ぶ。**

3 **予約確認画面に合わせてリモコン切換**VHS**ボタンまたは**DVD**ボタンを押し、操作モードを切り換える。**

4 **予約リストボタンを押す。**

DVDまたはVHSの予約リスト画面が出ます。テレビ画面に出ている予約の内容を確認します。

例：DVD予約リスト

テレビ画面

■DVD予約リスト　9/15［水］ PM 6:05

予約内容の確認・変更・取消ができます。

録画先	放送日時		ch	録画ﾓｰﾄﾞ
DVD	9/15［水］	PM 9：30～PM10：00	6ch	FINE
DVD	毎週月	PM 9：00～PM 9：50	8ch	FINE
DVD	毎日	PM 7：00～PM 7：30	6ch	SP

5 **予約を変更する。**

1 **↑/↓で修正したい予約を選び、決定ボタンを押す。**

2 • DVD**のとき**

F4**ボタンを押して、←/→で変更したい項目を選び、↑/↓で変更し、「完了」を選び、決定ボタンを押す。**

• VHS**のとき**

←/→で修正したい項目を選び、↑/↓で変更して決定ボタンを押す。

予約を取り消すには

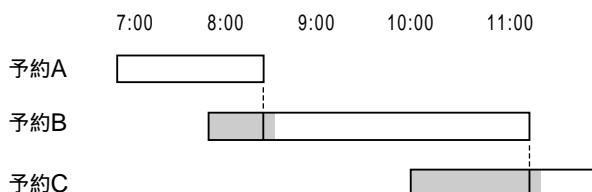
- DVDのとき
  手順**2**で「取り消す」を選び、「する」で決定ボタンを押します。
- VHSのとき
  手順**1**で取り消したい予約を選び、取消ボタンを押します。

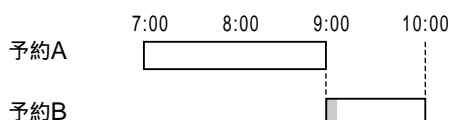
予約確認画面を消すには

戻るボタンを押します。

VHSで予約が重なったり連続したときは

VHS側だけの予約で、予約の時間が重なっていたとき

先に始まる予約が優先されます。
　　で示した部分は録画しません。

VHS側だけの予約で、終了時刻と次の開始時刻が同じとき

先に始まる予約の録画が終了した後、VRモードのときは約10秒後に、ビデオモードのときは最長30秒後（LPモードのときは最長60秒後）に次の録画が始まります。

シンクロ録画と本機の予約が重なったとき

DVDは☛55ページ、VHSは☛63ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 予約を取り消した後、他にも予約があるときは、予約録画入/切ボタンを押してください。本体の録画予約ランプが点灯し、本機が予約待機になります。
- 予約確認画面では、予約は開始時間が早い順に表示されます。
- VHSで予約する場合のみ、予約確認画面からも予約の設定ができます。
  手順**3**の**3**で予約のない段を選び、←/↑/↓/→で録画日から順に設定します。予約画面を消したあと、予約待機状態にします。
- DVDの予約は、システムメニューの「DVD予約/予約確認」－「DVD予約リスト」でも予約リスト画面を表示できます。

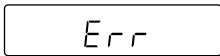
予約録画のこんなときは

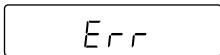
次のような場合は、予約録画ができません。エラー内容を確認して正しく予約してください。正しく予約され予約待機状態に入ると、録画予約ランプが点灯します。

DVDで予約録画ができない

ディスクが入っていない、または録画できないディスクが入っている	→ 空き容量が充分あり、録画できるディスクを入れてください。
ディスクの空き容量がない、またはディスクが判別されていない	→ 空き容量が充分あり、録画できるディスクを入れてください。
ディスクが保護されている	→ ディスク保護を解除するか、別の録画できるディスクに入れ換えてください。
ディスクを再生している、またはディスクに録画している	→ ディスク再生中や録画中は、予約録画できません。

VHSで予約録画ができない

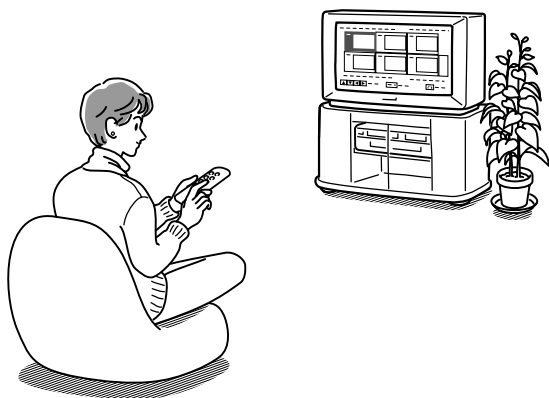
VHSテープが入っていないまたはツメの折れているVHSテープが入っている	→ 録画用VHSテープを入れてから、予約録画入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。
VHSが動作しているときに予約内容を送信したり、予約録画入/切ボタンを押した	→ 停止したあと録画用VHSテープを入れ、予約録画入/切ボタンを押し予約待機状態にしてください。
VHSテープの空き容量がない	→ 空き容量が充分あり、録画できるVHSテープを入れてください。

次のページにつづく

予約録画のこんなときは（つづき）

リモコンで設定した予約を本体へ送信できない

本体の電源が切れている	➔ 本体の電源が切れているときは、予約を送信できません。 本体の電源を入れてから再度送信してください。
時計が合っていない	➔ 本体表示 Err ➔ 時計合わせを行ってから、再度予約してください。
予約がいっぱいになっている	➔ 本体表示 FULL ➔ 予約を取り消してから、再度予約してください。
予約が重なっている (DVDのみ)	➔ 重なっている予約を取り消してから、再度予約してください。
選んだチャンネルが設定されていない	➔ 本体表示 Err ➔ 予約したチャンネルを確認してください。
予約録画開始時刻の3分前になっている （DVDのみ）	➔ 予約録画開始時刻の3分前は、予約録画の準備のため、予約を送信できません。
予約録画中である	➔ 予約録画中は予約できません。 終了してから予約してください。
Gコードが誤っている（リモコン表示部にエラー表示）	➔ 正しいGコード番号を入力してください。待機状態にしてください。

DVD編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。

- VRモードの場合、プレイリストとオリジナルでのさまざまな編集ができます。録画したオリジナルのタイトルからプレイリストを作成したり、録画したタイトルを消去してディスクの空き容量を増やしたりすることができます。
- ビデオモードの場合、タイトル名の変更やタイトルの消去ができます。

DVD編集の前に必ずお読みください

ここでは、編集するときに必要な情報について説明します。
VRモードとビデオモードでは、編集できる内容が異なります。

ご注意

- 他のDVDレコーダーで編集してチャプターマークが999以上あるディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクや、ディスク保護が設定されているディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでフレーム単位で編集したディスクを再生すると、開始や終了のシーンがずれたり、画像付タイトルメニューに異なった画面が表示されることがあります。
- 他のDVDレコーダーでディスク容量いっぱいに録画したディスクでは、本機で編集の操作ができない場合があります。
- 編集中にDVDのチャンネルをVHSにしていると、DVDの音声をモニターできません。編集中は、DVDのチャンネルはVHS以外にしてください。

次のページにつづく

DVD編集の前に必ずお読みください（つづき）

VRモードで編集する（オリジナルとプレイリスト）

DVD-RW（VR）

VRモードで録画した映像には、オリジナルでの編集とプレイリストでの編集の2つの方法があります。

- **オリジナルとは**

  実際に録画したそのままの映像です。オリジナルのタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。オリジナルの映像を消去すると、その映像をもとに作ったプレイリストも消去されます。

  オリジナルでは以下のような編集ができます。
  ータイトル名を変更する（☞72ページ）
  ータイトル内のシーンを消去する（A-B消去）（☞74ページ）
  ーチャプターを分割・結合する（☞75、76ページ）
  ー画像付DVDタイトルリストの画像を変更する（☞77ページ）
  ータイトルを保護する（☞82ページ）
  ー録画したタイトルを消去する（☞83ページ）

- **プレイリストとは**

  実際に録画したオリジナルの映像をもとに作る仮想のタイトルです。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報だけを記録します。そのため、プレイリストの映像を消去してもオリジナルの映像はなくなりません。また、少ないディスク容量で編集を行えるため、まずプレイリストで編集を楽しむことをおすすめします。99タイトルまで作成できます。

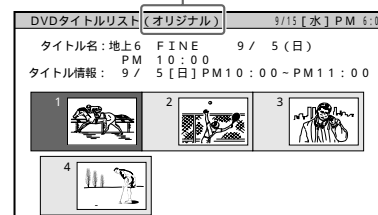
  プレイリストでは以下のような編集ができます。
  ーオリジナルのタイトルをコピーして作成する（☞69ページ）
  ーオリジナルのシーンをコピーして作成する（☞70ページ）
  ータイトル名を変更する（☞72ページ）
  ータイトル内のシーンを消去する（A-B消去）（☞74ページ）
  ーチャプターを分割・結合する（☞75、76ページ）
  ー画像付DVDタイトルリストの画像を変更する（☞77ページ）
  ータイトルの順番を変える（☞78ページ）
  ーオリジナルからシーンを追加する（☞81ページ）
  ー録画したタイトルを消去する（☞83ページ）

オリジナルとプレイリストを切り換えるには

オリジナル/プレイリストボタンを押します。
電源が入っている状態でVHS/DVD出力切換ボタンを押して本体のDVD出力ランプを点灯させ、オリジナル/プレイリストボタンを押すと、テレビ画面に「オリジナル」か「プレイリスト」が出ます。

「オリジナル」または「プレイリスト」

画像付DVDタイトルリスト画面でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、「オリジナル」と「プレイリスト」表示が切り換わります。「オリジナル」には、オリジナルのタイトルが一覧で出ます。「プレイリスト」には、プレイリストのタイトルが一覧で出ます。

（オリジナル）または（プレイリスト）

ビデオモードで編集する

DVD-RW（VIDEO） **DVD-R**

ビデオモードでは、次の編集操作ができます。ただし、ファイナライズ（☞9ページ）を行ったディスクは編集できません。ビデオモードには、プレイリストはありません。
– タイトル名を変更する（☞72ページ）
– 録画したタイトルを消去する（☞83ページ）

ちょっと一言

- ビデオモードで録画したときのタイトル消去は、再生時にタイトルが見えないようにする設定で、実際の映像は消去していません。そのため、消去した部分の空き時間は増えません。ただし、DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときのみ、空き時間が増えます。

プレイリストを作成する

プレイリストで編集するには、まずオリジナルのタイトルからプレイリストを作成します。プレイリストは99タイトルまで作成することができます。
DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rでは、プレイリストの作成はできません。

オリジナルのタイトルから作る

DVD-RW(VR)

オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**
本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。
DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

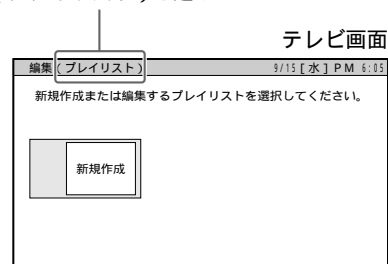
4 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**
リモコン表示窓のDVDボタン線上にd'マークが表示されます。

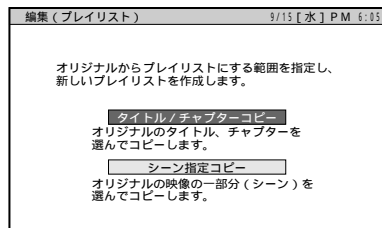
5 **編集する画像が記録されているディスクを入れる。**

6 **システムメニューボタンを押して、↑/↓で「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。**
オリジナルの編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストの編集画面に切り換えます。

DVD編集

次のページにつづく

プレイリストを作成する（つづき）

8 **←/↑/↓/→で「新規作成」の枠を選び、決定ボタンを押す。**
プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

9 **↑/↓で「タイトル/チャプターコピー」を選び、決定ボタンを押す。**
オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

10 **←/↑/↓/→でコピーしたいオリジナルのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
新しいプレイリストのタイトルが作成されます。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

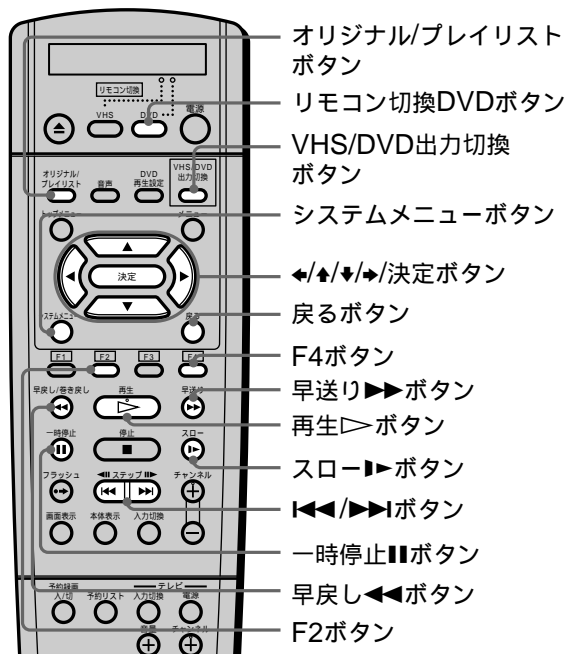
ちょっと一言

- オリジナルのタイトル名や変更したサムネイル画像の情報はコピーされません。
- オリジナルのチャプターからも同様にプレイリストを作成できます。

ご注意

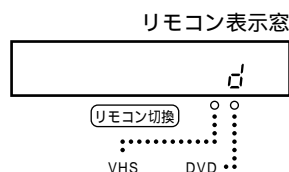
- 本機で作成できるプレイリストは、最大12時間までです。

オリジナルの一部から作る DVD-RW(VR)

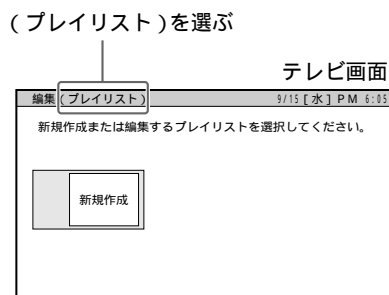
オリジナルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。

DVD出力ランプ

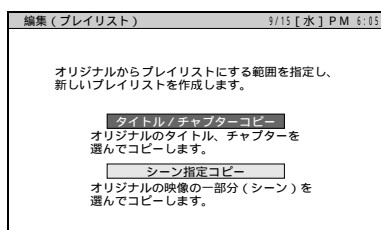
1 **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**
本体のDVD出力ランプが点灯（オレンジ色）します。
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。
DVDの専用端子でご覧になる場合も、DVDの出力に切り換えてください。

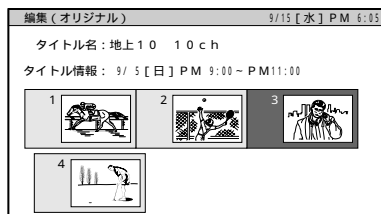
2 **リモコン切換DVDボタンを押し、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**
リモコン表示窓のDVDボタン線上にd マークが表示されます。

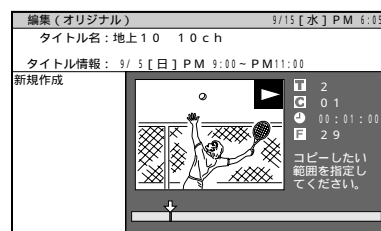
リモコン表示窓

3 **システムメニューボタンを押して、▲/▼で「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

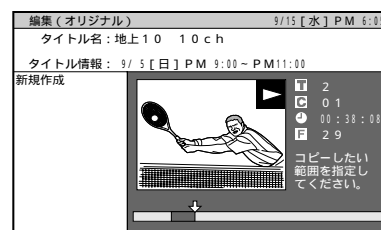
4 **▲/▼で「編集」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルの編集画面が出たら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストの編集画面に切り換えます。

5 **◀/▲/▼/▶で「新規作成」の枠を選び、決定ボタンを押す。**

プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定ボタンを押します。

6 **▲/▼で「シーン指定コピー」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

7 **◀/▲/▼/▶でコピーしたいシーンがあるオリジナルのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンを押してオリジナルの映像を再生します。

8 **コピー開始場面で決定ボタンを押す。**

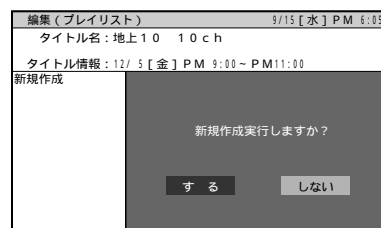
再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、I◀◀/▶▶Iボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

9 **コピー終了場面で決定ボタンを押す。**

10

- **内容を確認するとき**
  F2**ボタンを押す。**
  新しいタイトルの映像を確認します。
- **内容を確認しないとき**
  手順11に進む。

11 F4**ボタンを押す。**

DVD編集

次のページにつづく

12 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**
新しいプレイリストのタイトルが作成されます。
「しない」を選ぶと、編集画面（新規作成）が終了し、プレイリストは作成されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

- シーンを選ぶ時は、一時停止したシーンからスロー▮►ボタンでスロー再生して開始場面や終了場面を選ぶと便利です。

ご注意

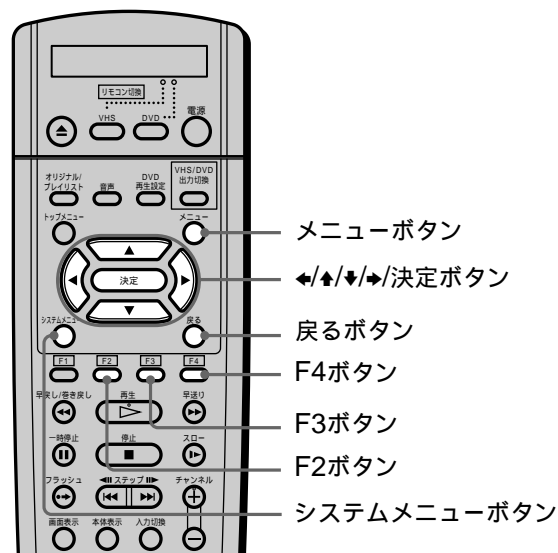
- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 5秒未満のシーンはコピーできません。
- 手順**8**で開始地点を設定したあとに、早戻し◄◄ボタンや▮◄◄ボタンを押して開始地点より前に戻ると、開始地点が解除されます。

編集する

録画したタイトルを編集します。
オリジナルのタイトルやシーンを消去すると、その映像をもとに作成したプレイリストにも影響がでるので、ご注意ください。
プレイリストで場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響しません。
本機とテレビの電源を入れ、本機に編集する画像が記録されているディスクを入れて、次の操作を行います。
操作の前に、本機の出力をDVDの出力に切り換え、リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

タイトル名を変更する

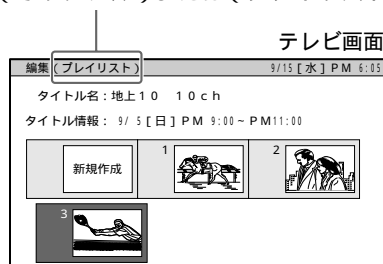
DVD-RW　DVD-R

新しいDVDに録画をした際、タイトル名が自動作成されます。本機ではそのタイトル名を変更することができます。
入力できる文字数は、全角で32文字、半角で64文字までです。

1 **システムメニューボタンを押して、↑/↓で「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

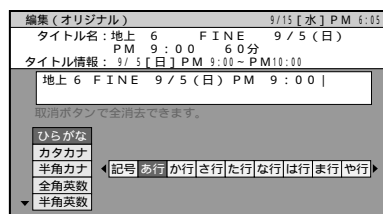
2 **↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトルの一覧画面が出ます。
DVD-RW（VRモード）の場合、オリジナルかプレイリストを選びます。

（オリジナル）または（プレイリスト）

テレビ画面

3 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「タイトル名変更」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトル名変更画面が出ます。

5 **←/↑/↓/→で新しいタイトル名を入力し、決定ボタンを押す。**

詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞右記）をご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

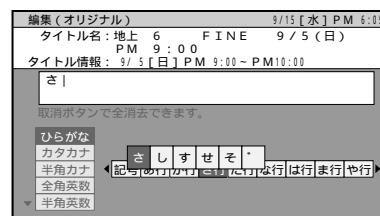
F1ボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

文字の入力のしかた

タイトル名の入力、変更をするときの操作は次のとおりです。

1 ↑/↓で文字の種類を←/→で文字列を選び、決定ボタンを押す。

2 ←/→で文字を選び、決定ボタンを押す。
手順**1**で「ひらがな」を選んだ場合、メニューボタンで漢字変換できます。押すたびに切り換わり、決定ボタンで選びます。
文字を消去するときは戻るボタン、カーソルを先へ進めるときはF3ボタン、前へ戻すときはF2ボタンを押します。

3 手順**1**と**2**を繰り返し、入力する。

4 F4ボタンを押す。

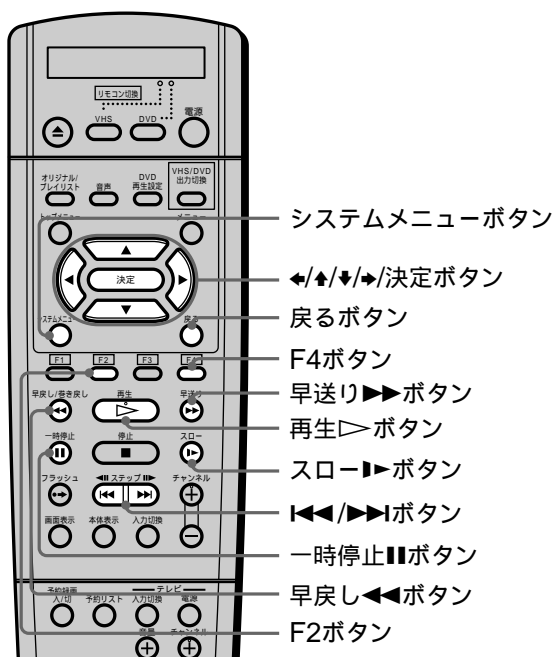
ちょっと一言

- DVD-RW（ビデオモード）とDVD-Rでは、オリジナルの編集のみ行うことができます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルに、本機で表示できない文字が含まれているときは、「＊＊＊・・・」（32文字まで）が出ます。
- メニューボタンで漢字変換後は、F2ボタン（右へカーソル移動）とF3ボタン（左へカーソル移動）を使って変換対象の単語の右側にカーソルを置いて再変換してください。
- 取消ボタンでタイトル名の全消去ができます。

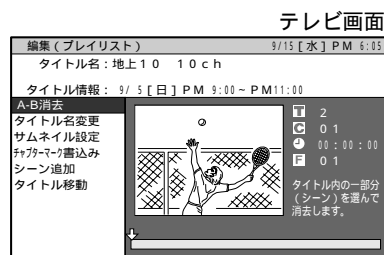
次のページにつづく

選んだ場面を消去する（A-B消去）

DVD-RW(VR)

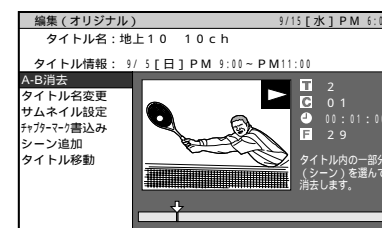
タイトル内の一部分（シーン）を選んで消去することができます。
シーン消去後は元の状態に戻すことができないのでご注意ください。

1 **システムメニューの「DVD編集/消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1〜2）。**

2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

3 **↑/↓で「A-B消去」を選び決定ボタンを押す。**

消去開始場面（A点）の設定画面が出ます。
再生▷ボタンで選んだタイトルを再生します。

4 **消去開始場面（A点）で決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンや一時停止❙❙ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、⏮/⏭ボタン、スロー❙▶ボタンを使って場面を探すことができます。
消去終了場面（B点）の設定画面が表示されます。

5 **消去終了場面（B点）で決定ボタンを押す。**

6

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだシーンを消去したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  手順7に進む。

7 F4ボタンを押す。

8 ←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。

選んだシーンが消去されます。
「しない」を選ぶと、編集画面（シーン消去）が終了し、シーンは消去されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

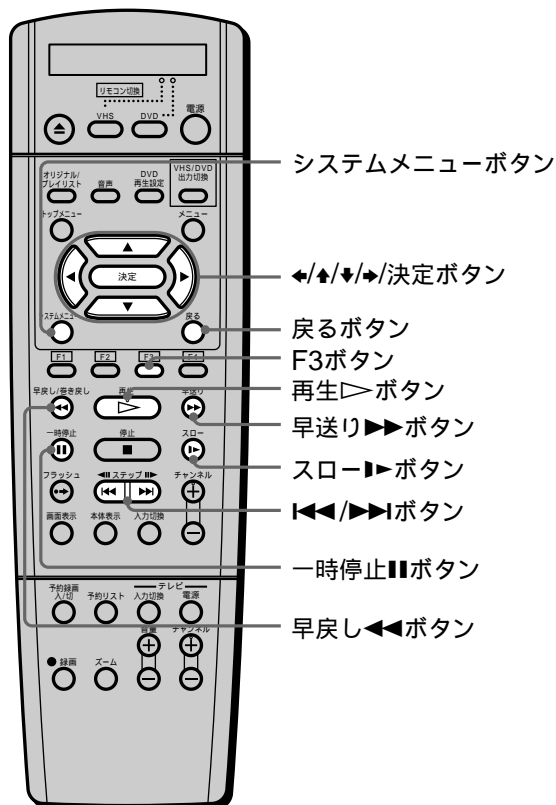
ご注意

- 5秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始場面と終了場面としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面を設定すると、次のようになります。
  - タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始場面として選ぶと、タイトルの始まりが開始場面になります。
  - タイトルの終わりから5秒前までの場面を終了場面として選ぶと、タイトルの最後が終了地点になります。
  - タイトルの終わりの5秒間で開始場面と終了場面の両方を選ぶと、選んだ場面にかかわらず、終わりの5秒間が消去されます。

  シーンの追加や消去などで自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間を消去開始場面や終了場面として選ぶと、チャプターマークが消去開始場面や終了場面として設定されます。

チャプターを区切る

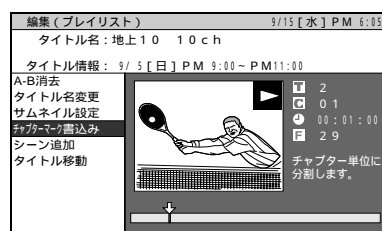
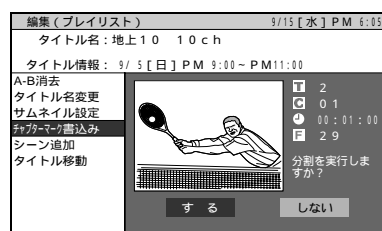
（チャプターマーク書込み） DVD-RW(VR)

タイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。

1 システムメニューの「DVD編集/消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1～2）。

2 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

テレビ画面

DVD編集

3 **↑/↓で「チャプターマーク書込み」を選び、決定ボタンを押す。**
再生▷ボタンで選んだタイトルを再生します。再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

4 **チャプターを分割する場面で決定ボタンを押す。**

5 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**
• **分割場面を変更するには**
「しない」を選び、決定ボタンを押します。再生▷を押して手順**3**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

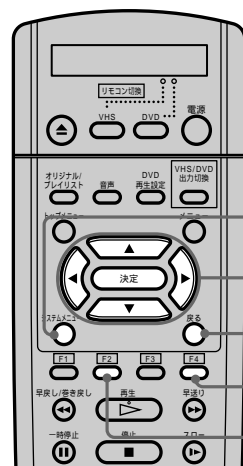
編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

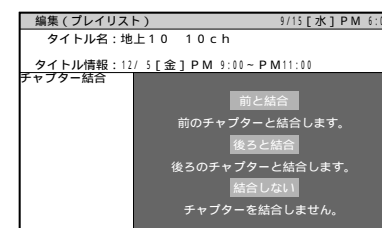
• チャプターマークの間隔は3秒以上あけてください。間隔が短いと、チャプターを分割できません。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプター結合） DVD-RW（VR）

編集操作で追加したチャプターマークを消去して、2つのチャプターを結合して1つにします。
オリジナルのチャプターを結合しても、プレイリストのチャプターには影響ありません。

1 **システムメニューの「DVD編集/消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1〜2）。**

2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、F2ボタンを押す。**
チャプターリスト画面が出ます。

テレビ画面

3 **←/↑/↓/→でつなげたいチャプターを選び、F4または決定ボタンを押す。**

4 **「チャプター結合」で決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で結合のしかたを選び、決定ボタンを押す。**

- **「前と結合」「後ろと結合」**
  2つのチャプターがつながり、チャプターリスト画面に戻ります。
- **「結合しない」**
  前の画面に戻ります。

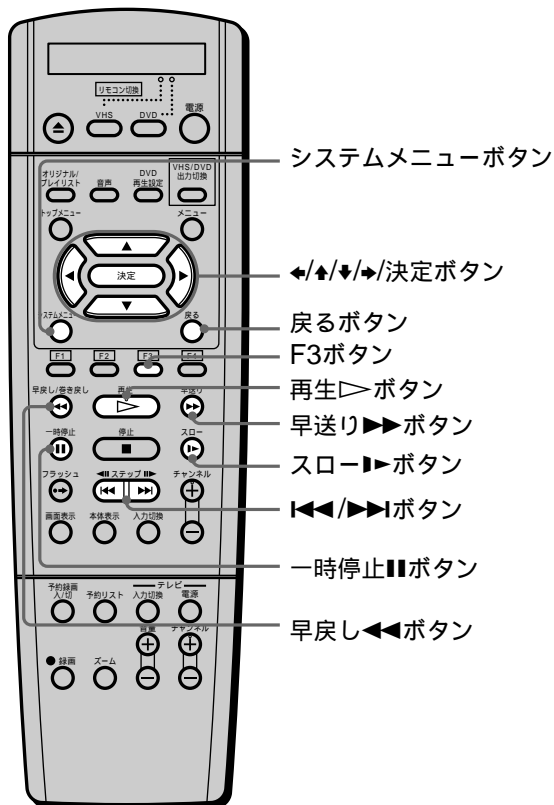
1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

画像付DVDタイトルリストの画像を変更する（サムネイル設定） DVD-RW(VR)

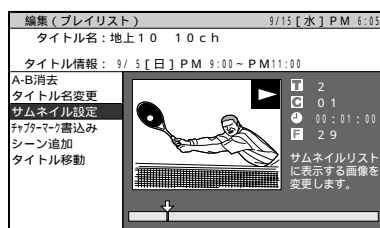
画像付タイトルメニューのタイトル画面に、どの場面を出すかを設定することができます。

1 **システムメニューの「DVD編集/消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1～2）。**

2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

次のページにつづく

3 **↑/↓で「サムネイル設定」を選び、決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンで選んだタイトルを再生します。再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、スロー❚▶ボタンを使って場面を探すことができます。

4 **画像付DVDタイトルリストの画像にしたい場面で決定ボタンを押す。**

一時停止になります。

5 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

画像付DVDタイトルリストの画像が決まります。

- **もう一度選び直すには**
  「しない」を選び、決定ボタンを押します。手順**3**から繰り返します。
- **元のタイトル画面に戻すには**
  決定ボタンを押した後に、F3ボタンを押します。

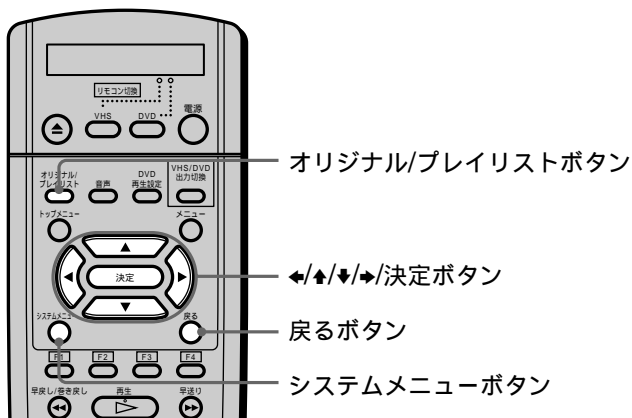
1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

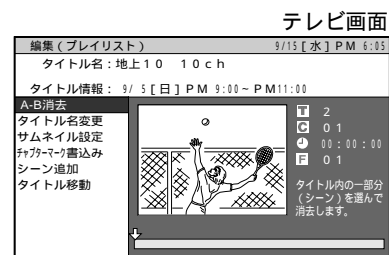
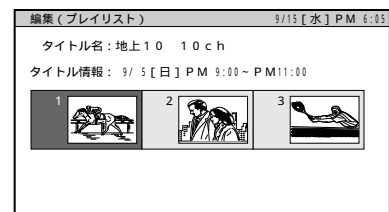
戻るボタンを繰り返し押します。

タイトルを移動する DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトルの並び順を変更します。

1 **システムメニューの「DVD編集/消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1～2）。**

2 **オリジナル/プレイリストボタンを押してプレイリストを出す。**

3 **←/↑/↓/→で移動するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

4 **↑/↓で「タイトル移動」を選び、決定ボタンを押す。**

5 ←/→でタイトルの移動先を選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルが移動します。

- **選択したタイトルより前を移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直前にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル1を選んだ場合は、1の前に3のタイトルが移動します。
- **選択したタイトルより後を移動先として選んだとき**
  移動先として選んだタイトルの直後にタイトルが移動します。
  例）タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル4を選んだ場合は、4の後に3のタイトルが移動します。
- **連続してタイトルを移動するには**
  戻るボタンを2回押して、手順**3**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

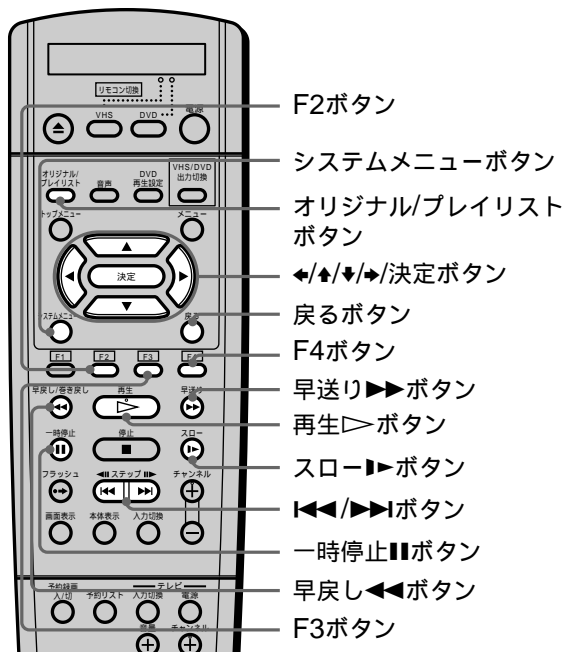
編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- プレイリストを2つ以上作成していない場合、タイトルの移動はできません。

オリジナルからタイトルやチャプターを追加する DVD-RW(VR)

オリジナルからタイトルやチャプターを選び、プレイリストのお好みのタイトルの最後にチャプターとして追加します。

1 **システムメニューの「DVD編集／消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1〜2）。**

2 **オリジナル/プレイリストボタンを押してプレイリストを出す。**

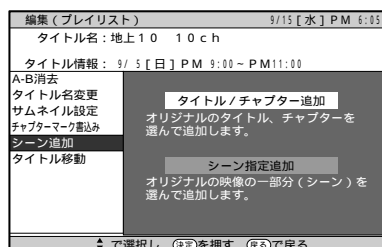
3 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

次のページにつづく

DVD編集

編集する（つづき）

4 **↑/↓で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「タイトル/チャプター追加」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

チャプターを追加するには、F2ボタンを押してチャプターの一覧画面に切り換えます。

6 **←/↑/↓/→で追加したいタイトルまたはチャプターを選び、決定ボタンを押す。**

7

- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだタイトルやチャプターを追加したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  手順8へ進む。

8 **F4ボタンを押す。**

9 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

手順**2**で選んだプレイリストタイトルの最後にタイトルやチャプターがチャプターとして追加されます。

「しない」を選ぶと、編集画面（シーン追加）が終了し、タイトルやチャプターは追加されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ちょっと一言

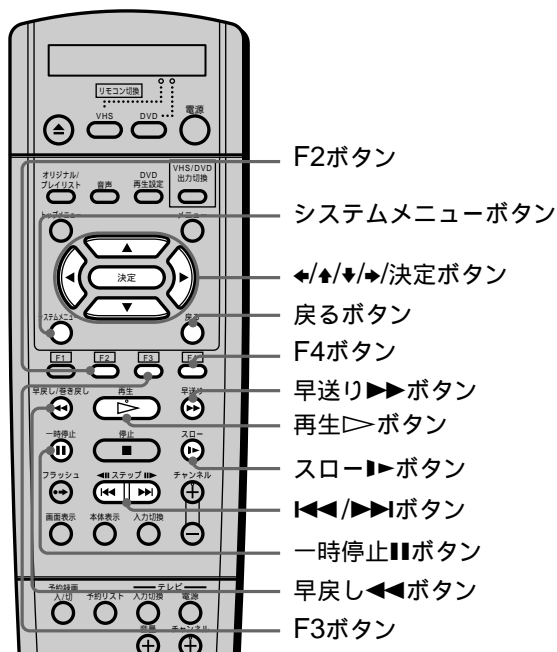
- タイトルやチャプターを追加した箇所にチャプターマークが自動的に入ります。
- 1タイトルにつき50回まで、追加や消去を行うことができます。

ご注意

- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。

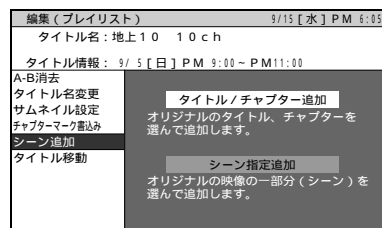
オリジナルから場面を追加する

（シーン追加） DVD-RW（VR）

オリジナル映像から場面（シーン）を選び、プレイリストのお好みのタイトルの最後にそのシーンを追加します。

1 **システムメニューの「DVD編集／消去」から「編集」を選ぶ（☞「タイトル名を変更する」（72ページ）の手順1〜2）。**

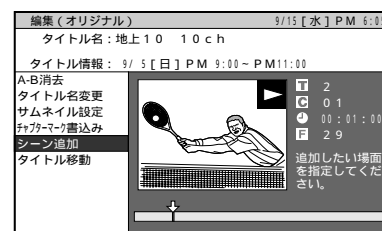
2 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

3 **↑/↓で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「シーン指定追加」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

5 **←/↑/↓/→で追加したいシーンのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

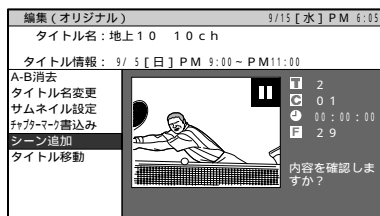
再生▷ボタンでオリジナルのタイトルを再生します。

6 **追加したいシーンの開始場面で決定ボタンを押す。**

再生▷ボタンや一時停止❚❚ボタン、早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、⏮/⏭ボタン、スロー▮▶ボタンを使って場面を探すことができます。

DVD編集

次のページにつづく

編集する（つづき）

7 **追加したいシーンの終了場面で決定ボタンを押す。**

8
- **内容を確認するとき**
  F2ボタンを押す。
  選んだシーンを追加したタイトルが再生されます。
- **内容を確認しないとき**
  手順9へ進む。

9 **F4ボタンを押す。**

10 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**
手順**2**で選んだプレイリストタイトルの最後にシーンが追加されます。
「しない」を選ぶと、編集画面（シーン追加）が終了し、シーンは追加されません。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

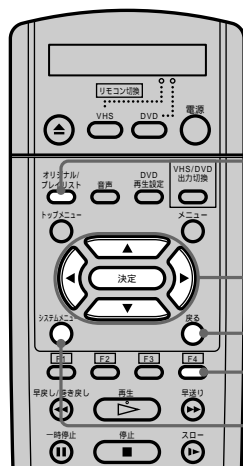
ちょっと一言

- シーンを追加した箇所（開始場面）にチャプターマークが自動的に入ります。
- 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加や消去を行うことができます。

ご注意

- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 3秒未満のシーンは追加できません。
- 手順**6**で開始場面を設定したあとに、早戻し◀◀ボタンや|◀◀ボタンを押して開始場面より前に戻ると、開始場面が解除されます。

タイトルの編集・消去を不可にする（タイトル保護）DVD-RW(VR)

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、タイトルを保護することができます。

1 **オリジナル/プレイリストボタンを押してオリジナルを選ぶ。**

2 **システムメニューから「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「タイトル保護・解除」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **←/↑/↓/→で保護するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

保護したタイトルに 🔒 がつきます。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

編集画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

保護を解除するには

手順**3**で保護されたタイトル（🔒）を選び、決定ボタンを押します。🔒 の表示が消えます。

ディスクごと保護するには

システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「DVDディスク保護」－「保護」を選びます（☞102ページ）。

ご注意

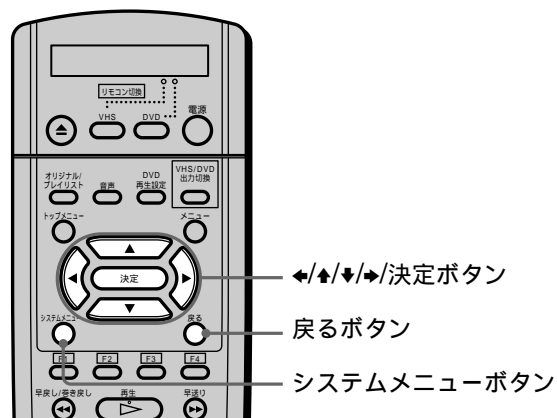
- プレイリストおよびビデオモードで録画したタイトルを保護することはできません。

タイトルを消去する

DVD-RW **DVD-R**

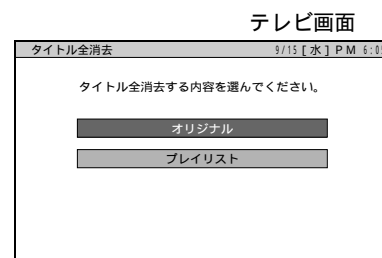
DVD-RWでは、ディスクがいっぱいになったら、不要なタイトルを消して、ディスクの空き時間を増やします。
オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからもそのタイトルが消えますのでご注意ください。プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響ありません。

すべてのタイトルを消去する（タイトル全消去）

ディスク内にあるすべてのタイトルを消去します。ただしオリジナルタイトルの場合、タイトル保護されているタイトルや情報は消去しません。
ディスク内のすべての内容を消去したいときは、ディスクの初期化を行ってください（☞93ページ）。

1 **停止中にシステムメニューから「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **↑/↓で「タイトル全消去」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ画面

次のページにつづく

3 **↑/↓で消去のしかたを選び、決定ボタンを押す。**

- **「オリジナル」**
  全てのオリジナルタイトルが消去されます。プレイリストも消去されます。
- **「プレイリスト」**
  プレイリストのみ消去されます。

4 **←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。**

オリジナル（またはプレイリスト）のすべてのタイトルが消去されます。
「しない」を選ぶと、手順**3**に戻ります。

5 **「確認」で決定ボタンを押す。**

- **消去した内容を元に戻したいときは**
  F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

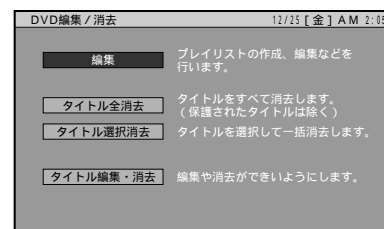
戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。
- タイトル数が多い場合などディスクの記録状態によっては、処理に約2分以上かかる場合があります。

タイトルを選んで消去する（タイトル選択消去）

タイトルをタイトルごとに消去します。

1 **停止中にシステムメニューから「DVD編集/消去」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **↑/↓で「タイトル選択消去」を選び、決定ボタンを押す。**

画像付タイトルリストが出ます。
DVD-RW（VRモード）の場合、オリジナル/プレイリストボタンでオリジナルかプレイリストを選びます。

例）DVD-RW（VRモード）
（オリジナル）または（プレイリスト）

テレビ画面

3 ←/↑/↓/→で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルに がつきます。

4 F4ボタンを押す。

5 ←/→で「する」を選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルが消去されます。
「しない」を選ぶと手順**3**に戻ります。

- **消去した内容を元に戻したいときは**
  F3ボタンを押し、画面の指示にしたがって操作してください。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

タイトル消去画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

消去を止めるには

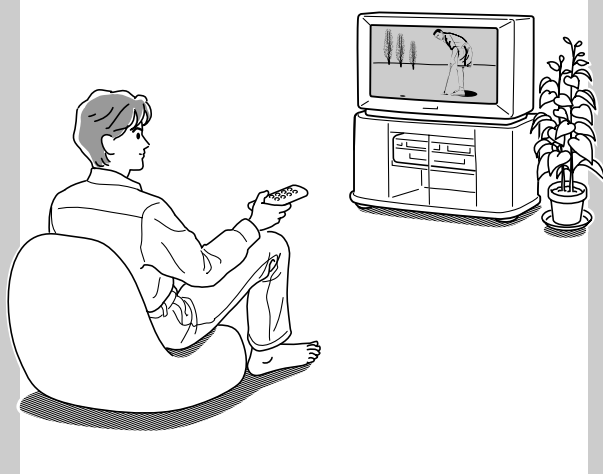
手順**3**で選んだタイトル を選び、決定ボタンを押します。 の表示が消えます。

ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。
- 保護されているタイトルは消去できません（☞82ページ）。
- DVD-Rではタイトルを消去しても空き容量は増えません。
- DVD-RW（ビデオモード）では最後に記録したタイトルを消去したときにのみ空き容量が増えます。
- DVD-RW（ビデオモード）、DVD-Rでは、ファイナライズするとタイトル消去ができなくなります。

ダビング

ここでは本機を使って、VHSテープからディスクへ、またはディスクからVHSテープへのダビングについて説明します。
また、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。
デジタルビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機前面の入力端子を使うと便利です。
以下の機器の接続については別冊「接続と準備」をご覧ください。

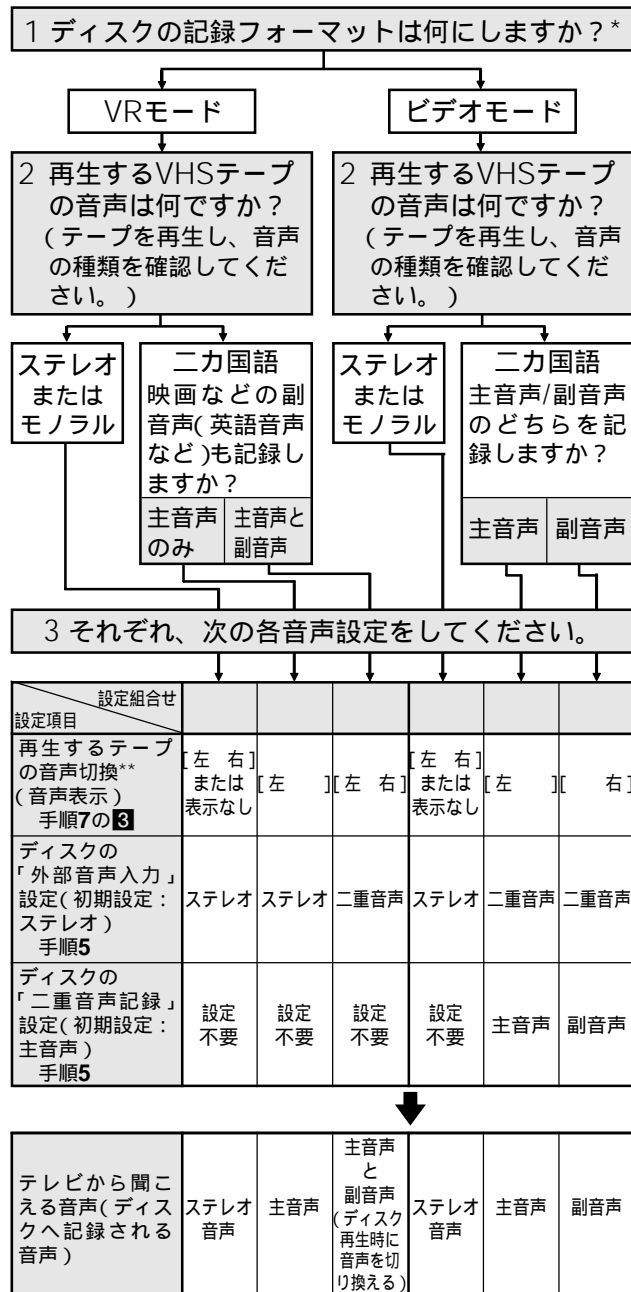
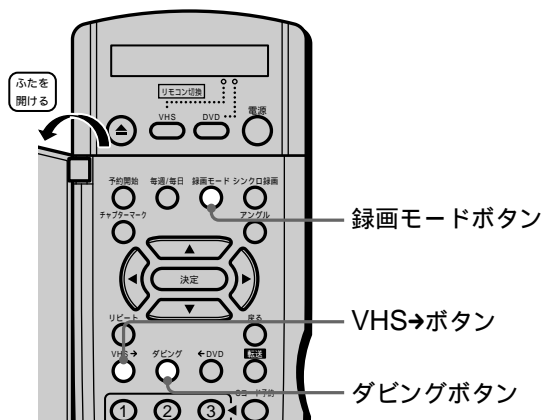
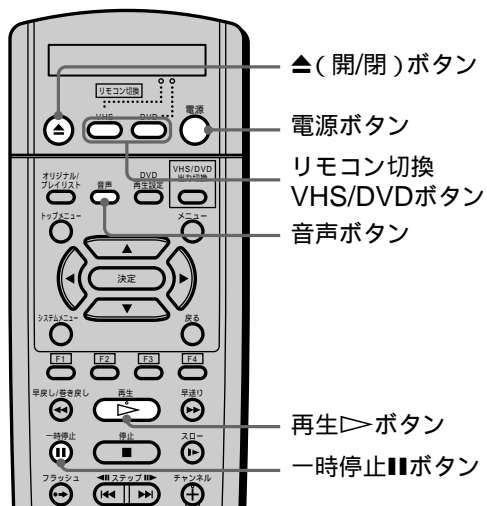
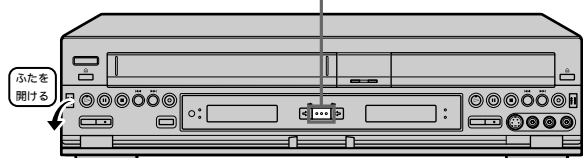
- ケーブルテレビ（CATV）
- 地上波デジタルやBSデジタル、デジタルCSチューナーなど

VHSテープをディスクにダビングする

DVD-RW DVD-R VHS

VHSテープの映像、音声をディスクに記録することができます（ダビング）。音声については、VHSテープとディスクで音声切換、音声設定が必要です。
ダビングの前に下記を確認し、音声切換と設定をしてください。

設定組合せ / 設定項目	①	②	③	④	⑤	⑥
再生するテープの音声切換**（音声表示）→手順7の❸	[左　右] または 表示なし	[左　]	[左　右]	[左　右] または 表示なし	[左　]	[　右]
ディスクの「外部音声入力」設定（初期設定：ステレオ）→手順5	ステレオ	ステレオ	二重音声	ステレオ	二重音声	二重音声
ディスクの「二重音声記録」設定（初期設定：主音声）→手順5	設定不要	設定不要	設定不要	設定不要	主音声	副音声

	①	②	③	④	⑤	⑥
テレビから聞こえる音声（ディスクへ記録される音声）	ステレオ音声	主音声	主音声と副音声（ディスク再生時に音声を切り換える）	ステレオ音声	主音声	副音声

* ディスクの記録フォーマットについて詳しくは、☞8ページをご覧ください。
**ダビング後は、VHS側の音声切換を「左　右」に戻すことをおすすめします。

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換える。**

2 **電源ボタンを押して、本体の電源を入れる。**

3 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを入れる。**
録画したい面を下にして置きます。

4 **≙（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的に初期化されます（☛94ページ）。

5 **ディスクの音声設定をする。**
システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」で「外部音声入力」（☛97ページ）、「二重音声記録」（ビデオモードのみ）（☛98ページ）を設定します。

6 **ダビングNRの設定をする。**
システムメニューの「セットアップ」－「VHS設定」で「ダビングNR」の設定をします（☛98ページ）。

7 **VHSテープを準備する。**
1. **再生するVHSテープを入れる。**
2. **リモコン切換VHSボタンを押して、リモコンの操作モードを「VHS」にする。**
3. **再生▷ボタンを押して再生し、VHSテープの音声を選ぶ。**
音声ボタンを押して、再生する音声を選びます（☛38ページ）。
4. **再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で一時停止▮▮ボタンを押す。**
記録時に数秒の時間差が生じますので、ダビングを開始したい位置の数秒（約5～6秒）前で静止画にすることをおすすめします。

8 **DVDの録画モードを選ぶ。**
1. **リモコン切換DVDボタンを押して、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**
2. **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード（FINE/SP/LP/EP/MN）を選ぶ（☛40ページ）。**
本体のDVD表示窓に選んだ録画モードが出ます。

次のページにつづく

VHSテープをディスクにダビングする（つづき）

9 VHS➔**ボタンを押す。**

ダビング待機状態になり、本体のダビングランプ（青色）が点滅します。
ダビング待機状態を解除するときは、もう一度VHS➔ボタンを押します。

10 **ダビングボタンを押す。**

ダビングが始まります。
本体のダビングランプ（青色）が繰り返し、順に点滅します。
ダビング中にテープを特殊再生（静止画、スロー再生、早送り再生/巻き戻し再生など）させると、ディスクがダビング待機状態になります。静止または再生にして、もう一度ダビングボタンを押すとダビングを始めます。

11 **ダビングを止めるには、もう一度ダビングボタンを押す。**

ディスクを他機で再生するときは

システムメニューの「DVD初期化/ファイナライズ」から「DVDファイナライズ」を行ってください（☛93ページ）。

ちょっと一言

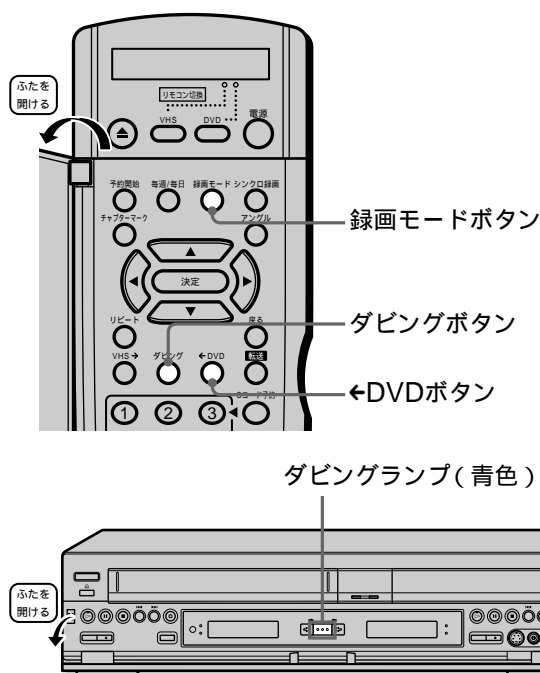
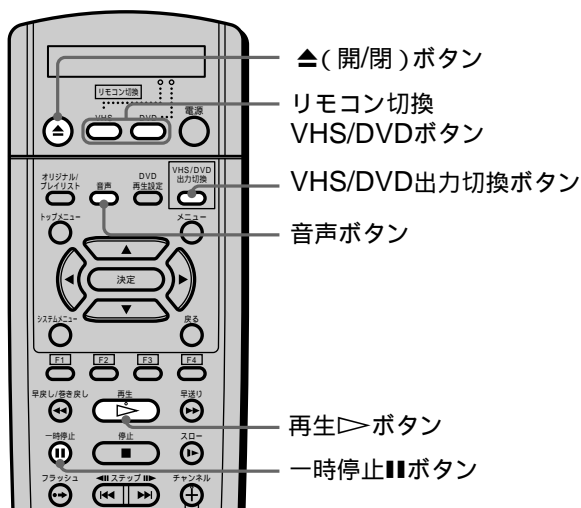
- DVD-Rにダビングする場合も操作手順は同じです。ただし、手順**10**でダビングボタンを押したとき、録画が開始されるまで約10秒かかります。
- ダビングしたディスクの最後に黒い画面が記録されますが故障ではありません。停止する際、テープとディスクに時間差が生じることがあります。その場合、黒い（信号のない）画面を記録するようになっています。
- ダビング中に再生しているテープの音声切換はできません。ダビングを始める前に設定してください。
- VHSテープをディスクにダビングしているとき、VHSテープのカウンター値とディスクの録画時間が多少ずれることがあります。
- 音声出力は、VHSの再生音声が出力されます。
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

- システムメニューの「ダビング」からもダビングできます。ただしこのときは、「ダビングを開始します」画面になるとダビングを取り消すことができません。
- 次のような場合は、ダビングできません。
  - 録画できないディスクがセットされているとき
  - コピーガード対応のVHSソフトのとき
- 次のような場合、ダビング待機状態が解除されます。
  - VHSを録画にしたり、DVDを再生したときなど
  - 電源を「入/切」したとき
- 次のような場合、ダビングを停止します。
  - VHSテープが最後まで再生され、停止したとき
  - VHSまたはDVDを停止したとき
  - ディスクの残量がなくなったとき
- 著作権について
  - VHSテープ等の著作物から録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  - 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

ディスクをVHSテープにダビングする

DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD　VHS

ディスクの映像、音声をVHSテープにダビングできます。ただし、コピー防止機能のついたディスクなどをテープに記録すると、テープを再生したときに映像が乱れます。

1　録画用のVHSテープを入れる。

2　ディスクを準備する。

1. **リモコン切換DVDボタンを押して、リモコンの操作モードを「DVD」にする。**
2. **VHS/DVD出力切換ボタンを押して、DVDの出力にする。**
3. **⏏（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開け、再生用のディスクを置く。**
4. **⏏（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを閉める。**
   本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
5. **プレイリストを作成しているときは（☞69ページ）、オリジナル/プレイリストボタンを押して、「オリジナル」または「プレイリスト」を選ぶ。**
6. **再生▷ボタンを押して再生し、録音したい音声を選ぶ。**
   音声ボタンを押して、録音したい音声を選びます（☞25ページ）。
7. **再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で一時停止❚❚ボタンを押す。**

3　録画モードを選ぶ。

1. **リモコン切換VHSボタンを押して、リモコンの操作モードを「VHS」にする。**
2. **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モード、SP（標準）またはEP（3倍）を選ぶ。**
   本体のVHS表示窓に選んだ録画モードが出ます。

4　⇐DVDボタンを押す。

ダビング待機状態になり、本体のダビングランプ（青色）が点滅します。
ダビング待機状態を解除するときは、もう一度⇐DVDボタンを押します。

5　ダビングボタンを押す。

ダビングが始まります。
本体のダビングランプ（青色）が繰り返し、順に点滅します。

6　ダビングを止めるには、もう一度ダビングボタンを押す。

次のページにつづく

ディスクをVHSテープにダビングする（つづき）

ちょっと一言

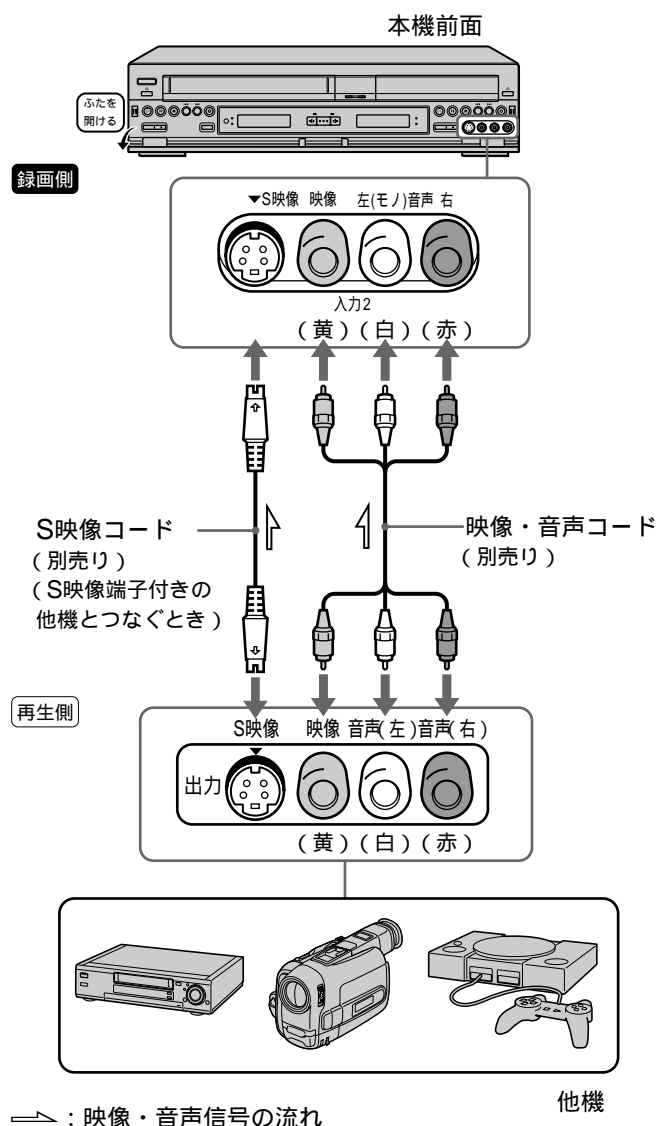
- ダビング中に再生しているディスクの音声切換はできません。ダビングを始める前に設定してください。
- ディスクの再生映像の明るさが通常のディスクの再生時と異なる場合もあります。
- ディスクをVHSテープにダビングしているとき、ディスクの再生時間とVHSテープのカウンター値が多少ずれることがあります。
- 音声出力は、DVDの再生音声が出力されます。
- システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」－「ブルーバック設定」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

- システムメニューの「ダビング」からもダビングできます。ただしこのときは、「ダビングを開始します」画面になるとダビングを取り消すことができません。
- システムメニューの「ダビング」からは、1つのタイトルしかダビングできません。手順**2**-**4**（☞89ページ）のあとでリモコンのトップメニューボタンを押して、画像DVDタイトルリストまたはタイトルメニューから選びます。
- 次のような場合は、ダビングできません。
  －システムメニューの「基本設定」－「DVD画面・音声設定」の「プログレッシブ再生」が「プログレッシブ再生　入」に設定されているとき
- 次のような場合、ダビング待機状態が解除されます。
  － DVDを録画にしたり、VHSを再生したときなど
  － 電源を「入/切」したとき
- 次のような場合、ダビングを停止します。
  － ディスクが最後まで再生され、停止したとき
  － DVDまたはVHSを停止したとき
  － テープの残量がなくなったとき
- 著作権について
  － ディスク等の著作物から録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  － 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

ビデオ機器をつないで見る・ダビングする

本機の外部入力端子につないだビデオ機器の映像を本機を経由して見たり、本機で録画したりするときは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ちょっと一言

- 本機で録画するときに、接続する他機がモノラルの場合は、モノラル音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。
- 本機で録画するときに、本機後面の入力1端子を使うこともできます。

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、ダビングすることができません。

つないだ機器の映像を見る・ゲームをする

1 入力切換ボタンを繰り返し押して「L2」を選ぶ。

入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

例）テレビチャンネル→ 入力1（L1）→ 入力2（L2）

2 本機の入力端子につないだ機器の再生をする。

ちょっと一言

- 手順**1**でチャンネル＋/－ボタンを押しても、「L2」を選べます。

ご注意

- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。

ダビングする DVD-RW DVD-R VHS

1 テレビの入力を録画側の機器に切り換える。

2 録画用のVHSテープまたはディスクを入れる。

リモコンの操作モード、出力切換を録画したい側のモードに切り換えてください。

3 つないだ再生機器の準備をする。

電源を入れます。

再生するテープやディスクなどを入れます。

画面表示機能があるときは、画面表示を消してください。

音声切換機能があるときは、録音したい音声を選んでください。

4 外部入力の音声を選ぶ。

- **DVDに録画する場合**
  録音する音声に合わせてシステムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」の「外部音声入力」（☛97ページ）、または「二重音声記録」（ビデオモードのみ）（☛98ページ）を設定します。
- **VHSテープに録画する場合**
  この手順はとばします。

5 入力切換ボタンを繰り返し押して「L2」を選ぶ。

入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

例）テレビチャンネル→ 入力1（L1）→ 入力2（L2）

後面入力1端子に機器を接続しているときは、「L1」にします。

6 録画モードボタンを繰り返し押し、録画モードを選ぶ。

- **DVDのとき**
  「FINE/SP/LP/EP/MN」から選びます。
- **VHSテープのとき**
  「SP（標準）/EP（3倍）」から選びます。

ビデオ機器をつないで見る・ダビングする（つづき）

7

録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8

録画側　再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9

録画側　再生側

録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

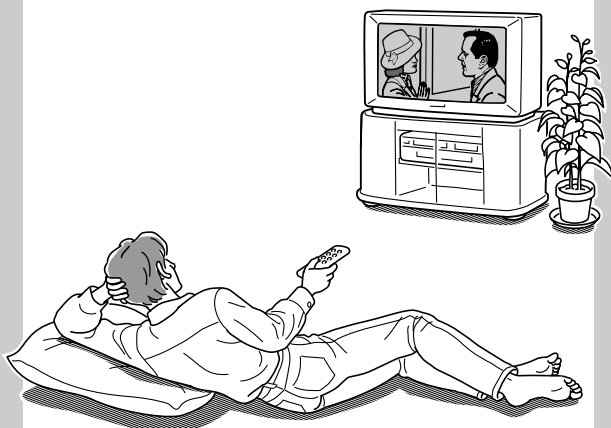
ちょっと一言

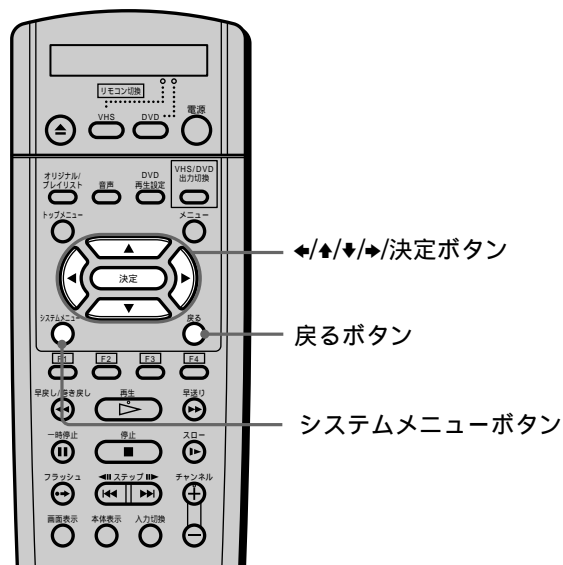
- 二カ国語放送の番組を録画するときに、本機が再生側のときは、音声ボタンを押してあらかじめ録画したい音声を選ぶことができます。
- 手順**5**でチャンネル＋/－ボタンを押しても、「L2」を選べます。
- 当社製のビデオ機器と接続して使うときは、本機のリモコンコードを「RC2」に切り換えてご使用になることをおすすめします（☛別冊「接続と準備」）。

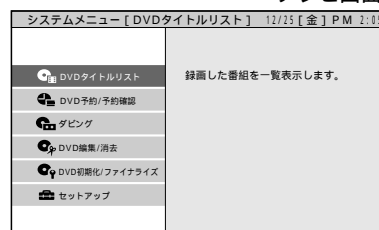
ご注意

- コピーガードが入っている映像は、録画防止機能の働きにより正常な録画ができません（または録画できません）。

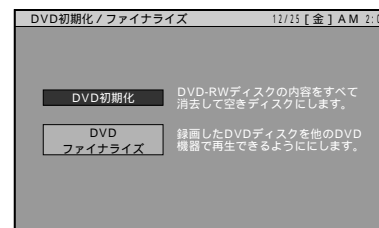
設定と調整

ここでは、再生や録画に必要な設定について説明します。
接続方法により異なる設定があります。別冊「接続と準備」でご確認ください。

ディスクに関する設定（DVD初期化/ファイナライズ）

録画したディスクを初期化、またはファイナライズすることができます。

1 **停止中にシステムメニューボタンを押す。**
システムメニューが出ます。

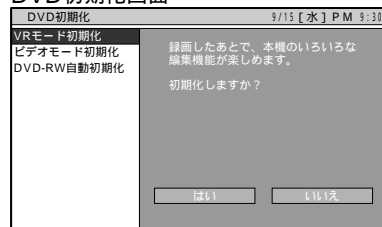
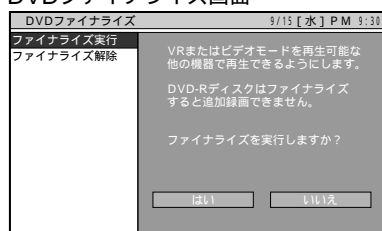
テレビ画面

2 **↑/↓で「DVD初期化/ファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ設定画面が出ます。

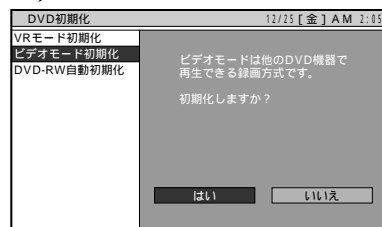
設定と調整

次のページにつづく

ディスクに関する設定（つづき）

3 **↑/↓で「DVD初期化」または「DVDファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す。**

DVD初期化画面

■DVD初期化 9/15［水］PM 9:30
VRモード初期化
ビデオモード初期化
DVD-RW自動初期化
録画したあとで、本機のいろいろな編集機能が楽しめます。
初期化しますか？
はい
いいえ

DVDファイナライズ画面

4 **↑/↓で項目を選ぶ。**

例）「ビデオモード初期化」

5 **←/→で設定内容を選び、決定ボタンを押す。**

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

設定画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

• DVDの再生や録画中は、設定画面は使えません。

VRモード初期化

DVD-RWの内容をすべて消去して、VRモードで初期化します。保護しているタイトル（☞82ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように内容を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	VRモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

• DVD-Rは初期化できません。

ビデオモード初期化

ディスクの内容をすべて消去して、ビデオモードで初期化します。保護しているタイトル（☞82ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように内容を確認してから行ってください。

項目	内容
はい	ビデオモードで初期化する
いいえ	初期化しない

ご注意

• Ver.1.0のDVD-RW は、ビデオモードでの初期化ができません。
• DVD-Rは初期化できません。

DVD-RW自動初期化

何も録画されていないDVD-RWを入れると、自動的に初期化されます。VRモードまたはビデオモードで初期化するかを設定します。

項目	内容
VR	VRモードで初期化する（お買い上げ時の設定）
ビデオ	ビデオモードで初期化する

ご注意

• Ver.1.1以上のDVD-RWにのみ働きます。

ファイナライズ実行

ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生するときや、VRモードで録画したディスクが他のDVD-RWのVRモード再生対応プレーヤーで再生できないとき、ディスクをファイナライズして再生できるようにします。
DVD-Rは、一度ファイナライズすると録画や編集などで、ディスクの内容を変更することができませんので、ご注意ください。

項目	内容
はい	ファイナライズを実行する
いいえ	ファイナライズを実行しない

ファイナライズ解除

ファイナライズしたDVD-RWに再び録画できるようにする設定です。

項目	内容
はい	ファイナライズを解除する
いいえ	ファイナライズを解除しない

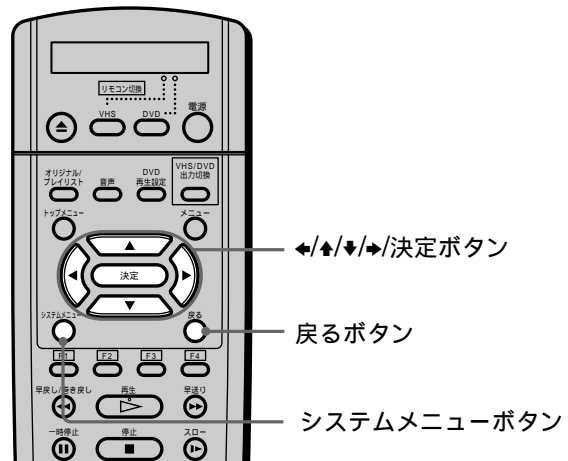
ちょっと一言

- ファイナライズの処理には、数分から約1時間必要です。DVD-RW（VRモード）の場合、ディスクの空き容量が多いと処理に時間がかかります。
- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、通常どおり録画や編集などをすることができます。
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクには、自動的にディスクのタイトルメニューが作成されます。
- ファイナライズされたディスクをセットしたときは、「ファイナライズ実行」が選択できません。
  他機でファイナライズされたVRモードのDVD-RWをセットしたときは、「ファイナライズ解除」表示となる場合があります。このときに、ファイナライズ解除を行うと、本機で録画や編集が可能になります。

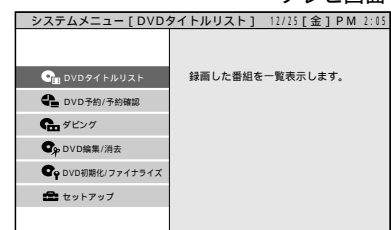
ご注意

- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、録画や編集などをすることができません。
- DVD-RWのVRモード再生対応でないDVDプレーヤーでは、VRモードのディスクは再生できません。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズしても、DVDプレーヤーによっては再生できないものがあります。

設定画面を使う

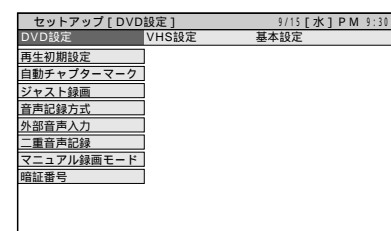
設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目については、☞96〜102ページをご覧ください。「BS設定」と「地上波設定」については、☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

1 **停止中にシステムメニューボタンを押す。**

システムメニューが出ます。

テレビ画面

2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ設定画面が出ます。

設定と調整

次のページにつづく

3 ←/→で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

例）「VHS設定」

4 ↑/↓で項目を選ぶ。

例）「ジャスト録画」

5 ←/→で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

戻るボタンを押します。

設定画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

ご注意

• DVDの再生や録画中は、設定画面は使えません。

DVDに関する設定（DVD設定）

DVDを再生や録画の条件に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
システムメニューの「セットアップ」－「DVD設定」を選びます。操作のしかたは、「設定画面を使う」（☞95ページ）をご覧ください。

再生初期設定

・視聴制限

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDビデオの再生を制限する設定をします。詳しくは、「ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）」（☞31ページ）をご覧ください。

・言語設定

画面や音声の言語を設定します。
選べる画面や音声の言語はディスクによって異なります。また、ここで記録されている言語を設定しても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示/非表示や切り換えを禁止している場合があります。

字幕言語

DVD再生時の字幕を設定します。お買い上げ時には日本語に設定されています。

音声言語

DVD再生時の音声を設定します。お買い上げ時には英語に設定されています。

メニュー言語

DVD のディスクに記録されているメニューの言語を切り換えます。
お買い上げ時には日本語に設定されています。AAからZUのコードについては、「言語コード一覧表」（☞119ページ）で確認してください。

自動チャプターマーク

DVDで録画中に、一定間隔でチャプターを自動的に区切ります。
DVD-RW（VRモード）の場合は、チャプターを手動で区切ることができます（☛75ページ）。

項目	内容
--	録画中にチャプターを区切らない
10	録画中、10分経過ごとにチャプターを区切る
15	録画中、15分経過ごとにチャプターを区切る
30	録画中、30分経過ごとにチャプターを区切る

ちょっと一言

- ジャスト録画が「する」のときは、オートチャプター間隔が少し短くなります（最大約1分）。

ジャスト録画

ディスクの空き時間不足で予約した番組が最後まで録画できないとき、予約録画開始前に自動的に録画モードを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。

項目	内容
しない	ジャスト録画しない
する	ジャスト録画する

ご注意

- シンクロ録画（☛54ページ）のときは、ジャスト録画機能は使用できません。
- 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。その後に予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。
- 録画モードを「EP」に設定したときはジャスト録画機能は働きません。

音声記録方式

DVDの録画モードをFINEに設定したときの音声を設定します。

項目	内容
PCM	オーディオ機器で再生可能なPCM（非圧縮）音声で記録する
DD2ch	ドルビーデジタル2チャンネル音声で記録する

外部音声入力

本機につないだ外部機器や内蔵VHSから入力される音声を選びます。
本機の内蔵VHSや外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を含む映像を録画する場合、必ず「二重音声」を選んでください。VRモードで再生するときに主音声と副音声を切り換えることができます。
ビデオモードで録画するときは、「二重音声記録」（☛98ページ）で録画したい音声をあらかじめ選びます。二カ国語放送などを「ステレオ」に設定して録画すると、再生時に2つの音声が重なって聞こえます。
接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

項目	内容
ステレオ	左右のスピーカーから音声を出力する
二重音声	主音声、副音声を切り換えることができる

ご注意

- ドルビーデジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

設定と調整

次のページにつづく

DVDに関する設定（つづき）

二重音声記録

二カ国語放送の番組をビデオモードで録画する場合、主音声または副音声のどちらの音声を記録するか設定します。
録画時にはここで設定した音声のみが記録され、再生時に音声の切り換えはできません。

項目	内容
主音声	主音声で録画する
副音声	副音声で録画する

マニュアル録画モード

DVDの録画モード「MN」（マニュアルモード）を選んだときの録画時間や画質を32段階で設定します。
詳しくは「録画モードについて」（☞40ページ）をご覧ください。

暗証番号

視聴制限を設定・変更するときの暗証番号を設定します。詳しくは「暗証番号を変更するには」（☞32ページ）をご覧ください。

VHSに関する設定

（VHS設定）

VHSを再生や録画の条件に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
システムメニューの「セットアップ」－「VHS設定」を選びます。操作のしかたは、「設定画面を使う」（☞95ページ）をご覧ください。

ダビングNR

VHSからDVD へダビングするときにノイズを低減します。

項目	内容
切	ダビングNRを設定しない
入	ノイズを低減する

オートピクチャー

VHSテープの再生画像をくっきりとさせる機能です。再生画像に合わせてお好みで設定してください。

項目	内容
切	ダビング時に、本機を再生側として使うときに設定する
入	通常再生するときに設定する

ご注意

- オートピクチャーは、VHSテープ再生時のみ働きます（S-VHSソフト再生時には働きません）。

ジャスト録画

VHSで予約録画するときに、テープ残量に合わせて録画モードをSP（標準）モードからEP（3倍）モードに自動的に切り換えます。

項目	内容
しない	ジャスト録画しない
する	ジャスト録画する

ご注意
- EP（3倍）モードのVHS予約では、ジャスト録画機能は働きません。
- VHS再生時、SP（標準）モードからEP（3倍）モードに切り換わるところで多少ノイズが出ます。
- ジャスト録画は、DVDからVHSへダビング時は働きません。
- EP（3倍）モードで録画してもテープ残量が足りない場合は、ジャスト録画を使ってもテープ内に収まりません。

オートリピート

1本のテープを自動的に繰り返し、何度も再生する機能です。
VHSテープが終わりまで行くと自動的にテープの始めまで巻き戻し、繰り返し再生します。

項目	内容
しない	この機能が働かない
する	VHSテープを繰り返し、何度も再生したいときに設定する

ちょっと一言
- オートリピート再生をするときは、「する」に設定後、再生操作をしてください。再生を停止するときは、停止■ボタンを押します。

ご注意
- 一度「する」に設定すると、「しない」に再設定するまで自動的に繰り返し続けます。
- 早送り、巻き戻しをしたときも、オートリピート機能が働きます。

CM自動早送り

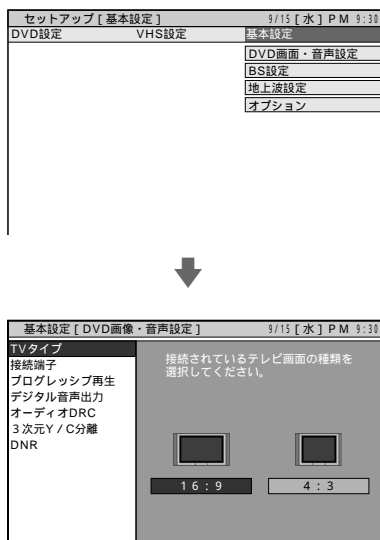
本機で録画した番組が二重音声放送（洋画などの二カ国語放送）やモノラル放送のとき、ステレオ放送のコマーシャル（CM）を自動的にとばして見ることができます。

項目	内容
しない	この機能が働かない
する	CM自動早送りを使用するときに設定する

ちょっと一言
- CM自動早送りをすると、コマーシャル終了部分をわずかに過ぎたところから再生が始まります。
- コマーシャルが長く続いた場合、途中で解除され、再生に戻る場合があります。
- CM自動早送りを設定すると、再設定するまで設定内容は変わりません。
- ステレオ放送を録画したVHSテープを再生すると、番組の始まり部分でCM自動早送りが働き、最大で5分間ぶんの内容がサーチされます。
- 市販のビデオソフトによっては自動早送りが働くことがあります。このようなときは、CM自動早送りを「しない」に設定してください。

ご注意
- 本機の内蔵VHSからDVDへのダビング中は働きません。
- CM自動早送りは、本機で放送を録画したVHSテープに限り働きます。
- 次のような場合には、正しく動作しないことがあります。
  - 録画中に一時停止や停止をした部分
  - コマーシャル中にSP（標準）/EP（3倍）モードに切り換えた部分

映像と音声に関する設定（DVD画面・音声設定）

再生するときの映像や音声などの設定を、再生や接続の条件に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「DVD画面・音声設定」を選びます。操作のしかたは、「設定画面を使う」（☞95ページ）をご覧ください。

TVタイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

項目	内容
16:9 （ワイドテレビ）	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3 （従来のテレビ）	4:3画面のテレビとつなぐとき

「4：3」では、「パンスキャン」（ワイド画像の場合は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する）または「レターボックス」（ワイド画像の場合は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する）を選びます。

ちょっと一言

- DVDビデオによっては、「4:3」で「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、自動的にどちらかで再生されることがあります。
- BSデジタル放送などのワイド（16:9）映像を、VRモードのDVD-RWに録画モードをLPまたはEPに設定して録画した場合、「4:3」で「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」で再生されます。
- BSデジタル放送などのワイド（16:9）映像をビデオモードのFINE、SPで録画した場合、4:3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。（再生時テレビ画面設定にかかわらず、16:9の出力になります。）

接続端子

テレビを買い替えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、接続端子の設定の変更が必要です。テレビとの接続、接続端子については☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

項目	内容
映像・S映像入力	映像・S映像端子をつないでいる
D1入力	D1端子をつないでいる
D2〜D4入力	D2〜D4端子でつないでいる 「プログレッシブ再生」が設定できる

プログレッシブ再生

ディスクを再生したときに本機のD1/D2端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語解説」（☞117ページ）をご覧ください。この設定は、「接続端子」で「D2〜D4入力」を設定したときに有効です。

項目	内容
プログレッシブ再生　入 （プログレッシブ）	プログレッシブ（525p）方式で映像を出力する。本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときはこの設定を選ぶ
プログレッシブ再生　切 （インターレース）	インターレース方式で映像を出力する。本機を通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときはこの設定を選ぶ

ご注意

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビ等につなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。本機とテレビとの互換性に関しては、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
- プログレッシブ再生中はS映像出力、映像出力ができません。

デジタル音声出力

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

項目	内容
PCM	リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル音声を2チャンネルに変換して再生する。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないアンプとデジタル接続する場合はこの設定を選ぶ
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶとドルビーサラウンドが楽しめる。また、DTSデジタルサラウンド対応アンプなどと接続してDTS音声を楽しめる

オーディオDRC

音の大小を調整し、平均的な大きさの音量にします。
この機能は、オーディオDRC機能のあるDVDビデオの再生時にのみ効果があります。
デジタル接続している場合は、「デジタル音声出力」を「PCM」に設定したときのみ効果があります。

項目	内容
スタンダード	記録されている音声のまま出力する
テレビ	記録されている音声を出力したとき、CDの音声と同じ音量で聞こえるように、平均音量を上げる

3次元 Y/C分離

3次元Y/C分離回路を働かせると、テレビ放送や外部入力などの映像信号をよりきれいに見たり、録画できるようになります。

項目	内容
する	より高画質に録画する
しない	電波の弱い信号の放送を受信して映像がおかしく見える場合や、外部入力に接続したビデオやゲーム機器の画像が乱れる場合に選ぶ

ご注意

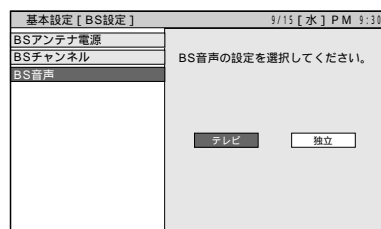
- S映像からの映像信号には働きません。

DNR（デジタルノイズリダクション）

再生映像のノイズが気になるときに、ノイズを軽減して見やすい映像にすることができます。

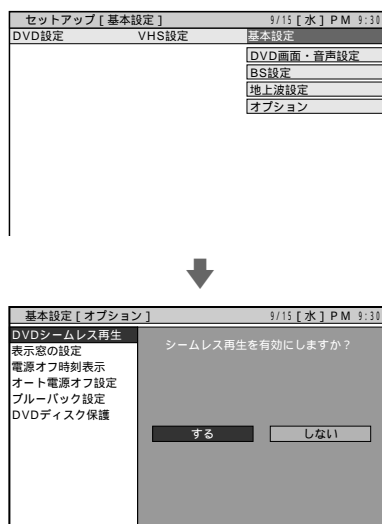
項目	内容
入	LPモードやEPモードなど長時間記録した映像を再生するときに選ぶ
切	DVDビデオなどのノイズの少ないディスクを再生するときに選ぶ

BS音声を設定する

WOWOW放送などのテレビ放送を視聴するか、独立音声放送を聞くかを設定します。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」を選びます。操作のしかたは、「設定画面を使う」（☛95ページ）をご覧ください。

BS音声

項目	内容
テレビ	テレビ放送を視聴するときに選ぶ
独立	独立音声放送を視聴するときに選ぶ

その他の設定
（オプション）

画面の表示などの設定をします。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「オプション」を選びます。操作のしかたは、「設定画面を使う」（☛95ページ）をご覧ください。

DVDシームレス再生

編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生されます。（ただし、つなぎ目に1秒程のズレが生じ、シーンの一部が表示されない場合があります。）

項目	内容
する	編集した映像のつなぎ目が、なめらかに再生される
しない	通常に編集したとおりに再生される

表示窓の設定

表示窓のバックライトを予約録画時に点灯させるかを設定します。

項目	内容
点灯	「電源オフ時刻表示」の設定に関わらず、予約録画が始まると表示窓のバックライトが点灯される
消灯	「電源オフ時刻表示」の設定に関わらず、予約録画が始まると表示窓のバックライトが消灯される

電源オフ時刻表示

電源を切ると本体DVD表示窓の時刻表示を自動的に消すように設定します。

項目	内容
する	電源が切れても、本体DVD表示窓の時刻表示は消えない
しない	電源が切れると、自動的に本体DVD表示窓の時刻表示も消える

オート電源オフ設定

本機の操作を行わずに約3時間経つと、自動的に電源が切れるように設定します。

項目	内容
する	約3時間操作しないと自動的に電源が切れる
しない	自動的に電源は切れない

ブルーバック設定

放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだときに、テレビ画面のノイズ映像を自動的に青い画面に切り換えるように設定することができます。

項目	内容
切	ブルーバックの機能が働かない
入	ブルーバックの機能が働く

ご注意

- 外部入力より特殊再生している映像信号を入力した場合など、画面がブルーバックになることがあります。そのときは、「切」に設定してください。

DVDディスク保護

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、DVD-RW（VRモード）を保護することができます。

項目	内容
解除	ディスク保護が解除され、編集や録画ができる
保護	ディスク保護され、編集や録画ができない

ご注意

- ビデオモードのDVD-RWおよびDVD-Rを保護することはできません。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。
- → 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグをしっかり差し込み、電源を入れる。

画像

画像が映らない。
- → 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- → 接続コードが断線している。
- → 設定画面が出ている。DVD再生設定ボタンを押して消す。
- → テレビとの接続を確認する（☛別冊「接続と準備」）。
- → 画像を見たい機能（DVDまたはVHS）に出力が切り換わっていない。DVD/VHS出力切換を確認する。
- → テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。
- → ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
- → プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「プログレッシブ再生　入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「プログレッシブ再生　切」にする（☛100ページ）。

画像が乱れる。
- → ディスクに汚れや傷がある。
- → 本機の映像出力を他のビデオ機器を経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する（☛別冊「接続と準備」）。

設定と調整
その他

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

→ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、「プログレッシブ再生」で「プログレッシブ再生　入」を選んでいる（☞100ページ）。

→ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「プログレッシブ再生」で「プログレッシブ再生　入」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「プログレッシブ再生」を「プログレッシブ再生　切」にする（☞100ページ）。

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「地上波設定」－「手動チャンネル設定」で、チャンネルを合わせる（☞別冊「接続と準備」）。

→ 外部入力になっている（本体の表示窓に「L1」または「L2」が表示されている）。入力切換ボタンを押して、テレビのチャンネルを出す。

→ 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られない。変更後のチャンネルに手動で合わせる（☞別冊「接続と準備」）。

本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。

→ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。

→ アンテナの向きを調節する。

→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「地上波設定」－「手動チャンネル設定」で画像を手動微調整する（☞別冊「接続と準備」）。

→ 本機とテレビを離して設置する。

→ 本機から離してアンテナ線をたばねる。

テレビのチャンネルを変えられない。

→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。

→ アンテナ線を正しく接続する（☞別冊「接続と準備」）。

→ チャンネルをとばすように設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンで選局できない（☞別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。

→ チャンネル＋/－ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」が、入力2 端子につないでいるときは「L2」が本体表示窓に出るように切り換える。

本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。

→ DVDプレーヤーやVHSデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。

「DVD画面・音声設定」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。

→ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

BS放送の番組が映らない。

→ BSアンテナやBSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。

→ BSアンテナの向きを調整する。

→ BSアンテナのごみや雪を取り除く。

→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で各ポジションの「チャンネルスキップ」を「切」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。

WOWOWが映らない。

→ 受信契約をして、BSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。

→ BSデコーダーの電源を入れる。

→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で各ポジションの「チャンネルスキップ」を「入」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。

→ システムメニューの「セットアップ」－「基本設定」－「BS設定」－「BSチャンネル」で「BS5」の「BSデコーダー」を「入」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。

音声

音が出ない。	➔ ディスクに汚れや傷がある。 ➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 ➔ アンプの入力端子を確認する。 ➔ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。 ➔ 一時停止、スロー再生になっている。 ➔ 早送りまたは早戻し（巻き戻し）になっている。
雑音が多い。	➔ ディスクに汚れ、傷がある。 ➔ CDのDTS音声を再生しているとき、アナログ出力音声端子から雑音が出る（☞別冊「接続と準備」）。
二カ国語の音声が切り換えられない。	➔ ステレオモードで録画されたディスクを再生している。外部入力（L1またはL2）のときは、録画する前に「セットアップ」－「DVD設定」－「外部音声入力」－「二重音声」を選ぶ（☞97ページ）。 ➔ ビデオモードで録画されたディスクは、再生中に音声の切り換えができない（☞98ページ）。 ➔ デジタル出力の音声切換はできない。

DVD再生

再生が始まらない。	➔ ディスクが入っていない。 ➔ 録画されていないディスクが入っている。 ➔ ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。 ➔ ディスクが斜めにずれて入っている。 ➔ CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（☞6ページ）。 ➔ 本機で再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDを入れている（☞6ページ）。 ➔ 結露している。ディスクを取り出して、電源を入れたままの状態で、約2分放置し、再び電源を入れ直してから再生する（☞109ページ）。 ➔ 他機で録画したディスクを本機で再生する場合、ファイナライズされていないディスクは再生することができない（☞7ページ）。
再生がディスクの最初から始まらない。	➔ リピートまたは部分指定リピート再生になっている（☞20ページ）。 ➔ つづき再生になっている。 停止中に、本体またはリモコンの停止■ボタンを押してから再生を始める（☞13ページ）。 ➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が出るディスクを入れている。
「このディスクは再生できません」と表示される。	➔ 視聴年齢制限が設定されている（☞32ページ）。
再生が自動的に始まる。	➔ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
再生が自動的に止まる。	➔ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
停止、早送り/早戻し、スロー、リピート再生などの操作ができない。	➔ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。
音声言語を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 ➔ 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。
字幕を消すことができない。	➔ 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。
アングルを変更して見ることができない	➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ アングルマークが出ていない場面で、アングルを切り換えている（☞27ページ）。 ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

DVD録画・予約・編集

症状	原因・対処
裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。
録画●ボタンを押すと、メッセージが出てくる。	→ ディスクが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞39ページ）。
録画●ボタンを押しても録画が始まらない。	→ ディスクの残量が足りない。空き容量のある別のディスクを用意するか、不要なタイトルを消去する（☞83ページ）。
録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。	→ 録画されていないDVD-RWディスクを入れたとき、VRモードに自動的に初期化するため。本体DVD表示窓の「LOAD」が消えるまで待つ。
録画中に停止■ボタンを押しても、すぐに録画が止まらない。	→ ビデオモードで録画しているときは、30秒単位（LPモードのときは60秒）で録画するため、最長30秒間（LPモードのときは最長60秒間）録画が続くことがある。
予約したのに録画されていない。	→ 予約待機中に約10分以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。 → 予約した後で、予約したチャンネルをとばしたため（☞別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。 → 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。 → ディスク残量が足りなかった。 → コピー制御信号が含まれている映像を録画しようとしていた。 → ディスクに録画されているオリジナルのタイトル数が99タイトルを超えている。
予約した内容が途中で切れている。	→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。約10分以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。約10分以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。 → ディスクの残量が足りなかった。
予約した内容が途中から始まっている。	→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。
「このディスクは編集できません」と表示される。	→ DVDディスク保護が設定されている（☞102ページ）。

VHS再生・録画

症状	原因・対処
再生した画像がチラつく、汚い。	→ トラッキングがずれている。本体のチャンネル＋/－ボタンで調整する（☞36ページ）。 → ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする。クリーニングカセットがないときは、再生状態にしてから、早送り再生と巻戻し再生を交互に10秒ずつ、4～5回繰り返す（☞110ページ）。 → VHSテープに傷がある。 → S-VHSのテープを再生している。
録画●ボタンを押すと、VHSテープが出てくる。	→ VHSテープのツメが折れている。 → VHSテープが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞8ページ）。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。

➔ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。

➔ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。

➔ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する（☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルを自動で合わせる」）。

➔ 受信している放送局が登録されていない。受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約のためのチャンネルを合わせる」）。

➔ ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

チューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。

➔ チューナーの電源を切り忘れたため。チューナー側の予約を設定して電源を切り、本機をシンクロ録画予約待機にする（☞54、62ページ）。

シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。

➔ 本機とつないだチューナーの予約が本機の予約と重なっている（☞55ページ）。

➔ シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。

チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。

➔ シンクロ録画機能が働いている。チューナーの電源を切ってから、リモコンのシンクロ録画ボタンを2秒以上押す。

表示

メニューや設定画面表示が画面に出ない。

➔ テレビを本機が接続した入力（「ビデオ」など）に切り換える。

本体表示窓に「－：－－」が点灯している。

➔ 時計を合わせる（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。

➔ 約10分以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「準備**8**：時計を合わせる」）。

本体録画予約ランプが、5秒間点滅し、（予約待機中に）消えている。

➔ ディスクやVHSテープの残量がないか、DVDで録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクやVHSテープを入れ、電源を切る。

本体のシンクロ録画ランプが、シンクロ録画予約待機中に消えている。

➔ ディスクやVHSテープの残量がないか、DVDで録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクやVHSテープを入れる。

テープカウンターが動かない。

➔ VHSテープで録画されていない部分は動かない。

リモコン

リモコンが働かない。

➔ 乾電池が消耗している（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

➔ 乾電池が入っていない（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

➔ 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「リモコンで各社のテレビを操作する」）。

➔ 本体の電源を入れる。

➔ リモコンを本体に向けて操作する（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

➔ リモコンの操作モードが操作したい機能（DVDまたはVHS）に切り換わっているかを確認する（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

➔ 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：リモコンの準備と基本操作をする」）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのDVDプレーヤーが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞別冊「接続と準備」の「準備2：リモコンの準備と基本操作をする」）。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。	→ チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコード予約をするときに使う。
リモコンの転送ボタンを押しても、本体の表示窓に「Err」と表示され、転送できない。	→ 本機の電源が入っていない。 本機の電源を入れてから、転送し直す。

その他

正常に動作しない。	→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、再びコードを差して電源を入れる。

リセットボタンについて

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このときは、本体底面にあるリセットボタンを先の細い棒状のもので押すか、一度電源コードをコンセントから抜き、約5時間後、再度コードを差し込んで電源を入れてください。
リセットボタンを押すと、本体の時計設定と録画予約が消去されますので、再設定してください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください（☞裏表紙）。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：RDR-VD60
●ディスクの種類：DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当る所、湿度が高い所
- 極端に寒い所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクやVHSテープを入れたまま本機を動かさないでください。
ディスクやVHSテープを入れたまま動かすと、ディスクやVHSテープを傷めることがあります。

結露（露つき）について

部屋の暖房を入れた直後など、本体内部のレンズやドラム、ディスク、テープに水滴がつくことがあります。これを結露（露つき）といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りつくなど、本機の故障や不具合の原因となります。本機を使わないときは、ディスクやVHSテープを取り出しておいてください。

結露が起きやすいのは下記のような場合です。

- 本機を設置した直後
- 暖房した直後
- エアコンの冷風が直接本機にあたっているとき
- 寒いところから暖かいところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多いとき
- 梅雨の時期

結露が生じたときは、ディスクやVHSテープを取り出して、電源を入れたまま約2時間以上放置し、再び電源を入れなおしてからお使いください。それでも正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

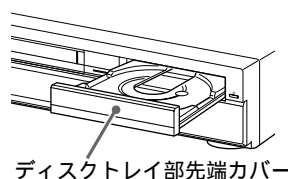
本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

VHSデッキについて

- 磁石を近づけないでください。
  磁気を帯びているものを近づけると、大切な記録が損なわれることがあります。
- 約1,000時間のご使用を目安に点検をしてください。
  VHSデッキは非常に高い精度を必要とする機械です。長く使う間には、ヘッドやテープの駆動部分が汚れたり磨耗して、美しい場面が映りにくくなります。使用環境（温度、湿度、ほこりなど）によって異なりますが、約1,000時間使ったら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点検（清掃、注油、一部部品交換）についてご相談ください。

ディスクトレイ部先端カバーについて

ディスクトレイ部先端カバーは機能上、かんたんに動く構造になっています。無理な力を加えることは避けてください。

音量について

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

次のページにつづく

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

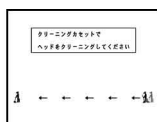
クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

VHSテープのヘッドのお手入れ

ーきれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット（T-25CLD、T-25CLDRなど）で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 「クリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください」と画面に表示される。

汚れはじめたとき → **汚れがひどいとき**

VHSテープのヘッドを良い状態で維持するには

- 使用頻度の少ないVHSテープは、テープにカビやゴミなどが付着しないようにしてください。
  - 密閉したビニール袋などに入れて保管してください。
  - 3〜4か月に1回程度、テープの初めから終わりまで早送り/巻き戻しをしてください。
- 古いテープや痛んだテープを使用しないでください。
- レンタルテープをお使いのときは、テープにカビや傷がないか確認してください。使用後はクリーニングカセットを使ってヘッドを約10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ちょっと一言

- クリーニングカセットをすぐに手に入れられないときは、比較的新しい正常なテープを使って次の操作をすると、画像の乱れが軽減することがあります。
  再生▷ボタンを押します。次に早送り▶▶ボタンと巻き戻し◀◀ボタンを交互に10秒ずつ押すのを4〜5回繰り返します。
- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、繰り返しヘッドをクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）は、定期的なクリーニングでのご使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。
- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

主な仕様

システム

形式	VHSビデオ一体型DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
[DVD]	
記録可能ディスク	DVD-ReRecordable（リレコーダブル）：DVD-RW（片面/両面1層） DVD-Recordable（レコーダブル）：DVD-R（片面/両面1層）
記録フォーマット	DVD-VideoRecording：VRモード DVD-VIDEO：ビデオモード
映像サンプリング周波数	13.5MHz
映像圧縮方式	MPEG
音声サンプリング周波数	48kHz
音声圧縮方式	DolbyDigitalステレオ
記録時間（片面1層4.7GBディスクの使用時）	FINE：約60分 SP：約120分 LP：約240分 EP：約360分
[ビデオ]	
録画方法	輝度信号：FM変調方式 カラー信号：低域変換直接記録方式
テープ速度	SP（標準）モード時：33.4mm／秒 EP（3倍）モード時：11.1mm／秒
使用可能テープ	VHS方式のVHSカセットテープ
録画再生時間	最大9時間（T-180使用時）
巻き戻し/早送り時間	約68秒、高速時 約43秒 （T-120使用時、当社測定条件での所要時間）
Hi-Fi**サウンド特性**	ダイナミックレンジ：90dB 周波数特性：20Hz～20kHz ワウフラッター：0.007%
[チューナー]	
受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C63チャンネル BS ： 1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル（DVDのみ）
[タイマー]	
プログラム数	1年 8プログラム（DVD、VHSとも）
時計方式	クォーツロック、 12時間デジタル表示
停電補償時間	約10分

アンテナ端子

アンテナ入出力	地上波：VHF/UHF1軸、 75Ω F型コネクター BS-IF：75ΩF型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V最大4W、芯線側+、メニューにて入/切を切り換え）

入出力端子

ビットストリーム/検波	検波入力：ピンジャック、0.67Vp-p/75Ω 検波出力：ピンジャック、0.67Vp-p/75Ω ビットストリーム入力：ピンジャック、0.5Vp-p/75Ω ビットストリーム出力：ピンジャック、0.5Vp-p/75Ω
[DVD/VHS**共用**]	
映像入力	入力1/入力2（フロント）の2系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
S**映像入力**	入力1/入力2（フロント）の2系統、 4ピンミニDIN、 Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2（フロント）の2系統、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1系統、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （1kHz 0dB、出力インピーダンス：1.5kΩ以下）
[DVD**専用**]	
S**映像出力**（S1/S2）	4ピンミニDIN、 Y＝1Vp-p（75Ω不平衡） C＝0.286Vp-p（75Ω不平衡）
D**映像出力**（D1/D2）	Y：1.0Vp-p（75Ω不均衡） CB、CR：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
アナログ音声出力	ピンジャック：2Vrms（1kΩ）
デジタル音声出力*	角型光ジャック1系統

* 96kHz PCM音声は、デジタル音声出力端子から48kHzに変換されて出力されます。

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	31W
待機消費電力	0.7W**以下（本体時刻表示「切」時）**
許容動作温度	5℃～ 35℃
許容動作湿度	10%～ 80%（結露のないこと）
最大外形寸法	幅 430×高さ 100×奥行き 354mm（最大突起含む）
本体質量	約 6.2kg
付属リモコン	RMT-D209J 電源：DC 3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	別冊「接続と準備」参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。
本体とリモコンで同じ名前のボタンは同じ働きをします。

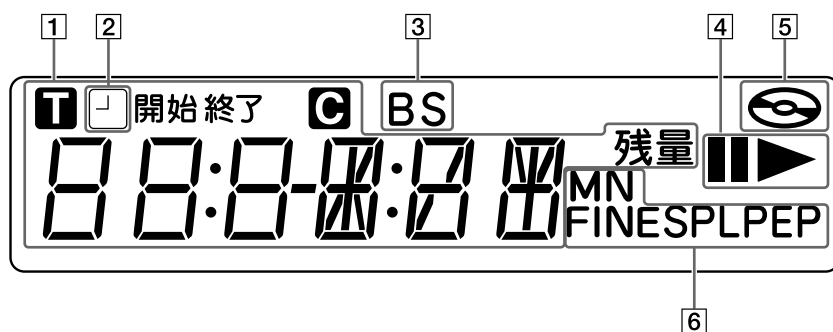
本体前面

*のボタンには凸（突起）がついています（チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

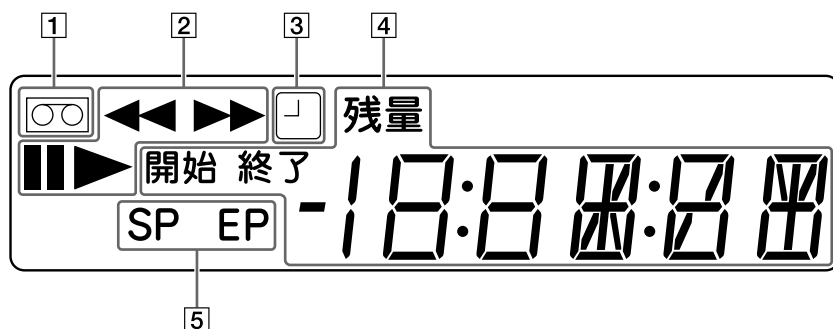
VHS/DVD出力切換ボタンについて

DVD/VHS共用出力端子から出力される信号を切り換えます。
ボタンを押すたびに、DVDとVHSの出力が切り換わります。出力に合わせてDVD出力ランプ（オレンジ色）、またはVHS出力ランプ（緑色）が点灯します。
DVD出力ランプは、電源を切って、TOCなどをディスクへ書き込んでいるときには点滅します。

1 （VHS用）≙（テープ取出し）ボタン（34）
2 電源ボタン（12）
3 （VHS用）VHSテープ挿入口（34）
4 （VHS用）VHS出力ランプ（34）
5 （DVD用）DVD出力ランプ（12）
6 （DVD用）ディスクトレイ（12）
7 （DVD用）▷（再生）ボタン*（12）
8 （DVD用）❚❚（一時停止）ボタン（12）
9 （DVD用）■（停止）ボタン（12）
10 （DVD用）◀◀（早戻し）/▶▶（早送り）ボタン（18）
11 （DVD用）録画●ボタン（43）
12 （DVD用）≙（トレイ開/閉）ボタン（12）
13 入力2（S映像/映像/音声左（モノ）右）端子（90）
14 （DVD用）チャンネル＋/－ボタン*（43）
15 （DVD用）録画予約ランプ（48）
16 （DVD用）シンクロ録画ランプ（55）
17 （DVD用）表示窓（24）
18 ←DVDボタン（89）
19 ダビングボタン/ランプ（88、89）
20 VHS→ボタン（88）
21 （VHS用）表示窓（38）
22 （VHS用）録画予約ランプ（58）
23 （VHS用）シンクロ録画ランプ（63）
24 本体底面リセットボタン（108）
25 Ⓡ（リモコン受光部）（☛別冊「接続と準備」）
26 （VHS用）録画●ボタン（56）
27 VHS/DVD出力切換ボタン（12）
28 （VHS用）◀◀（巻戻し）/▶▶（早送り）ボタン（36）
29 （VHS用）■（停止）ボタン（34）
30 （VHS用）チャンネル（トラッキング調整）＋/－ボタン*（36、56）
31 （VHS用）❚❚（一時停止）ボタン（34）
32 （VHS用）▷（再生）ボタン*（34）

本体DVD表示窓

1 タイトル/トラック/経過時間表示（24）
タイトル/トラック/チャプター番号表示（24）
録画時経過時間表示（24）
現在時刻表示（24）
チャンネル表示（24）
ディスク残量表示（24）

2 クイックタイマー表示（45）
3 BS表示（24）
4 再生/一時停止表示（24）
5 ディスク表示（24）
6 録画モード表示（24、40、43）

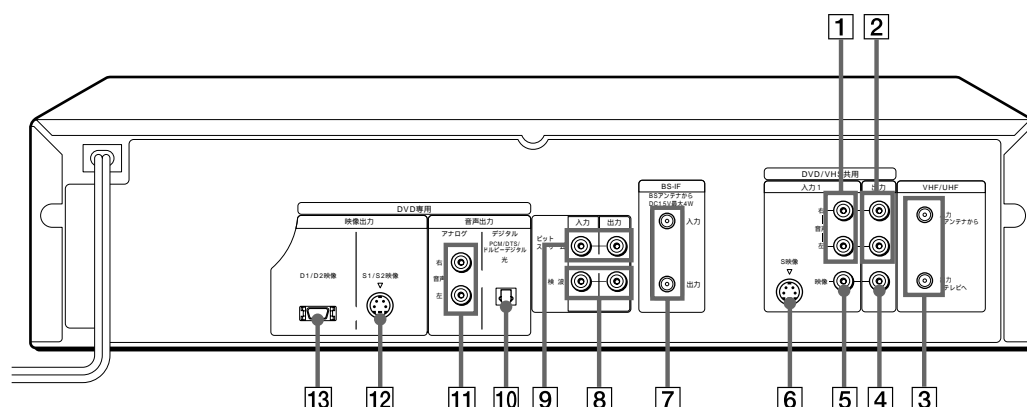
本体VHS表示窓

1 VHSテープ表示（38）
2 走行モード表示
3 クイックタイマー表示（45）
4 テープカウンター表示（38）
テープ残量表示（38）
予約録画日時表示（58、61）
チャンネル表示（58、61）
5 録画モード表示（38、56）

その他

次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

後面

（各部の説明は、☛別冊「接続と準備」をご覧ください）

1 DVD/VHS共用音声入力1左右端子
2 DVD/VHS共用音声出力左右端子
3 VHF/UHF入力/出力端子
4 DVD/VHS共用映像出力端子
5 DVD/VHS共用映像入力1端子
6 DVD/VHS共用入力1S映像端子
7 BS-IF 入力/出力端子
8 検波 入力/出力端子
9 ビットストリーム 入力/出力端子
10 DVD専用音声出力デジタル光端子
11 DVD専用音声出力アナログ左右端子
12 DVD専用映像出力S1/S2端子
13 DVD専用映像出力D1/D2端子

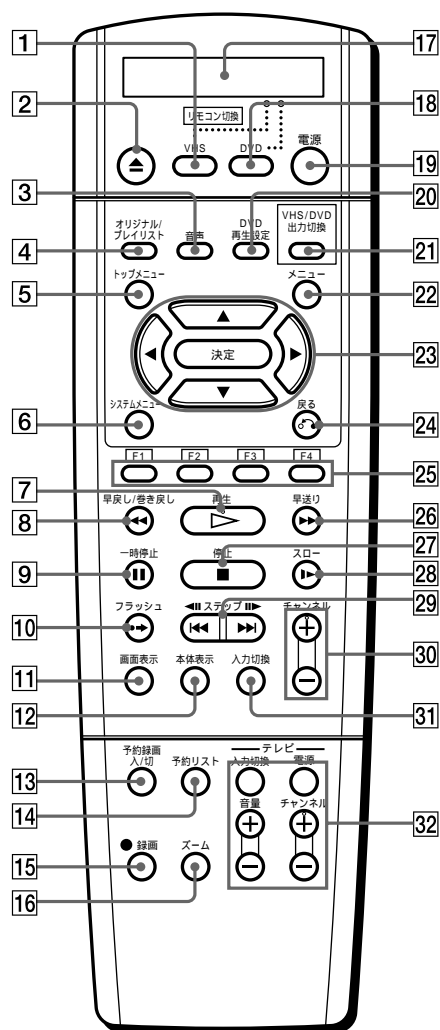
DVD/VHS共用出力とDVD出力について

- 本機には、DVDとVHSの映像・音声を出力する共用出力端子と、DVDの映像・音声のみを出力するDVD出力端子があります。
  共用出力：　DVDやVHSの映像・音声出力を切り換えてお楽しみいただけます。
  DVD出力：　ディスクの内容の出力のみをお楽しみいただけます。
- DVD側、またはVHS側に出力が切り換わったときなどに、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられるためです。DVD再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わった後、必ず下げておいてください。

ご注意

- 本機に内蔵しているVHSビデオは、S-VHSタイプではありません。VHS使用時、S映像入力端子に入力された外部機器のS映像信号は、S-VHSの解像度で録画できません。
- 接続は、必ず本機および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

リモコン（ふたを閉じたとき）

*のボタンには凸（突起）がついています（チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 下記の記載は次の意味です。
  （VHS）： VHS側に働くボタン
  （DVD）： DVD側に働くボタン
  （共用）： リモコンの操作モード切換でDVD側・VHS側それぞれに働くボタン
  上記記載のないボタンは、リモコンの操作モード切換に関係なく働くボタンです。
- トップメニューボタン、メニューボタンを押すと、自動的にDVD操作モードに切り換ります。

1 リモコン切換VHSボタン（VHS）（34）
2 ⏏（トレイ開/閉、VHSテープ取出し）ボタン（共用）（12、34）
3 音声ボタン（共用）（25、38）
4 オリジナル/プレイリストボタン（DVD）（15）
5 トップメニューボタン（DVD）（15）
6 システムメニューボタン（10）
7 再生▷ボタン*（共用）（12、34）
8 早戻し/巻き戻し◀◀ボタン（共用）（18、36）
9 一時停止▮▮ボタン（共用）（12、34）
10 フラッシュ●➡ボタン（共用）（18、36）
11 画面表示ボタン（共用）（23、37）
12 本体表示ボタン（共用）（24、38）
13 予約録画入/切ボタン（共用）（48、58）
14 予約リストボタン（共用）（64）
15 録画●ボタン（共用）（43、56）
16 ズームボタン（DVD）（29）
17 リモコン表示窓（12、34）
18 リモコン切換DVDボタン（DVD）（12）
19 電源ボタン（12）
20 DVD再生設定ボタン（DVD）（19）
21 VHS/DVD出力切換ボタン（12）
22 メニューボタン（DVD）（13）
23 ←/↑/↓/→/決定ボタン（10）
24 戻るボタン（10）
25 F1/F2/F3/F4ボタン**（46、73）
26 早送り▶▶ボタン（共用）（18、36）
27 停止■ボタン（共用）（12、34）
28 スロー▮▶（共用）ボタン（18、36）
29 ▮◀◀/▶▶▮（前/次）、ステップ◀II/II▶ボタン（共用）（18、36）
30 チャンネル＋/－ボタン*（43、56）
31 入力切換ボタン（43）
32 テレビ（☞別冊「接続と準備」）
電源ボタン
入力切換ボタン
音量＋/－ボタン
チャンネル＋/－ボタン*

**各操作画面でできる操作を表示します。
例：DVDタイトルリストを表示したとき

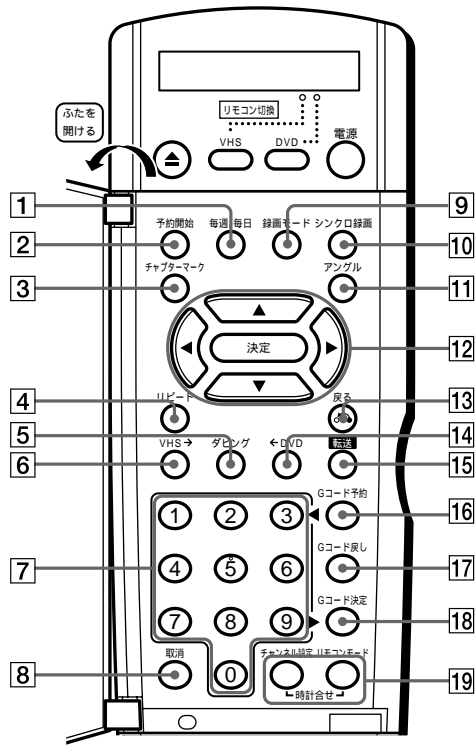
ここでF1ボタンを押すと、タイトル名リストに切り換わる

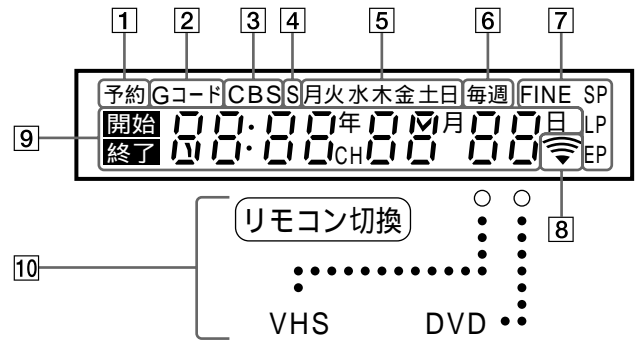
その他

次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

リモコン（ふたを開けたとき）

*のボタンには凸（突起）がついています（数字ボタンの「5」のみ）。操作の目印としてお使いください。

1 毎週/毎日ボタン（50、58）
2 予約開始ボタン（50、58）
3 チャプターマークボタン（DVD）（17）
4 リピートボタン（DVD）（20）
5 ダビングボタン（共用）（88、89）
6 VHS→ボタン（88）
7 数字ボタン（13）*
8 取消ボタン（共用）（45）
9 録画モードボタン（共用）（43、56）
10 シンクロ録画ボタン（共用）（55、63）
11 アングルボタン（DVD）（27）
12 ←/↑/↓/→/決定ボタン（15）
13 戻るボタン（23）
14 ←DVDボタン（89）
15 転送ボタン（50、58）
16 Gコード予約ボタン（52、60）
17 Gコード戻しボタン（52、61）
18 Gコード決定ボタン（52、61）
19 時刻合わせ（☞別冊「接続と準備」）
チャンネル設定ボタン（☞別冊「接続と準備」）
リモコンモードボタン（☞別冊「接続と準備」）

リモコン表示窓

1 予約表示（50、58）
2 Gコード表示（52、60）
3 CATV/BS表示
4 チャンネルスキップ表示
（☞別冊「接続と準備」）
5 曜日表示
6 毎週表示（50、58）
7 録画モード表示（50、58）
8 転送表示（50、58）
9 年月日/時間/Gコード番号入力/予約設定表示
現在時刻表示
日付表示（50、58）
予約開始/終了時刻表示（50、58）
チャンネル表示（50、58）
10 リモコン操作モード表示（12、34、42、56）
リモコンの操作モードを切り換えると、VHSボタンまたはDVDボタンの線上にまたはマークを表示します。

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

カ行

コピー制御信号
複製防止機能のこと。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができない。

サ行

視聴年齢制限
国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生のできない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

受信チャンネル
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タ行

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差。デシベル（dB）単位で測定される。圧縮すると最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がる。

地域番号（リージョンコード）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。本体とディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL表示のあるディスクは、どの機器でも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

デジタルCS放送
通信衛星を使ったCS放送の一種。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができる。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができる。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要。
CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

トラッキング
VHSテープに記録された信号をなぞって読みとるようにすること。ずれると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりする。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ハ行

バーチャルサラウンド
テレビやオーディオ機器などの2つのフロントスピーカーだけでも、迫力のある立体音声を楽しむことができるサラウンド機能。

ビットレート
DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps（kilo bit per second）。この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオ素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVDに記録したもの。

次のページにつづく

用語解説（つづき）

フィルム素材
DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちフィルム素材は映画フィルム（1秒24コマ）をDVDに記録したもの。

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できる。

ヘッド
テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングが必要となる。

DVDの録画や再生時の時間表示について
DVDの録画や再生時間は、実際の録画・再生時間より0.1%程度短く表示されます。
放送などの映像では、１秒あたり29.9フレームの映像が送られてきます。本機では便宜上30フレームを1秒として計算しているため、約0.1%時間が短く表示されます。
例えば、1時間録画を行うと、実際に1時間分録画が行われますが、本機の時間表示は「60分×0.999＝59.94分＝59分56秒」となります。

アルファベット順

CATV
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のこと。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができる。
CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

D映像信号
D映像端子付きデジタルビデオと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子に対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。
- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）と750p（720p）の信号に対応

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD
CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

Gコード
一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている番組を予約するための番号。

言語コード一覧表

詳しくは、96ページをご覧ください。

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バジキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DE	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EN	英語
EO	エスペラント語
ES	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィージー語
FO	フェロー語
FR	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディ語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	イヌピック語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IT	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NL	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	アファン語（オロモ語）
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ＝ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニャルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	システィ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥ語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZH	中国語
ZU	ズール語

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット/数字順

Printed in Malaysia

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
　1：修理受付
　2：使用方法や故障と思われるご相談
　3：お買物相談
　4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
　5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。